

東北地区大学図書館協議会誌

第 63 号
平成 24 年 4 月



山形大学小白川図書館

加盟館一覧

表紙裏面

特集・寄稿（東日本大震災を振り返って）	1
第 66 回東北地区大学図書館協議会総会	40
日程	40
総会資料	41
総会議事要録	58
出席者名簿	65
図書館統計年報	69
協議会総会当番地区・当番大学	72
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	73
東北地区大学図書館協議会研修部会委員	74
東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会委員	74
東北地区大学図書館協議会会則等	75
加盟館職員名簿	85

東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国 立 15 館)			
弘 前 大 学 附 属 図 書 館	036-8560	弘前市文京町 1	(0172)39-3155
岩手大学情報メディアセンター図書館	020-8550	盛岡市上田 3 - 18 - 8	(019)621-6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内 27 - 1	(022)795-5911
同 医学分館	980-8575	仙台市青葉区星陵町 1 - 1	(022)717-7973
同 北青葉山分館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 3	(022)795-6368
同 工学分館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 6 - 0 3	(022)795-5892
同 農学分館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町 1 - 1	(022)717-8882
宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉 149	(022)214-3348
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町 1 - 1	(018)889-2273
同 医学部分館	010-8543	秋田市本道 1 - 1 - 1	(018)884-6052
山 形 大 学 小 白 川 図 書 館	990-8560	山形市小白川町 1 - 4 - 12	(023)628-4904
同 医学部図書館	990-9585	山形市飯田西 2 - 2 - 2	(023)628-5054
同 工学部図書館	992-8510	米沢市城南 4 - 3 - 16	(0238)26-3019
同 農学部図書館	997-8555	鶴岡市若葉町 1 - 23	(0235)28-2810
福 島 大 学 附 属 図 書 館	960-1293	福島市金谷川 1	(024)548-8082
(公 立 12 館)			
青 森 公 立 大 学 図 書 館	030-0196	青森市合子沢字山崎 153 - 4	(017)764-1551
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬 58 - 1	(017)765-2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152 - 52	(019)694-2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑 1 - 1	(022)377-8313
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西 241 - 438	(018)872-1561
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町 12 - 3	(018)886-8106
国際教養大学図書館	010-1292	秋田市雄和椿川字奥椿岱 193 - 2	(018)886-5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳 260	(023)686-6671
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	992-0025	米沢市通町 6 - 15 - 1	(0238)22-7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀字上居合 90	(0242)37-2544
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田 1 - 1	(0242)37-2458
福島県立医科大学附属学術情報センター	960-1297	福島市光が丘 1	(024)547-1687
(私 立 38 館)			
青森大学・青森短期大学附属図書館	030-0943	青森市幸畑 2 - 3 - 1	(017)738-2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字清原 1 - 16	(0172)33-2289
八戸大学・八戸短期大学附属図書館	031-8588	八戸市美保野 13 - 98	(0178)30-1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開 88 - 1	(0178)25-8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町 13 - 1	(0172)34-5211
青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター	030-0132	青森市横内字神田 12	(017)728-0131
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸 19 - 1	(019)651-5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子 450 - 3	(0198)22-4986
盛岡大学図書館	020-0183	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込 808	(019)688-5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市萩荘字竹際 49 - 1	(0191)24-2211
岩手看護短期大学図書館	020-0151	岩手県岩手郡滝沢村大金字千が窪 14-1	(019)687-3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南 2 - 2 - 18	(0224)55-1399
仙台百合女子大学図書館	981-3107	仙台市泉区本田町 6 - 1	(022)374-5090
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸 1	(0225)22-7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋 1 - 3 - 1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央 1 - 13 - 1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢 2 - 1 - 1	(022)375-1174
東北工业大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町 35 - 1	(022)305-3178
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見 1 - 8 - 1	(022)717-3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見 6 - 45 - 1	(022)233-3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島 4 - 4 - 1	(022)727-0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜ヶ丘 9 - 1 - 1	(022)279-5658
尚絅学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘 4 - 10 - 1	(022)381-3440
聖和学園短期大学図書館	981-3213	仙台市泉区南中山 5 - 5 - 2	(022)376-8257
仙台青葉学院短期大学図書館	984-0022	仙台市若林区五橋 3 - 5 - 75	(022)369-8003
東北生活文化大学附属図書館	981-8585	仙台市泉区虹の丘 1 - 18 - 2	(022)272-7518
ノースアジア大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜字守沢 46 - 1	(018)836-2406
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市上桜田 3 - 4 - 5	(023)627-2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池 1559	(023)655-2385
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	990-2316	山形市片谷地 515	(023)688-7544
東北公益文科大学メディアセンター	998-8580	酒田市飯森山 3 - 5 - 1	(0234)41-1177
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野 5 - 5 - 1	(0246)29-7121
奥羽大学図書館	963-8611	郡山市富田町字三角堂 31 - 1	(024)932-9061
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成 3 - 25 - 2	(024)932-4848
東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢 37	(0246)35-0416
日本大学工学部図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原 1	(024)956-8639
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町 3 - 6	(024)534-7137
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池 1 - 1	(024)553-2087

第66回東北地区大学図書館協議会総会



山形大学 結城学長



山形大学 安田副学長



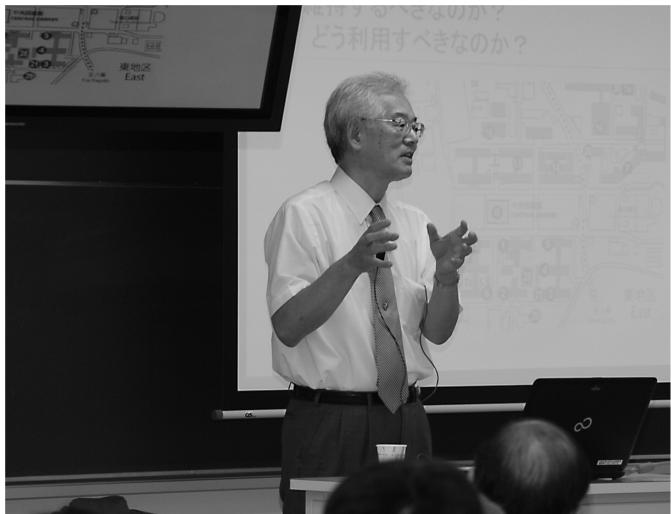
東北大學 野家図書館長



議長団



第66回総会風景



名古屋大学 松浦好治図書館長による講演会



国立大学部会風景



公立大学部会風景



私立大学部会風景

寄稿・特集
「東日本大震災を振り返って」

岩手大学情報メディアセンター図書館長	西崎 滋
東北大学附属図書館総務課長	米澤 誠
東北大学附属図書館情報サービス課長	小陳 左和子
東北大学附属図書館工学分館専門員	日出 弘
福島大学学術情報課長	高橋 喜一
石巻専修大学図書館長	羽田 紘一

2011年(平成23年)3月11日14時46分18秒、宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底を震源とし大規模な地震が発生しました。日本における観測史上最大の規模、マグニチュード(Mw)9.0を記録し、震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及び、この地震により、場所によっては波高10m以上、最大週上高40.0mにも上る大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。発災当初は、「東北地方太平洋沖地震」とも呼ばれていましたが、2011年4月1日の持ち回り閣議で、この地震による震災の名称を「東日本大震災」とすることを了解、発表し、それ以降は「東日本大震災」と呼ばれています。

東北地区大学図書館協議会では、関連する内容を

- 1、加盟館の被害状況
- 2、国立大学図書館協会総会ワークショップでの発表内容（東北大学、岩手大学、福島大学：発表順）
- 3、今後の活動（合同キャンペーン「震災記録を図書館に」、みちのく震録伝との関わり）
- 4、寄稿（石巻専修大学図書館、東北大学附属図書館工学分館）

として掲載し、記録として纏めておくこととしました。

以下、順に紹介します。

1. 東北地方太平洋沖地震による東北地区大学図書館協議会加盟館の被害状況

平成23年4月下旬までに取りまとめた東北地区大学図書館協議会加盟館における被害状況は、以下のとおりである。

なお、以下の被害状況については、本協議会ホームページにも記載しておりますことを申し添えます。

東北地方太平洋沖地震による東北地区大学図書館協議会 加盟館の被害状況

【国立】

図書館名： 弘前大学附属図書館

[3/12 の状況]

(開館状況)

通常通り開館

(被害状況)

特段なし

[4/7 の状況]

(開館状況)

平成23年4月8日 本館・医学部分館ともに臨時閉館
(設備等被災状況)

特になし

ただし、7日の地震後より8日13時30分頃まで停電、
メールサーバー8日17時過ぎ復旧

図書館名： 岩手大学情報メディアセンター図書館

(開館状況)

3月12日～ 震災のため休館

3月24日～ 学生・教職員の学習・研究スペースとして図書館を部分開放

開放箇所：1階ロビー及び2階閲覧室のみを開放

開放時間：9時～17時(平日のみ開放)

4月 8日～ 余震のため休館

4月11日～ 部分開放を再開

4月18日～ 一部図書の貸出を再開

5月 9日～ 制限付で図書館を開館

開館時間：平日9時～21時、土日10時～18時

但し、3階以上の利用は19時まで

電動書庫・積層書庫への立入を制限

利用対象者：学生・教職員(一般への開放は当分の間行わない)

(3月11日の地震による被害状況)

- ・ 7割程度の図書資料が崩落
- ・ 建物内外壁等のヒビ・亀裂、トイレ等の壁面タイルの落下
- ・ 2階 旧館と増築部分(南側)接合部分一部破損
- ・ 3階 旧館と増築部分(東側、南側)接合部分破損、天井

パネル(金属板)一部落下

- ・ 5階 4割程度の書架転倒、キャビネットの転倒、机等の移動
- ・ 電動書庫 電動書架動作不良(23年度改修予定)

(4月7日の余震による被害状況)

- ・ 1割程度の図書資料の落下、若干数の図書資料の破損
- ・ 書架棚板の一部破損(書架の転倒等はなし)

図書館名： 東北大附属図書館

【本館】

(開館状況)

3/11の復旧作業のため閉館中、4/11に一部開館予定

(人的被害)

なし

(図書の被害)

[3/11の被害]

1号館・2号館の図書数十万冊が落下

[4/7の被害]

1号館2階学生閲覧室、2号館各階の一時整理復旧済みの図書約2万冊が落下

(施設の被害)

[3/11の被害]

壁のひびが多数発生し、一部のモルタル・天井がはがれて落下

[4/7の被害]

特になし

(備品の被害)

書架が一部破損、貴重図書室の一部の展示ケース・キャビネットが倒壊

【医学分館】

(開館状況)

以下に記載の3/14からの開館方法のまま、特に臨時閉館はしない

[3/14からの開館方法]

1階(ラウンジの休憩スペース、閲覧席、パソコンコーナー)のみ限定開館

(平日：9:00-17:00)	り9時頃復旧した
(人的被害)	(その他)
なし	なし
(図書の被害)	
[3/11 の被害]	【工学分館】
ほぼ全ての図書が落下	(開館状況)
[4/7 の被害]	4/7 からの部分開館(旧館 1Fのみ)のまま
図書落下多数、1万冊程度	(人的被害)
(施設の被害)	なし
[3/11 の被害]	(図書の被害)
外壁落下や亀裂、冷暖房設備の落下、ガラスの破損など各所被害大	[3/11 の被害]
[4/7 の被害]	図書多数落下
壁一部落下、空調吹き出し落下、亀裂多数	[4/7 の被害]
(備品の被害)	2200 冊程度落下
[3/11 の被害]	(施設の被害)
書架一部破損	天井石膏ボードの一部破損・剥落、空調吹き出し口落下、利用者用入り口外タイル破損・段差(以前より悪化)、職員通用口スロープ段差(以前より悪化)、窓の破損(閉まらなくなくなった部分有り)、敷地内地割れあり
[4/7 の被害]	(備品の被害)
現在確認出来ず	なし
(その他)	
なし	
【北青葉山分館】	【農学分館】
(開館状況)	(開館状況)
復旧作業のためしばらくの間閉館する、再開時は HP で利用者に周知する	復旧作業のためしばらくの間閉館する、再開時は HP で利用者に周知する
(人的被害)	(人的被害)
なし	3/11, 4/7 いずれもなし(4/7 は 12:00まで無人開館していましたが、夜間の入館記録なし)
(図書の被害)	(図書の被害)
[3/11 の被害]	[3/11 の被害]
図書・雑誌の水濡れ、図書落下多数	図書数万冊落下
[4/7 の被害]	[4/7 の被害]
1階、2階 図書大量に落下	数千冊が落下(一部破損)
(施設の被害)	(施設の被害)
[3/11 の被害]	[3/11 の被害]
2階閲覧室天井配管より 1階閲覧室階上まで漏水、シミ、床破損	壁のヒビ、天井のダクト落下、天井のダクト危険、エレベータのずれ
[4/7 の被害]	[4/7 の被害]
なし	女子トイレのタイルの剥がれ(1カ所 2枚)
(備品の被害)	(備品の被害)
[3/11 の被害]	[3/11 の被害]
3階閲覧室書架倒壊、2階雑誌配架棚の転倒、1階エンタランスホール彫刻倒壊、PCディスプレイ 6台落下、集密書架のカバー外れる	書架のゆがみあり
[4/7 の被害]	[4/7 の被害]
利用者用端末ディスプレイ 1台落下、停電になってお	なし

【金属材料研究所 図書室】

(開館状況)

通常通り開室

(人的被害)

なし

(図書の被害)

[3/11 の被害]

図書落下多数

[4/7 の被害]

落下 30 冊程度

(施設の被害)

なし

(備品の被害)

[3/11 の被害]

書架 1 台倒壊

[4/7 の被害]

なし

【電気通信研究所 図書室】

(開館状況)

通常通り開室

(人的被害)

なし

(図書の被害)

[3/11 の被害]

図書落下多数

[4/7 の被害]

100 冊程度落下

(施設の被害)

[3/11 の被害]

空調機の落下

[4/7 の被害]

特に認められず

(備品の被害)

特に認められず

【多元物質科学研究所 図書室】

(開館状況)

通常通り開室

(人的被害)

なし

(図書の被害)

[3/11 の被害]

図書落下多数

[4/7 の被害]

なし

(施設の被害)

なし

(備品の被害)

なし

【流体科学研究所 図書室】

(開館状況)

通常通り開室

(人的被害)

なし

(図書の被害)

なし

(施設の被害)

なし

(備品の被害)

なし

【経済学研究科 図書室】

(開館状況)

3/11 からの閉室時間のまま開室

(人的被害)

なし

(図書の被害)

棚により落下具合が異なるが平均的に見て 4 割程度の

落下古い参考資料の何冊かは背割れなどの損傷が確認

(施設の被害)

なし

(備品の被害)

利用者用パソコンのディスプレイが転倒・落下してお
りましたが、起動についてはまだ、未確認

【教育学研究科 図書室】

(開館状況)

(人的被害)

なし

(図書の被害)

床・机の上に積んでいた図書が多数落下

(施設の被害)

4/7 の地震ではなし

※ 3/11 の地震で、書架が動いたため下のカーペットが破
損・裂損(交換依頼中)

(備品の被害)

4/7 の地震ではなし

※ 3/11 の地震で、書架の側面板落下・剥離(修理依頼
中)、書架上部に付けていた転倒防止の鉄筋の歪み

(修理依頼中)、新着雑誌配架棚の扉1枚外れる(修復済み)、博論用の書架1つ転倒・ガラス扉破損(交換依頼中)

(その他)

なし

【法政実務図書室】

(開館状況)

3/11以降の開室時間のまま開室

(人的被害)

なし

(図書の被害)

図書書架の落下ゼロ、雑誌書架の落下少々、集密書架の落下ゼロ

(施設の被害)

新たな被害はないが、壁のヒビ(2カ所)が拡大した

(備品の被害)

なし

【生命科学研究科 図書室】

(開館状況)

図書室はすでに開室しているが、書庫スペースの立ち入りは禁止のまま

(人的被害)

なし

(図書の被害)

図書落下多数

(施設の被害)

なし

(備品の被害)

なし

(その他)

甚大な被害を受けた他部局の実験スペースとして、生命科学(片平)南キャンパス棟の空きスペースが候補に上がっている。本図書室の書庫スペースも含め検討しているとのこと。

【数学専攻研究資料室】

(開館状況)

4/4から数学棟3階資料室配架資料のみ貸出を再開していたが暫くの間閉室

(人的被害)

なし

(図書の被害)

前回の地震で約5万冊(雑誌含む)が落下、約200

冊の資料が破損、今回の地震により約2万冊(雑誌含む)落下、破損資料の確認中

(施設の被害)

天井石膏ボードの一部剥落、書架の側板落下、書架の柱に歪み

(備品の被害)

なし

図書館名： 宮城教育大学附属図書館

(開館状況)

閉館中(3/11の震災の影響による)

(図書資産の被災状況)

4/7の地震で、新たな図書の落下があった(数千冊程度か)

図書館名： 秋田大学附属図書館

[3/11の被害]

・建物・設備・図書館資産の被災状況
　　落下書籍 約1,500冊

・開館の見通し

平成23年4月1日

[4/7の被害]

(開館状況)

平成23年4月8日 8:30～12:00 停電のため部分開館
13:00～17:00 通電したため通常開館

(人的被害)

なし

(図書の被害)

開架閲覧室及び書庫の図書・雑誌の落下(約100冊)

(施設の被害)

なし

(備品の被害)

なし

図書館名： 山形大学附属図書館

小白川図書館

- 開館状況：開館(利用室限定)
- 人的被害：なし
- 図書の被害：図書が書架から数十冊落下
- 施設の被害：なし
- 備品の被害：なし

医学部図書館

- 開館状況：通常開館
- 人的被害：なし

- 図書の被害：なし
- 施設の被害：なし
- 備品の被害：なし

工学部図書館(米沢市)

- 開館状況：3月11日以降復旧作業のため閉館
- 人的被害：なし
- 図書の被害：なし
- 施設の被害：なし
- 備品の被害：なし

農学部図書館(鶴岡市)

- 開館状況：通常開館
- 人的被害：なし
- 図書の被害：図書が書架から3冊落下
- 施設の被害：なし
- 備品の被害：なし

図書館名：福島大学附属図書館

(開館状況)

3/11～4/24 震災の復旧作業のため閉館
 4/25～6月 開館時間の短縮、日曜祝日閉館、書庫入庫利用者の制限、施設内的一部入室禁止
 など利用を一部制限した上で開館
 7月以降の開館時間等は未定

[開館時間]

4/25～5/6
 平日のみ：13時～16時

5/9～5/11(新入生を迎える会(入学式)～授業開始前)

9時～17時

5/12～5/31(授業開始後)

平日：9時～20時

土曜：12時30分～17時

6/1～6/30

平日：9時～20時

土曜：10時～17時

(人的被害)

なし

(図書の被害)

[3/11の被害]

図書の落下 約14万冊
 雑誌・新聞の落下 約8万点
 マイクロフィルムの落下 約800点

[4/7の被害]

開架閲覧室及び書庫の図書・雑誌の落下 約500冊

(施設の被害)

[3/11の被害]

天井石膏ボードの一部はがれ、トイレの壁(タイル)の一部はがれ、壁・天井・床表面の一部ひび割れ
 天井の換気口が一部浮き出た

[4/7の被害]

天井の換気口が3/11地震時よりもさらに浮き出た
 3/11地震で発生した壁表面の亀裂がさらに広がった
 (備品の被害)

[3/11の被害]

電動式集密書架の一部故障

【公立】

図書館名：青森公立大学図書館

(開館状況)

平成23年4月14日より開館

(3月11日～4月13日まで、停電及び暖房用燃料不足等により臨時休館)

(建物・設備の被害状況)

開架書庫に設置されている除湿機3台中2台の部品が一部破損

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

図書8冊落下

(その他)

なし

図書館名：青森県立保健大学附属図書館

(開館状況)

通常通り開館

平成23年3月11日の地震では、停電のため、16:30で臨時閉館

平成23年4月7日の地震では、停電のため、4月8日休館

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

平成23年3月11日の地震では、落下図書約70冊、平成23年4月7日の地震では、被害なし

(その他)

なし

図書館名： 岩手県立大学 メディアセンター

(開館状況)

3月 11 日～4月 17 日まで休館

4月 18 日から、安全が確保された 3 階及び 4 階閲覧室について、本学学生、教職員に限り部分開放

開館は平日のみ 9 時から 17 時まで

(建物・設備の被害状況)

柱のひび割れによるコンクリート片の落下、落下防止装置の破損

(書架の被害状況)

書架の転倒、書架を連結しているボルトの緩み

(蔵書の被害状況)

3月 11 日の地震で約 5 割の資料が落下、4月 7 日の地震で約 1 割の資料が落下

(その他)

図書館システムをリプレースし、4月 1 日から新システムの運用開始予定であったが、物流の遅れにより、全業務・サービスの停止、現在、再開に向け準備中

図書館名： 岩手県立大学 宮古短期大学部図書館

(開館状況)

3月 11 日地震発生後～3月 31 日まで休館

4月 1 日～15 日まで短縮開館

(土日、4/7、12、13 は休館)

4月 18 日～通常開館

(建物・設備の被害状況)

建物や書架等に大きな被害はなし

(書架の被害状況)

3月 11 日の地震 3 割程度の図書が落下

4月 7 日の余震 10 冊程度の図書が落下

(蔵書の被害状況)

一部図書に破損あり（自館で修理可能な程度）

(その他)

3月 22 日ネットワーク復旧 3月 26 日通信設備復旧

図書館名： 宮城大学 総合情報センター

太白キャンパス図書館

(開館状況)

4月 30 日（土）まで閉館（3月 11 日の震災の影響による）、ただし、大学の教職員には開放し、資料等の貸出も行っている

(建物・設備の被害状況)

壁に亀裂があり、そのうちの一部が剥落、天井に設置してある火災報知機の部品が落下（1 個）

(書架の被害状況)

・ 書架を床面で固定していたボルトの屈曲

・ 閉架：3/11…1 万冊程度の図書が落下
(おもに書架の上段部分)

4/7…120 冊程度の図書が落下

・ 開架：0.5% 程度の図書・雑誌の落下
(どちらの震災によるものかは不明)

(蔵書の被害状況)

破損資料は 50 冊程度

(その他)

帰省先が津波の被害にあったため、借りていた図書の行方がわからなくなったり、との学生からの申し出が 1 件あった

図書館名： 宮城大学 総合情報センター

太白キャンパス図書館

(開館状況)

3月 11 日に発生した地震により休館中、5月 8 日より開館予定

4月 11 日より下記部分開放を実施

- ・ 1 階のみ開放（新聞・雑誌の閲覧のみ）
- ・ 時間 9 時～17 時（平日のみ）
- ・ 本学学生、教職員の学習・研究スペースとしての利用とし、貸出業務は行わない

(建物・設備の被害状況)

壁の一部に亀裂、コンクリート片の剥離等があるものの大きな建物被害はなし

(書架の被害状況)

1 階閉架電動書架の一部に若干の歪みが発生

(蔵書の被害状況)

3月 11 日の地震で 2 階閉架書架の 8 割程度（約 3 万冊）が落下、4月 7 日に復旧作業が完了したが、同日の余震により再び同 4 割程度（約 1 万 5 千冊）が落下、2 度の地震により 200 冊程度が破損、1 階閉架電動書架の一部資料（約 500 冊）が落下

(その他)

教員へ貸出中の資料のうち、10 冊程度（4月 19 日現在）が研究室の水漏れにより汚損

図書館名： 秋田県立大学図書・情報センター

【秋田キャンパス】

(開館状況)

平成 23 年 3 月 11 日～4 月 24 日まで時間を短縮して開館

平日は 8:30～17:00、土日祝日は休館

平成 23 年 4 月 25 日以降通常の開館時間とする

平日は 8:30～22:00、土日祝日は 9:00～19:00

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

図書 2 冊落下

図書館名： 国際教養大学図書館

(開館状況)

平成 23 年 3 月 11 日～13 日 地震発生後より完全閉館

3 月 14 日 節電と利用者の安全を考慮し、
開館時間を変更する

(開館時間：8 時 30 分～18 時)

平成 23 年 4 月 8 日 停電のため臨時休館

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

ラウンドケースより 4 冊 文庫本が落下

(蔵書の被害状況)

なし

【本荘キャンパス】

(開館状況)

平成 23 年 3 月 11 日～4 月 24 日まで時間を短縮して

開館

平日は 8:30～17:00、土日祝日は休館

平成 23 年 4 月 25 日以降通常の開館時間とする

平日は 8:30～23:00、土日祝日は 9:00～19:00

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

なし

図書館名： 山形県立保健医療大学附属図書館

(開館状況)

開館(土曜日は 4/23 まで閉館)

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

なし

【大潟キャンパス】

(開館状況)

平成 23 年 3 月 11 日～4 月 24 日まで時間を短縮して

開館

平日は 9:00～17:00、土日祝日は休館

平成 23 年 4 月 25 日以降通常の開館時間とする

平日は 9:00～22:00、土日祝日は 9:00～19:00

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

図書 46 冊落下(余震)

図書館名： 山形県立米沢女子短期大学附属図書館

(開館状況)

4 月 4 日より通常開館

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

約 10 冊の図書の破損

(その他)

特になし

図書館名： 秋田公立美術工芸短期大学附属図書館

(開館状況)

平成 23 年 4 月 8 日 臨時休館

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

なし

(その他)

特記事項なし

図書館名： 会津大学情報センター附属図書館

(開館状況)

3 月 11 日～3 月 27 日 閉館

3 月 28 日より平日 9:00～17:00、土曜日 9:00～15:00
で開館中

5 月 9 日からは通常の開館時間(平日 9:00～20:00、
土曜日 9:00～17:00)に戻る予定

(建物・設備の被害状況)

地下の閉架書架(電動書架)の一部が現在も故障中

(書架の被害状況)

1階・2階の棚の上3段の本はすべて落ち、低書架は書架ごと倒れた
地下の電動書架は地震で動いて隙間に多くの本が落ち、一時動かなくなった
また、2階の寄贈資料室の書架がゆがんでしまっている

(蔵書の被害状況)

本の上下部がつぶれてしまったり、本が壊れてしまつたものがある

(その他)

特になし

図書館名：会津大学短期大学部附属図書館

(開館状況)

復旧作業のため3月14日を臨時休館した以外は、平常開館、ただし、開架書庫への入庫は3月18日まで禁止した

(建物・設備の被害状況)

一部壁面にヒビがあるものの、大きな建物被害はなかった、

(書架の被害状況)

3月11日の地震により、一部の書架が転倒したり、移動(5cm程度)したりした
また、歪みが生じた書架があった、
→ 閲覧室は4月16～17日に耐震工事済、開架書庫は耐震について検討中

(蔵書の被害状況)

3月11日の地震では、図書や雑誌が約17,000冊落下し、数十冊が破損した

4月7日の地震では、若干数の図書が落下したが、破損はなかった

(その他)

人的被害はなかった

図書館名：福島県立医科大学附属学術情報センター

(開館状況)

4月末まで休館中、5月1日から通常開館予定
落下資料の整理が終わった3月18日からは、学内利用者に限り平日9時～17時まですべての利用を可としている

(建物・設備の被害状況)

建物・設備の大きな被害はなし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

場所により落下具合が異なるが、4割程度の落下(落下具合により、背割れなど損傷のある資料も多少あり)

(その他)

ライフラインについては、上下水道のみ10日間ほど使用不能

【私立】

図書館名：青森大学・青森短期大学附属図書館

(開館状況)

平成23年4月8日 停電により全学休講、但し図書館は停電状態にて開館し、13:30過ぎ復旧、通常開館にもどる。

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

なし

(その他)

平成23年3月11日の本震では、建物・設備関係および人的被害もなかった。

図書館名：東北女子大学附属図書館

(開館状況)

平成23年4月8日 臨時閉館(前日からの停電による)、4月9日からは通常開館

(建物・設備の被害状況)

4月7日夜に発生した地震後、4月8日午後12時頃まで停電、停電復旧後、サーバー等復旧
建物の被害はなし、設備の被害としては移動書架の多少の移動あったが、業務に差し支えない程度であった、その他、建物や設備に被害なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

なし

(その他)

なし

※ なお、3月11日に発生した地震では、地震発生後に閉館、建物・蔵書落下などの被害はなかったものの、移動書架が業務に差し支えない程度であるが、多少動いていた、また、停電により業務停止状態、3月12日学校行事もあり、閉館としていたが夕方前には停電復旧、3月14日からは通常開館、

図書館名：八戸大学・八戸短期大学図書館

(開館状況)

地震発生後、3月11日（金）15時30分から3月18日（金）まで閉館、以後は通常開館とした

(建物・設備の被害状況)

建物自体に大きな破損等はなかったが、一部入り口のドアの開閉が渋くなったところあり、現在使用していない目録カードケースの上置部分(5引き出し×3段)が2台落下し破損

落下しなかった上置部分のカードケースのうち3台は、2cmほど前へ迫り出しがれていた、2階閲覧室のOPAC検索用パソコンのディスプレイが床に落下していたが、幸い破損・故障はなかった

(書架の被害状況)

耐震止めをしていなかった事務室内の軽量ラックが1台転倒し書類が散乱した、閲覧室については耐震止めのアンカーボルトが一部浮き上がり抜け落ちた箇所が数箇所あり、書庫のモービルクランク書架の筋交いが若干変形したりねじの緩みが生じた箇所あり、一部ゆがみが生じたせいか、開閉移動がスムーズに行かない書架あり、木製のAVラックの連結部分のネジ穴が緩み、しっかりととはめ込んで留められない状態になり上段3段は棚板を外した状態

(蔵書の被害状況)

2階閲覧室の開架書架では約7万5千冊のうち約1万冊が落下・散乱、1階閉架書庫では約千冊程度が落下・散乱した、また、落下しなかった図書のうち、約3分の2の棚板において2cm～3cmの図書の迫り出しが見られ、最大約6cmまで迫り出していた図書があった、落下図書の復元については閲覧室は3月25日にはほぼ完了した、落下した所蔵資料図書のうち、表紙やページに皺や折れ目がついたりハードカバーの角が少々ひしゃげたものは多数見受けられたが、修理が必要な破損を確認しているものは図書が約25冊、使用不能になったAV資料(主にVHSビデオテープ)は12点である

(その他)

落下図書の整理のため他部署の職員が手伝ってくれた際、とりあえず足の踏み場を確保することを優先し、図書の配列については詳しい説明をしている余裕が無かったため、一部被災前と異なった配架になってしまった部分を現在図書館職員で確認をしながら訂正配架作業中である、そのため、ILLの受付分については4月末までの間休止させていただいている

図書館名：八戸工業大学

(開館状況)

閉館中(震災のため3/11～4/17まで)

(建物・設備の被害状況)

4/8停電(同日15:00停電復旧)

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

なし

図書館名：弘前学院大学附属図書館

(開館状況)

2011年3月11日発生地震後、停電の為、

臨時休館3月12日

2011年4月7日 深夜発生地震後 停電の為、
臨時休館4月8日

(建物・設備の被害状況)

特になし

3月11日 発生地震後より停電 3月12日

18:00復旧

4月7日 発生地震後より 停電 4月8日

13:30復旧

(書架の被害状況)

特になし

(蔵書の被害状況)

特になし

図書館名：青森中央学院大学・青森中央短期大学

図書館情報センター

(開館状況)

3/14～3/17は卒業式のためもともと休館、3/18～3/25までを臨時休館とした

(建物・設備の被害状況)

特になし、

(書架の被害状況)

特になし、

(蔵書の被害状況)

地震の震動と同方向に設置されていたと思われる書架の蔵書が多数落下

(その他)

人的被害はなし、蔵書を棚に戻し、並べ替えを完了するまでに数日を要した

※4/7の地震による影響

(開館状況)

停電のため4/8を臨時休館、その後は通常開館、

(建物・設備の被害状況)

特になし、

(書架の被害状況)

特になし

(蔵書の被害状況)

数冊の本が棚から落下するも、ほぼ被害はなし

(その他)

人的被害はなし、県内全域が停電したことにより、
臨時休館とした

図書館名： 岩手医科大学附属図書館(内丸キャンパス)

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分発生

(開館状況)

3 月 11 日地震直後～3 月 22 日まで閉館

3 月 23 日～3 月 31 日では短縮開館(平日 9:00～17:00)

書庫は入室禁止

閲覧室は 1 か所のみ開放、夜間開館および

休日の閲覧室開放中止

4 月 1 日から通常開館(平日 9:00～22:00) 書庫も

入室可

相互貸借は 4 月 11 日から再開

閲覧室は引き続き 1 か所のみ開放、休日

の開放も中止

(建物・設備の被害状況)

正面玄関のガラスひび割れ、書庫内の蛍光灯傘ごと
落下、ロビーの壁面に亀裂、横積みの棚板落下

(書架の被害状況)

壁面固定金具破損、壁も破損

(蔵書の被害状況)

約 2,200 冊落下 破損図書若干

(その他)

平成 23 年 4 月 7 日 23 時 32 分発生

(開館状況)

4 月 8 日は停電のため閉館 4 月 11 日から再び通常
開館

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

8 冊落下

(その他)

図書館名： 岩手医科大学附属図書館分館

(矢巾キャンパス)

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分発生

(開館状況)

3 月 11 日地震直後～4 月 30 日まで閉館

4 月から、検索コーナー、新聞・新着雑誌コーナーの
ご利用可

5 月 2 日から通常開館(平日 9:00～22:00)予定

(建物・設備の被害状況)

利用者用ロッカー転倒、ロッカー転倒によりケーシン
グキー、壁、暖房機、ゴミ箱破損

利用者用 PC 本体落下、キーボード破損 AV コーナーの
TV モニター音量不具合

(書架の被害状況)

壁面・脚部固定金具破損、書架本体および棚板歪み

(蔵書の被害状況)

約 47,000 冊落下 破損図書 167 冊

(その他)

事務室内の書類はほぼ全てが落下

現在は保存書庫として使用している旧教養部分館の被
害状況

建物・設備：暖房機(蒸気ラジエーター)の床固定金具
破損

横積みの棚板落下により床のタイル破損

製本雑誌書架のハシゴを掛けるバーが破損

蔵書：約 16,500 冊落下 破損図書多数

平成 23 年 4 月 7 日 23 時 32 分発生

(開館状況)

3 月 11 日に発生した地震により 4 月 30 日まで閉館中

5 月 2 日から通常開館(平日 9:00～22:00)予定

(建物・設備の被害状況)

AV コーナーのモニター・検索用 PC のディスプレイ転
倒、本体のキーボード用端子破損

(書架の被害状況)

なし ※ 4 月 19 日～21 日全書架点検・修理・防震調
整作業終了

(蔵書の被害状況)

約 17,000 冊落下

(その他)

現在は保存書庫として使用している旧教養部分館は
64 冊落下

図書館名： 富士大学図書館

(開館状況)

4月11日より時間を短縮して開館、5月9日より通常開館予定

閉架書庫は立入禁止

(建物・設備の被害状況)

閉架書庫の壁に亀裂

(書架の被害状況)

書架転倒あり

(蔵書の被害状況)

開架閲覧室及び書庫の図書・雑誌多数落下(一部破損)

(その他)

(その他)

2度にわたり地震を経験して、資料の落下が著しく、もし学生がいたら、退路を絶たれてしまい、避難できない状況になりうるので、書架の配置を見直し、詰め込み過ぎないようにした。

また、どのような種類の資料が落下しやすいかわかつたので、今後、工夫したい

図書館名： 盛岡大学図書館

(開館状況)

平成23年3月11日 停電により3月12日臨時休館
以後4月9日まで、落下図書等
復旧作業及び余震警戒、節電対策のため休館

4月11日～4月23日 開館(9時～16時30分)

4月25日～ 9時～19時開館予定

(建物・設備の被害状況)

3月11日、4月7日とも目立った被害無し

3月11日～13日停電

4月7日の地震後から8日14時頃まで停電

(書架の被害状況)

3月11日、4月7日とも被害無し

(蔵書の被害状況)

3月11日 落下図書約1,800冊、4月8日 落下
図書無し

図書館名： 修紅短期大学図書館

(開館状況)

平成23年3月11日の地震により閉館していたが、引き続き閉館し、4月18日より開館した

(建物・設備の被害状況)

壁の一部落下

(書架の被害状況)

書架破損、資料落下、固定式書架(縦230cm×横280cm)が2台、壁に穴をあけて倒れた

3月11日の地震の余韻があり、緩んでいたと思われる、4月15日復元

(蔵書の被害状況)

3月11日約90%落下し、今回は約80%落下した、書籍をカバーする箱がほとんど破損した

(図書館名： 岩手看護短期大学図書館(本館図書館)

(開館状況)

3月11日震災後～3月21日まで臨時休館、22日より通常通り開館

(人的被害)

なし

(図書の被害)

1/2程度落下、落下資料を1日で棚に戻す、(本学教職員8名の協力を得る)

(建物・設備の被害状況)

- ・壁の一部にもともとあったヒビが、少し広がる
- ・一時だが、電動書庫が動かない等の不具合が生じる
→(原因は書庫内の資料の乱れによる、現在は復旧)

(蔵書の被害状況)

製本雑誌、大型本、ハードカバー本等、図書館資料の一部に背割れや本体とカバーが分離するという、明らかに破損とみられる資料が20冊程度見つかる

(その他)

ネットワークの一部に障害、(インターネットが復旧するまで、やや時間がかかった)

(図書館名： 岩手看護短期大学図書館(e-ライブラリー)
…分館

(開館状況)

3月11日震災後～3月21日まで臨時休館、22日より通常通り開館

(人的被害)

なし

(図書の被害)

7割程度落下、本学図書館スタッフにより3日かけて資料を棚に戻す

(建物・設備の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

なし

(その他)

分館には1000冊ほどの所蔵があるが、比較的軽い資

料が多い、そのため、落下被害が大きいわりに、現段階において資料の破損等は特に見当たらない

(蔵書の被害状況)

7割程度の図書の落下、数十冊の図書の破損

図書館名： 仙台大学附属図書館

(開館状況)

3月11日～5月6日まで休館

5月7日から通常開館

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

書架から多数落下

(その他)

なし

図書館名： 仙台白百合女子大学図書館

(開館状況)

4月中閉館、5月9日のオリエンテーションに合わせて開館の予定

(建物・設備の被害状況)

各所にひびが入るも建物の安全は確認済

(書架の被害状況)

書架を上部で固定してあるので、書架の倒壊は免れたが、壁に固定してある部分のボルトは全部抜け、業者に確認してもらったところ、再固定が必要

(蔵書の被害状況)

3月11日の本震で全部書架から蔵書が落下、その後復旧するも、4月7日の余震で9割が再度落下、重量のある図書はかなり傷んで修理が必要なものも多数有

(その他)

復旧の作業と同時に、再再度の落下防止のため、書架の下部にPPテープでストッパーをかける作業を行っている

図書館名： 石巻専修大学 図書館

(開館状況)

3月11日及び4月7日に発生した地震により落下した図書の復旧作業のため閉館中

(建物・設備の被害状況)

空調のカバーはずれ、書架を固定していた壁破損などあるが、大きな建物被害はなし

(書架の被害状況)

書架一部破損、数台の書架の転倒あり

図書館名： 東北学院大学中央図書館

(開館状況)

3月11日以降復旧作業のため休館

(建物・設備の被害状況)

壁面タイルの亀裂および一部崩落、壁面等に亀裂発生、

利用者用パソコン5台転倒、事務用パソコン1台破損

(書架の被害状況)

書架の傾斜

(蔵書の被害状況)

蔵書冊数約65万冊中、約30万冊落下

(その他)

なし

図書館名： 東北学院大学多賀城キャンパス図書館

(開館状況)

3月11日以降復旧作業のため休館

(建物・設備の被害状況)

壁面等に亀裂発生

(書架の被害状況)

保存書架の一部傾斜

(蔵書の被害状況)

蔵書冊数約15万冊中、約1,500冊落下

(その他)

なし

図書館名： 東北学院大学泉キャンパス図書館

(開館状況)

3月11日以降復旧作業のため休館

(建物・設備の被害状況)

壁面等に亀裂発生、トイレタイルの剥離、利用者用パ

ソコン3台落下

(書架の被害状況)

書架の傾斜

(蔵書の被害状況)

蔵書冊数約30万冊中、約20万冊落下

(その他)

なし

図書館名： 東北工業大学付属図書館 八木山本館

(開館状況)

平成23年4月1日～ 開架図書室とレファレンスルームは開館している

書庫の蔵書は 6月初旬からの使用に向け、現在復旧作業を実施中

(人的被害)

なし

(建物・設備の被害状況)

書庫の壁のひび・剥離・増築境界部分の損傷はあるが、建物の使用は可能

(書架の被害状況)

レファレンスルームの木製雑誌架が転倒し、前面部分が損傷した

開架図書室のスチール書庫上部繋ぎ部分留め金損傷

(2箇所)

(蔵書の被害状況)

3月11日 開架図書室の図書全部落下(3万冊)

4月7日 開架図書室の図書再度7割落下(2万1千冊)、レファレンスルームのDVD等視聴覚資料落下(約500点)、書庫の蔵書約6割が落下(17万冊)、上階の水漏れにより書庫の蔵書若干冊が水を被り、しわシミが発生、

(その他)

なし

図書館名：東北工業大学付属図書館 長町本館

(開館状況)

平成23年4月1日～ 開館している、

(人的被害)

なし

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

なし

(蔵書の被害状況)

3月11日 図書の7割落下(2万7千冊)

4月7日 図書再度4割落下(1万5千冊)

図書館名：東北福祉大学図書館

(開館状況)

3月11日地震発生から休館中

4月26日から開館予定

(建物・設備の被害状況)

1階窓ガラス1か所破損、各階書架壁面数か所破損するも大きな被害はなし

(書架の被害状況)

2階固定木製雑誌架が2本倒壊、スチール書架変形・脚部台座から外れる

(蔵書の被害状況)

地震で停電したため断水し復旧したが、3階天井内部の水道管が破損しており、開架書架に漏水して、落とした図書2000冊強が被災、他に落下による破損も多数あった

(その他)

地震発生時 約30名位利用中けが人はおらず、開架書架 95% 落下、早々に70%整理するも、

4月7日の地震で再度落下

閉架書架 80% 落下 整理手つかず 利用不可
閉架雑誌 落下につき利用不可

図書館名：東北文化学園大学総合情報センター図書館

(開館状況)

・3/11の15時(震災時)より5/8まで閉館

(建物・設備の被害状況)

・図書館のある建物屋上の変電設備が破損
※3/11の15時以降現在まで図書館は電気不通
・館内に設置していた銅像と台座が倒壊

(書架の被害状況)

・文庫本と新書を配架するための木製書架が2台倒壊

【図1】

(蔵書の被害状況)

・1F…文庫本と新書は倒壊した書架ごと落下
・地下開架…図書および製本雑誌が大量落下
・閉架…図書が大量落下**【図2】**

(その他)

・震災直後の書架まわりの画像です、なお、4/7の余震では図書の落下はほとんどありませんでした、

【図1】 1F 文庫



【図2】 閉架の一部



図書館名： 東北薬科大学附属図書館

(開館状況)

平成 23 年 3 月 11 日地震発生後～平成 23 年 4 月 22 日

臨時閉館、復旧作業

平成 23 年 4 月 25 日(月)より開館

(建物・設備の被害状況)

建物・設備への大きな被害はなし

(書架の被害状況)

集密書架の上部レール壁面固定外れる

書架棚板の一部破損、歪み、ズレはあるが、書架の転倒はなし

(蔵書の被害状況)

全体の約 4 割（約 4 万冊程度）の図書・製本雑誌落下

若干数の図書・製本雑誌破損

(建物・設備の被害状況)

特になし

(書架の被害状況)

特になし

(蔵書の被害状況)

書架より落下図書約 1000 冊

(その他)

3 月 21 日まで休校につき、図書館も休業

3 月 22 日電気復旧、インターネット利用可、図書館サー
バも復旧

3 月 27 日ガス復旧、空調利用可

図書館名： 宮城学院女子大学図書館

(開館状況)

平成 23 年 4 月 20 日から特別開館

- ・ 開館時間：9 時～ 16 時 30 分
- ・ 開放フロア：プラウジングルーム、第一閲覧室、目録室のみ開放

(建物・設備の被害状況)

- ・ 全フロアにて壁・柱のひびが多く見られ、特に第二閲覧室では、天井排気口が落下するなど被害が大きい、
- ・ 業務用端末ディスプレイ(2 台)が転倒し操作不調
- ・ A V ブース用 T V ・ ビデオレコーダーが転倒し操作不調、 T V はディスプレイに亀裂あり

(書架の被害状況)

- ・ 集密書架は、器具・レール部分の破損が数箇所見られ、棚板が数枚ゆがみ使用出来ず
- ・ スチール製書架が転倒(1 点)、破損・ゆがみのある棚板が数十枚あり
- ・ 木製複式書架(1 機)の耐震用金具が外れ、耐震機能がほぼ不能状態

(蔵書の被害状況)

- ・ 開架書架・閉架書架の 8 割程度が落下
- ・ 集密書架は 2 割～ 3 割が落下
- ・ 破損した図書 50 冊程度あり

(その他)

なし

(建物・設備の被害状況)

4 月 1 日より開館

(書架の被害状況)

壁の亀裂、棚の位置の変動あり、また、AV ラックが一台破損、

(蔵書の被害状況)

書架の半分程度が落下、学生アルバイトを派遣し、復旧済み

(その他)

落下して破損した図書が何冊かあったが、テープ等で補修して済む程度であった

図書館名： 仙台青葉学院短期大学図書館

(開館状況)

通常開館(9:00-17:00)

※ 3 月 11 日以降、復旧作業のため 3 月 31 日まで閉館

※ 4 月 7 日の余震の際は、復旧作業のため 4 月 8 日を臨時閉館とした

(建物・設備の被害状況)

被害なし

(書架の被害状況)

被害なし

(蔵書の被害状況)

蔵書の 3 分の 2(5000 冊)程が落下

※ 4 月 7 日の余震の際は 1000 冊程が落下

(その他)

人的被害なし

図書館名： 尚絅学院大学図書館

(開館状況)

2011 年 3 月 14 より日 2011 年 4 月 4 日まで閉館

2011 年 4 月 5 日より 5 月 2 日まで 10 時～ 16 時開館、
以後通常開館の予定

(開館状況)

閉館中(5 月ゴールデンウィーク明けを目途に 1 F のみ開館を予定)

(建物・設備の被害状況)

館内の壁にひび・亀裂が入る、穴があいた箇所もあり、窓ガラスは3枚割れる、トイレ天井や壁一部破損

(書架の被害状況)

移動書架一部倒れる、又、一部書架の転倒もあり

(蔵書の被害状況)

蔵書のおよそ4割は落下

(その他)

人的被害なし、2Fの一般書架は全体的に定位位置から20～40cm横に移動した

図書館名：ノースアジア大学附属図書館

(開館状況)

3/11 … 通常開館、
停電後は利用者と行動を共にする、
利用者が帰宅できることを確認した上で定
時に閉館した

4/8 … 通常開館、
7日夜の地震で8日11時頃まで停電、停電
中も利用者には開放した

(建物・設備の被害状況)

3/11 … なし
4/8 … なし

(書架の被害状況)

3/11 … なし
4/8 … なし

(蔵書の被害状況)

3/11 … 資料落下 45冊
4/8 … 資料落下 9冊

(その他)

地震発生後、節電等に努めるため、利用者がいない部分は消灯して閉館した
利用者も「つけてほしい」、「消していく」と声かけしてくれた、協力してくれた

図書館名：東北芸術工科大学図書館

(開館状況)

地震当日は地震発生時までの開館、翌日から4月3日(日)まで休館

4月4日～4月22日

:長期休業期間中の開館時間帯(月～金9:00～17:00、
土9:00～12:00)で開館

4月25日～6月末

:日没後の非常事態を考慮し、開館時間を短縮、7月以降の対応は未定です

	4月23日～6月末	昨年度までの授業期間中
月～金	8:45～19:00	9:00～20:30
土	8:45～17:00	9:00～17:00

(建物・設備の被害状況)

特になし

(書架の被害状況)

2階の閲覧室の最上段の書架から書籍落下あり、約1000冊
書架自体は損傷なし、

(蔵書の被害状況)

数冊、落下した衝撃で背表紙損傷あり、

(その他)

なし

図書館名：羽陽学園短期大学附属図書館

(開館状況)

3月12日から3月29日 地震による復旧作業と年度末業務により閉館

4月4日から通常開館

(建物・設備の被害状況)

なし

(書架の被害状況)

200～300冊の図書落下、4月7日の余震で数十冊落下

(蔵書の被害状況)

落下による破損が少しあります

(その他)

人的被害はありませんでした

卒業式は予定通り3月15日に、入学式は1週間延期で行われました

図書館名：東北文教大学附属図書館

(開館状況)

4月8日は停電及び図書館における安全確認のため1日休館にした

(建物・設備の被害状況)

特になし

(書架の被害状況)

地震に耐久できるように一部修理中

(蔵書の被害状況)

書庫の図書が20～30冊落下した

(その他)

5月中に火災及び地震を想定して避難訓練を実施する予定

図書館名： いわき明星大学図書館

(開館状況)

東日本大震災の影響により臨時休館中、4/25(月)

再開予定

(建物・設備の被害状況)

特になし

(書架の被害状況)

特になし

(蔵書の被害状況)

蔵書の約1割(22,000冊)が床に散乱、うち約1,600冊
が要修理

(その他)

図書館隣接のラーニングコモンズ(学習センター)の
一部内装(天井ボード等)を修繕中

図書館名： 奥羽大学図書館

(開館状況)

4月1日から平日は9時から17時30分、土曜は9時
から12時まで開館、

(ただし一部立ち入りを禁止している場所あり)

(建物・設備の被害状況)

ひび、亀裂多数あり、開館には、支障なし

(書架の被害状況)

固定書架の全てが傾き、一部完全倒壊、電動書架は一
部損傷、ゆがみ

(蔵書の被害状況)

固定書架配架図書の約25%が落下、散乱、うち、約
5%の図書が水濡れ(天井配管破裂のため)

電動書架配架図書の約10%が落下、散乱

(その他)

なし

図書館名： 郡山女子大学図書館

(開館状況)

4月中は閉館、5月9日(月)部分開館予定

(建物・設備の被害状況)

建物の内外にひび割れ多数、1階の床が隆起、正面階
段が一部崩落、周囲に液状化現象あり

(書架の被害状況)

転倒した書架あり、スチール書架の破損廃棄、木製雑
誌架に損傷あり

(蔵書の被害状況)

破損図書多数

(その他)

館員は全員無事、4月22日現在、図書館棟1階を中心
に建物は修理工事中、ツイッターを利用して被害と
復旧の様子を公開(<http://twitter.com/LibKGC>)

図書館名： 東日本国際大学・いわき短期大学昌平図 書館

(開館状況)

平成23年3月12日～5月8日 臨時閉館

平成23年5月9日より通常開館

(建物・設備の被害状況)

- ・壁の一部にひび……修繕終了
- ・壁の塗装の落下……特に問題なし

(書架の被害状況)

書架の転倒・棚の落下等の被害なし

(蔵書の被害状況)

約1,000冊の図書および雑誌等の落下あり、若干冊の
破損あり

視聴覚収納ケースの落下および破損あり

(人的被害)

なし

(その他)

平成23年4月11日、12日の余震において、若干冊の
落下はあったが大きな被害なし

館内の設備および資料の復旧作業も終了し、5月9日
より通常開館

研究室貸出の図書については、状況を調査中

図書館名： 日本大学工学部図書館

(開館状況)

4月12日まで休館とし、復旧作業を進める

4月13日 部分開館 貸し出し業務は行わない

(返却のみ)

- ・1階のみ開館(プラウジングルーム・閲覧室)
- ・時間：9時～17時(土曜日：9時～13時)
- ・授業開始(5月14日)に向け全館開館予定

(建物・設備の被害状況)

壁の一部に亀裂等の被害、書架の転倒により、書架・
棚板等の破損被害

建物1F～5Fの書架からの図書・雑誌の落下により
散乱、全体の7割程度の落下により、図書・雑誌の
破損も多い、ネットワークも10日程不通となる

図書館名： 桜の聖母短期大学 図書館情報センター

(開館状況)

平成 23 年 3 月 16 日（水）より開館、開館時間は 8 :
30 から 17 : 00 まで

(建物・設備の被害状況)

パソコン 1 台破損、照明 1 台破損、壁のひび割れ数か所
(書架の被害状況)

集密書架破損、
(蔵書の被害状況)

約 5 万冊落下、そのうち 50 冊ほどが破損
(その他)

4 月 15 日（金）に図書の整理完了

図書館名： 福島学院大学図書館情報センター

(開館状況)

平成 23 年 3 月 11 日（金）午後におきた大地震により、
通常の開館が出来なくなり、ほとんど休館状態でしたが、たまたま利用者が借りた図書の返却に来たりするなど、職員が対応した

落下した蔵書を書架に戻し、NDC の再分類整理がようやく本日（5 月 7 日）一通り完了し、来週月曜日（9 日）の授業開始に間に合って、震災前の状態に復旧、来週から通常の図書館利用開館が出来るようになった

(建物・設備の被害状況)

図書館は地下 1 階、地上 5 階の鉄筋コンクリート構造のため、最上階の壁にちょっと亀裂が入り、天井から建築材のカスが落ちたりするぐらいで、建物の被害は軽微な程度でした

しかし、コンピュータシステムが光回線の故障により使えないなり、NTT に急遽依頼し、1 週間後に仮設光回線を取り込み、復旧した

(書架の被害状況)

震度 6 の強い揺れで、蔵書約 60,000 冊がほとんど書架から落ち、床一面に散乱状態となった

雑誌棚も倒れ、一部凹みやポケットが開けなくなる被害にあった

書架は水平が崩れたりするところもあったが、業者さんに修理してもらってほぼ直った

(蔵書の被害状況)

蔵書が落下し、衝撃で割れたり、ページが抜けたりする被害は結構あった、冊数的には数 10 冊程度

(その他)

視聴覚資料約 3000 点、棚から落ち、衝撃でかなり破損した

図書館名： 福島学院大学駅前キャンパス図書館情報センター一分室

(開館状況)

同上

(建物・設備の被害状況)

地上 6 階の鉄筋コンクリート構造で、6 階の一角にある約 200 平米の分室、雑誌棚が倒れて壁にぶつかり、壁が凹んだところは一箇所、また、入り口のドアガラスにちょっとひびが入った程度の被害であった

(書架の被害状況)

書架が傾いたり、水平が崩れたりして、業者さんに依頼しなければ、落下した図書を戻せない状態だった、また、雑誌棚が倒れて衝撃で凹んだり、ポケットが開けなくなったりするなど被害が大きかった、4 月中に業者に修理を依頼し、すでに固定工事や水平を取り戻すなど復旧作業は完了した

(蔵書の被害状況)

床に落ちた蔵書は割れたりするなど、破損したものは 100 冊程度あった、

落ちた蔵書はすべて書架に戻し、NDC 順番に並べなおした、通常に貸し出しできるようになり、通常に開館した

(その他)

学生インターネット検索用パソコンは、床に落ちて液晶画面が破損、また LAN ケーブルが壊れるなど、業者さんに修理を依頼した、(破損したのは 5 台のうちの 1 台)

図書館名： 仙台高専名取キャンパス図書館

(開館状況)

通常開館（～ 20:00）

(建物・設備の被害状況)

壁のひび割れ

(書架の被害状況)

倒壊、ゆがみ多数

(蔵書の被害状況)

9 割ほど落下 破損の有無は未確認

(その他)

なし

図書館名： 仙台高専広瀬キャンパス図書館

(開館状況)

通常開館（～ 18:00）

(建物・設備の被害状況)

なし（図書館を出たところの廊下にはひび割れ有り）

(書架の被害状況)

書棚の倒壊（修理済み）

(蔵書の被害状況)

7 割ほど落下 破損本多数

(その他)

なし

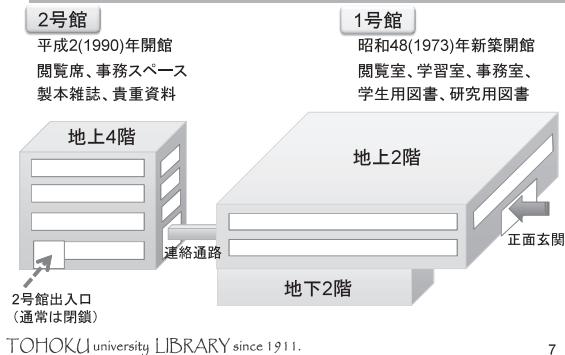
2. 国立大学図書館協会総会ワークショップでの発表内容 (東北大學、岩手大學、福島大學：発表順)

平成23年6月16日(木)に開催された第58回国立大学図書館協会総会(当番地区：中国四国地区協会、当番館：広島大学図書館、会場：グランドプリンスホテル広島)のワークショップ報告において、以下の報告がされているので紹介しておきます。

(1) 東北大學附属図書館情報サービス課長 小陳 左和子

<p>1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>東北大學附属図書館は2011年6月14日に創立百周年を迎えました</p><p>H23.6.16</p><p>100th anniversary since 1911.</p><p>平成23年度国立大学図書館協会総会 ワークショップ テーマB「災害における図書館の危機管理」事例報告</p><p>そのとき私たちができたこと - 大学図書館が遭遇した東日本大震災 -</p><p>東北大學附属図書館 情報サービス課長 小陳 左和子</p><p>TOHOKU university LIBRARY since 1911.</p></div>	<p>4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>これまでの防災対策(1)</p><p>• 耐震補強工事(平成20年度)</p><div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>△ FRPブロック耐震壁 (ガラス繊維強化プラスチック)</p></div><div style="text-align: center;"><p>△ 円形鋼管プレース 既設の壁にPCa耐震ブロック壁補強 既設の柱に炭素繊維巻き補強</p></div></div><p>TOHOKU university LIBRARY since 1911.</p></div>																																							
<p>2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>東北大學の位置</p><div style="text-align: center;"><p>※沿岸部の着色部分は推定浸水区域 株式会社バスコ作製地図を使用</p></div><p>TOHOKU university LIBRARY since 1911.</p></div>	<p>5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>これまでの防災対策(2)</p><p>• 年一回の防災訓練</p><div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>地震体験車「ぐらら」</p></div><div style="text-align: center;"><p>避難器具「オリロー」による降下体験</p></div></div><p>※写真(H22.11.19(金)実施の様子)</p><p>TOHOKU university LIBRARY since 1911.</p></div>																																							
<p>3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>これまでの主な地震</p><table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><thead><tr><th colspan="3">※震度は仙台市青葉区</th></tr></thead><tbody><tr><td>869年 7月 9日</td><td>貞觀地震・津波</td><td>M8.3以上</td></tr><tr><td>:</td><td>:</td><td>:</td></tr><tr><td>1978年 6月 12日(月) 17:14</td><td>宮城県沖地震</td><td>M7.4 震度5</td></tr><tr><td>1998年 9月 15日(火) 16:24</td><td>宮城県南部地震</td><td>M5.2 震度4</td></tr><tr><td>2003年 5月 26日(月) 18:24</td><td>三陸南地震</td><td>M7.0 震度5弱</td></tr><tr><td>2003年 7月 26日(土) 7:13</td><td>宮城県北部地震</td><td>M6.2 震度4</td></tr><tr><td>2005年 8月 16日(火) 11:46</td><td>宮城地震</td><td>M7.2 震度4</td></tr><tr><td>2008年 6月 14日(土) 8:43</td><td>岩手・宮城内陸地震</td><td>M7.2 震度5弱</td></tr><tr><td>2010年 6月 13日(日) 12:33</td><td>福島県沖</td><td>M6.2 震度4</td></tr><tr><td>2011年 3月 9日(水) 11:45</td><td>三陸沖</td><td>M7.3 震度3 2日前</td></tr><tr><td>2011年 3月 11日(金) 14:46</td><td>東日本大震災</td><td>M9.0 震度6弱</td></tr><tr><td>2011年 4月 7日(木) 23:32</td><td>宮城県沖</td><td>M7.4 震度6弱 27日後</td></tr></tbody></table><p>TOHOKU university LIBRARY since 1911.</p></div>	※震度は仙台市青葉区			869年 7月 9日	貞觀地震・津波	M8.3以上	:	:	:	1978年 6月 12日(月) 17:14	宮城県沖地震	M7.4 震度5	1998年 9月 15日(火) 16:24	宮城県南部地震	M5.2 震度4	2003年 5月 26日(月) 18:24	三陸南地震	M7.0 震度5弱	2003年 7月 26日(土) 7:13	宮城県北部地震	M6.2 震度4	2005年 8月 16日(火) 11:46	宮城地震	M7.2 震度4	2008年 6月 14日(土) 8:43	岩手・宮城内陸地震	M7.2 震度5弱	2010年 6月 13日(日) 12:33	福島県沖	M6.2 震度4	2011年 3月 9日(水) 11:45	三陸沖	M7.3 震度3 2日前	2011年 3月 11日(金) 14:46	東日本大震災	M9.0 震度6弱	2011年 4月 7日(木) 23:32	宮城県沖	M7.4 震度6弱 27日後	<p>6</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>これまでの防災対策(3)</p><p>• 防災用品(職員)</p><ul style="list-style-type: none">➢ ヘルメットの支給(職員全員に一個ずつ)➢ 共済組合厚生費による「携帯用避難セット」(★)の配付(組合員に一個ずつ)★ キーホルダー型ミニLEDライト、ペンダント型ホイッスル、ウェッティッシュ、防水・保温シート、絆創膏が入ったボーチ<p>• 防災用品(カウンター備付)</p><ul style="list-style-type: none">➢ 拡声器、懐中電灯、手回し式携帯ラジオ<p style="text-align: right;">非常食、水、毛布などは常備していない</p><p>TOHOKU university LIBRARY since 1911.</p></div>
※震度は仙台市青葉区																																								
869年 7月 9日	貞觀地震・津波	M8.3以上																																						
:	:	:																																						
1978年 6月 12日(月) 17:14	宮城県沖地震	M7.4 震度5																																						
1998年 9月 15日(火) 16:24	宮城県南部地震	M5.2 震度4																																						
2003年 5月 26日(月) 18:24	三陸南地震	M7.0 震度5弱																																						
2003年 7月 26日(土) 7:13	宮城県北部地震	M6.2 震度4																																						
2005年 8月 16日(火) 11:46	宮城地震	M7.2 震度4																																						
2008年 6月 14日(土) 8:43	岩手・宮城内陸地震	M7.2 震度5弱																																						
2010年 6月 13日(日) 12:33	福島県沖	M6.2 震度4																																						
2011年 3月 9日(水) 11:45	三陸沖	M7.3 震度3 2日前																																						
2011年 3月 11日(金) 14:46	東日本大震災	M9.0 震度6弱																																						
2011年 4月 7日(木) 23:32	宮城県沖	M7.4 震度6弱 27日後																																						

館内の構造



7

通常の開館・利用状況



- **開館時間**
 - 平日 8:00-22:00 / 土日祝日 10:00-22:00
(試験期は 8:00-22:00)
 - 年間休館日 13日 有人開館の年間時間数は国立大学トップ
- **利用者数**
 - 入館者数 年間68万人
1日平均 平日2,500人 / 休日1,000人(通常期)
 - 在館者数 日中 約300人(通常期)
震災時点での推定在館者数: 約180人(休業期)

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

8

3.11当日の状況(1)



14:46	地震発生 停電、非常灯のみ点灯
	フロアにいた職員が利用者に「落ち着いてください」「書架から離れてください」「机の下に入ってください」と指示
14:49	揺れが収まった頃、利用者を館外へ避難誘導 職員が手分けして各フロアの状況を確認
	利用者・職員は正面玄関前の広場へ集合(帰った利用者もあり)
15:15	拡声器を用いて、荷物を持たずに避難した利用者を、エリア毎に数名ずつグループ分けした。 余震の合間に縫って、1グループずつ職員が引率して館内へ荷物を取りに行かせた。
	その間、手回し式ラジオで情報収集 → 仙台空港を津波が襲い、千人以上孤立しているとの情報

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

9

3.11当日の状況(2)



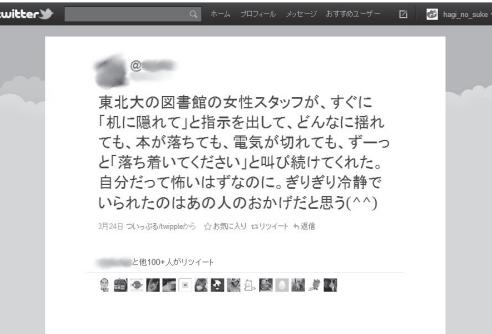
15:40	利用者の荷物引き取り終了 各フロアに人がいないことを再度確認の上、残されていた荷物を館外へ出す。
	余震が続いており、広場に残っていた利用者に臨時休館を宣言 遠隔地からの通報者、児童・介護者のいる職員に帰宅指示
	雪が降り始める
16:00	残った職員で今後の行動を協議 街や交通機関の状況が把握できないため、土日は出勤しない、 月曜は可能な限り出勤することとし、解散指示
16:30	正面玄関に臨時休館の貼り紙をして施錠
16:45	退館

当日、国大団協臨時理事会(於 東大)出席のため、館長・事務部長・総務課長は
東京出張で不在 → 3日後の3/14(月)午後に山形経由で帰仙

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

10

利用者のTwitterより



TOHOKU university LIBRARY since 1911.

11

被害状況

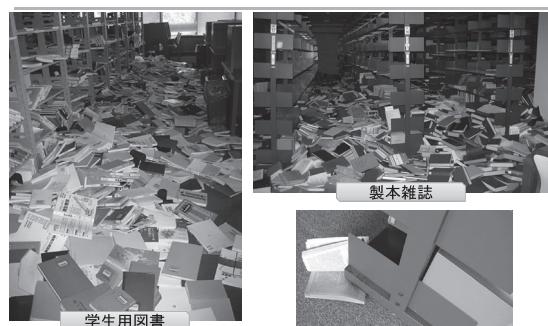


- **人的被害:** なし
- **建物:** 壁・天井の破損・落下多数、
窓枠ゆがみ(閉鎖不能、隙間が空き外気流入)
空調機パイプ破損・水漏れ(使用不能)
- **書架:** 一部ゆがみ等の破損(要補修)
- **蔵書:** 数十万冊落下、一部破損(含・貴重図書)
地上1~4階:8~9割落下 / 地下1~2階:4~5割落下
- **PC等:** 利用者用・業務用PC、サーバ破損なし
共有ファイルサーバのディスク故障

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

12

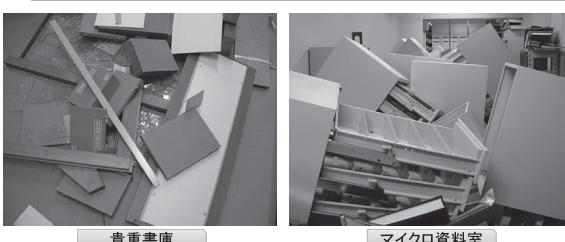
館内の被害状況(写真1)



TOHOKU university LIBRARY since 1911.

13

館内の被害状況(写真2)



TOHOKU university LIBRARY since 1911.

14

復旧作業・サービス再開の経過(1)



	復旧作業	サービス	周辺状況
3/11(金)		・3/14(月)まで臨時休館とする	・電気・水・ガス全て停止 ・携帯電話ほぼ不通 ・大学メールサーバ停止 ・イーモバイル通信でプライベートメール送受信可能(出張中の事務部長との唯一の連絡手段)
3/14(月)	(出勤9:00-11:00) ・館内各エリアの被害状況調査・写真撮影 ・事務室内の片付け	・当分の間臨時休館とする	・午後: 大学メールサーバ復旧 ・空調設備損壊のため、暖房運転不能 ・図書館災害対策本部を設置
3/15(火)	(出勤9:00-11:00) ・照明不要な範囲内での落下資料片付け		・午後: 施設部による建築物の応急危険度判定「建物使用可能」 ・午後: 電気復旧
3/16(水)	(出勤9:00-15:15) ・学生閲覧室の図書(13万冊落下)整理開始	・4月上旬以降、利用可能なエリアからの順次開館を目指す	・午後: 水道復旧

15

復旧作業・サービス再開の経過(2)



	復旧作業	サービス	周辺状況
3/22(火)		・通用口で資料返却の受付開始	
3/25(金)			・大学の年間授業スケジュールが決定
3/29(火)	(出勤8:30-17:15) ・学生閲覧室・研究閲覧室の配架終了 ・電動集密書架の動作確認・整理開始	・段階的サービス開始スケジュールを検討	
3/30(水)	・地下書庫固定書架の図書(20万冊落下)整理開始 ・2号館の製本雑誌(35万冊落下)整理開始		
3/31(木)	・学生ボランティアが作業開始		
4/ 7(木)			・23:32 地震度6弱の地震

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

16

復旧作業・サービス再開の経過(3)



	復旧作業	サービス	周辺状況
4/ 8(金)	・学生閲覧室の再落下図書(5万冊)整理・配架終了		
4/11(月)	・書架への紐張り作業開始	(平日9:00-17:00) ・エントランスホールのみ閉室	
4/13(水)			・仙台空港暫定再開
4/14(木)			・午後: ガス復旧
4/25(月)	・地下書庫配架終了	(平日9:00-17:00) ・1号館(除・地下書庫)閉館	
4/29(金)			・東北新幹線全線再開
5/ 2(月)	・2号館製本雑誌の暫定配架終了		
5/ 6(金)			・学部毎の入学式

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

17

復旧作業・サービス再開の経過(4)



	復旧作業	サービス	周辺状況
5/ 9(月)		(平日8:00-20:00 / 休日10:00-20:00) ・時間外閉館(短縮)開始	・授業開始 ・研究棟損壊の教員が図書館内の個室を研究室として使用
5/16(月)		・1号館(含・地下書庫)及び2号館開館	
5/30(月)	・地下書庫に雨漏り発生(地震による建物損傷の影響) →資料の移動		・大雨 JR在来線運休
6/ 1(水)		(平日8:00-22:00 / 休日10:00-22:00) ・通常時間での開館(一部立入禁止エリアあり)	
6/ 2(木)	・専門家ボランティアによるマイクロ資料調査・整理		
6/ 3(金)			

★現在も、通常サービスの傍らで復旧作業続行中

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

18

主な復旧作業の様子(写真1)



学生閲覧室(16万冊配架)



余震による落下防止のため、上から4段目まで紐張りを実施

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

19

主な復旧作業の様子(写真2)



製本雑誌書架(40万冊配架)



学内ボランティア組織「東北大学生地域復興プロジェクト“HARU”」による作業
3/31(木)以降、延べ1,000名の学生が図書館復旧作業に参加

HARU: 東北大学生有志が設立したボランティア組織(約1,000名登録)。
図書館だけでなく、被災地・避難所支援等、種々の活動を実施。

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

20

図書館としての取り組み



被災・復旧状況の情報発信

- Webサイト、Twitter等で発信
(Twitterは震災を機に公式アカウント運用開始)

「避難所に本を」プロジェクト [現在休止]

- 館内職員等から不用書籍の寄付を募り、3,000冊収集
- ボランティア組織との連携により、県内学校等へ配付

震災記録の収集・保存・公開 [今後の計画]

- 関連資料の収集、デジタルアーカイブの公開
- 学内組織・研究者、他機関・図書館との連携

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

21

もしも…



- ・平日、常勤職員の勤務時間内だった
→もしも、夜間／休日開館中だったら…

- ・昼間で、外も明るかった
→もしも、日没後で帰宅困難者続出だったら…

- ・休業期で、在館者は通常期の6割程度だった
→もしも、試験期間中に出口に殺到していたら…

- ・火災等が発生せず、避難経路が確保できた
→もしも、通常の避難経路が塞がれていたら…

TOHOKU university LIBRARY since 1911.

22

防災に対する備えと心構え



- ・避難経路・非常口の整備・周知
- ・人的被害を出さない環境・什器の整備
→ 安全な書架とは？検証・研究が必要
- ・防災訓練の実施、防災マニュアルの整備
- ・スタッフ一人一人がシミュレーションを繰り返す
 - ◆災害の種類毎に：地震、火災、台風…
 - ◆場面毎に：日中、夜間・休日開館時、休館時…
 - ◆自分の居場所毎に：閲覧室、書架、事務室…

まだまだ整備の途中

おわりに



ご支援いただいた全国の皆様に
厚くお礼申し上げます。

- ・被災大学構成員の他大学図書館利用
 - 東北大学の学生421名・教職員36名が全国の国立大学図書館にお世話になりました。(4月13日時点調査)
- ・多数の支援物資・お見舞
 - 全国の大学図書館・関連組織、職員の皆様から、多数の支援物資をお送りいただき、また、お見舞・励ましの言葉を頂戴しました。

(2) 岩手大学情報メディアセンター図書館長 西崎 滋

1

国立大学法人岩手大学における東日本大震災の状況について

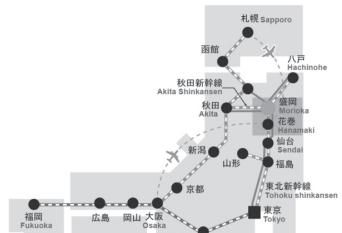
岩手大学情報メディアセンター図書館長
西崎 滋

2

国立大学法人岩手大学情報メディアセンター図書館の概要

・所在地: 岩手県盛岡市上田

※ 東日本大震災による津波の被害が大きかった宮古市(三陸海岸)との距離は約100km



3

- ・職員数: 常勤職員14名、非常勤職員10名(ミュージアム担当、夜間・土日担当を含む。)、派遣職員4名、学生アルバイト6名 計34名
- ・開館時間: 平日 9時~21時
土・日 10時~18時
- ・蔵書数: 約86万冊(和書66万冊、洋書20万冊)
- ・座席数: 634席
- ・建物: 総延床積 9,089m²
 - 1階: 玄関ホール、飲食コーナー、ギャラリー、貴重書庫、横層書庫、電動書庫、会議室、事務室(1階カウンター)
 - 2階: サービスカウンター、閲覧室、ルチメディア情報閲覧室、生涯学習・多目的学習室、横層書庫、開架書架(洋図書、参考図書ほか)
 - 3階: 閲覧室、横層書庫、開架書架(学生用図書ほか)
 - 4階: グループ演習室、グループ閲覧室ほか
 - 5階: 資料室(古文書、漢籍、地図類)ほか
- ・その他: 放送大学岩手学習センターと合築(平成12年)

4



5

地震発生時(平成23年3月11日(金)14時46分)の状況

- ・盛岡市の震度 5強
- ・まもなく、停電、ガス停止、断水状態となる。
※ ガス復旧………3月11日(金)17:04
電気・断水復旧…3月12日(土)14:20
- ・当日の図書館利用者 224名(うち100名程度は地震発生時に在館)
利用者の館外への避難誘導 → 口頭によるアナウンス
- ・図書館長及び情報メディア課長は、国立大学図書館協会臨時理事会(於: 東京大学)に出席のため出張中。
→ 交通機関の運休等により足止め、3月17日(木)午後に帰学。(新潟・秋田経由の高速バス及び公用車の乗り継ぎ)
- ・情報の収集(携帯、自動車のTV等による収集)、携帯等による連絡が困難。

6

被害状況

- ・人的被害なし。
- ・1階 資料受入室及び製本準備室の資料落下、電動書庫の図書落下(2割程度)及び壁面に亀裂、積層書庫の図書落下(2割程度)及び壁面に亀裂。
- ・2階 開架書架からの図書落下(6割程度)、旧館と増築部分(南側)接合部分一部破損、積層書庫の図書落下(6割程度)及び壁面に亀裂。
- ・3階 開架書架からの図書落下(7~8割程度)、旧館と増築部分(東側、南側)接合部分破損、天井パネル一部落下、閲覧室(西側)の壁面に亀裂、積層書庫の図書落下(7~8割程度)及び壁面に亀裂。
- ・4階 トイレ(男・女)壁面タイル一部落下、サポートーズルーム(南側)壁面に亀裂。
- ・5階 トイレ(男・女)壁面タイル一部落下、資料室(古文書・掛け軸)のキャビネット転倒ほか、資料室(漢籍)書架の転倒。
- ・破損本 約1,000冊

7

被災写真(1階電動書庫)



8

被災写真(2階開架書架)



9

被災写真(3階閲覧室)



10

被災写真(4階トイレ)



11

被災写真(5階資料室(掛け図・絵図))



12

被災写真(5階資料室(漢籍))



13

被災写真(積層書庫)



14

地震発生後における図書館の対応

- ・平成23年3月11日(金)14:46 東北地方太平洋沖地震発生～
・全面休館
- ・平成23年3月24日(木)～
・部分開館開始
【利用制限】
開館時間：平日9:00～17:00のみ
利用者：教職員、学生(他大学を含む。)
利用範囲：図書館1階及び2階
教職員の研究、学生の学習スペースとしてのみの利用(図書の貸出等不可)
- ・平成23年3月24日(木)～31日(木)
・落下図書等の復旧作業(図書館職員、学生アルバイト)
・施設管理課による被害確認
- ・平成23年4月1日(金)
・利用者の拡大:新入生の利用可(入学式の中止、入学行事を5月9日に実施のため)
- ・平成23年4月7日(木)23:32 東北地方太平洋沖地震の余震発生(盛岡震度5強)

15

- ・平成23年4月8日(金)～10日(日)
・全面休館(落下図書等の復旧作業(図書館職員))
- ・平成23年4月11日(月)10:00～
・4月7日の余震発生前の状態にて開館
- ・平成23年4月18日(月)
・教職員及び学生に対する図書の貸出を開始
- ・平成23年5月9日(月)新入生入学行事、学生授業開始
【制限の一部解除】
開館時間 夜間開館(～21:00)及び土日(10:00～18:00)開館
利用者 教職員、学生(他大学を含む。)。一般的の利用については、引き続き制限。
利用範囲 図書館1階及び2階。3階～5階については19時までの利用。
積層書庫及び電動書庫については、図書館職員による対応。
- ・平成23年6月1日(水)
【制限の一部解除】
利用者 教職員、学生(他大学を含む。)及び一般
利用範囲 図書館1階及び2階。3階～5階については19時までの利用。
積層書庫及び電動書庫については図書館職員による対応。(継続)
現在に至る。

16

今後の課題

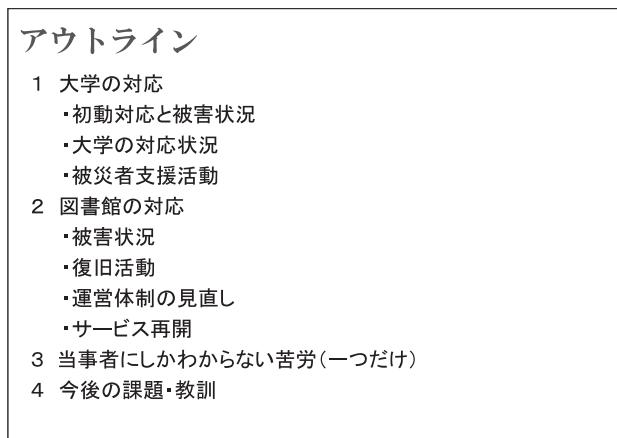
- ・夜間、土日(運営体制が手薄な時間帯)に災害が発生した場合の図書館職員が取るべき避難行動の確認、徹底。
・大規模災害時の対応マニュアル
- ・被災時のあらゆる状況(夜間、冬期間、停電、交通機関の遮断など)を想定した防災用品の備蓄
→ 支援要請を要した主なもの、補充を必要とするもの。
・ガソリン、灯油
・トイレットペーパー
・電池
・石油ストーブ
・自家発電機
・非常時照明(手回し充電機能付きランタンなど)
- ・情報が遮断された場合の、必要とする情報の取得方法の確認及びその共有

(3) 福島大学学術情報課長 高橋 喜一

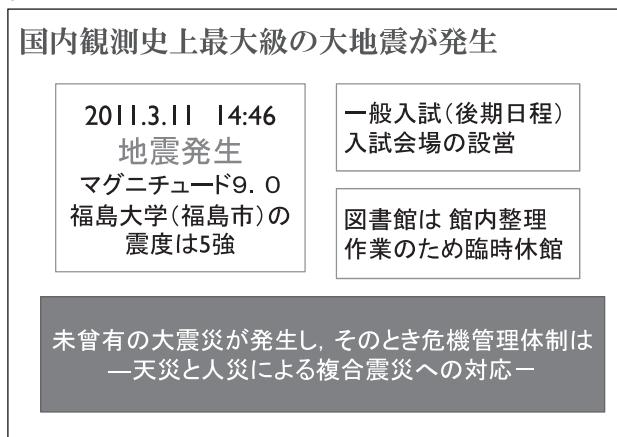
1



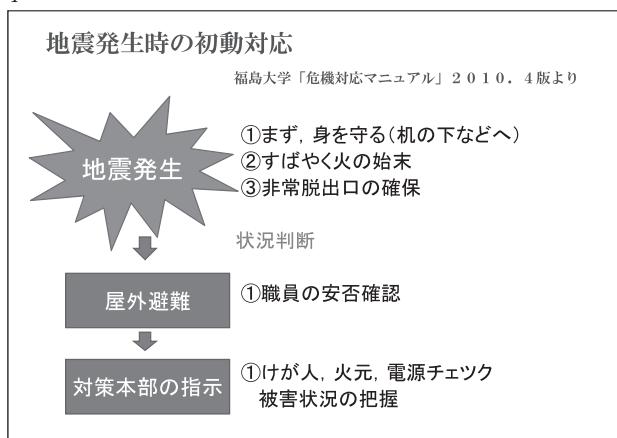
2



3

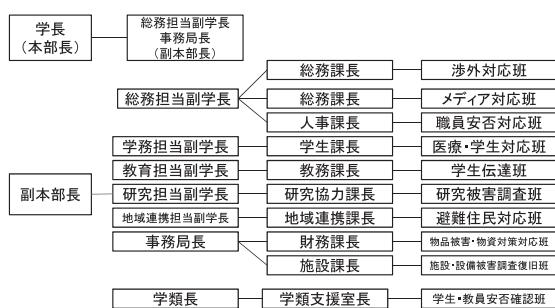


4



5

地震発生時の初動対応 危機対策本部設置 (2011.3.11)



6

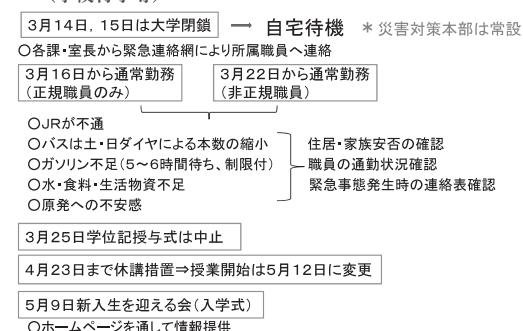
被害の状況 (概況)

- 1 学生の被災状況
 - ・学類・学部学生4287名、大学院生334名、研究生21名
3月23日に全学生合計4642名の無事を確認
(学生数は2011.3.1現在)
 - 2 教職員の被災状況
 - ・人的被害なし
 - ・家屋損傷等7名 うち4名は大学宿舎に入居
 - 3 ライフラインの復旧状況
 - ・電気・ガスは3月11日(金)の震災時から使用可
 - ・上水道4月5日(火)から全て復旧
 - ・中水は4月22日(金)から全て復旧
 - ・JR東北本線の復旧は4月5日より暫定ダイヤで運転
- 今も続く、原発事故による放射能汚染への不安感と対応

7

大学の対応状況

(学校行事等)



8

大学の対応状況

(教職員へ)

- 東北地方太平洋沖地震の被災者に対する支援の協力について(依頼)(H23.3.18:文部科学省非常災害対策本部)
- 業務遂行のお願いと「屋内退避」発令時の対応について(H23.3.18:学長)
- 「屋内退避」発令時の対応について(H23.3.18:危機対策本部)
- 「屋内退避」指示に備え学内に居る者の把握について
〈確認手順〉 ⇒ 定時報告を実施(H23.3.21:総務課)
- 学長メッセージ「福島大学事務職員に向けて」(H23.3.22:学長)
- 勤務時間の弾力的な措置について(通知):(H23.3.22:学長)
- 通常利用の交通手段が通勤困難となった場合の取扱いについて(通知)(H23.3.24:総務担当副学長)
- 心療等の専門医の診察に係る取扱いについて(通知):(H23.3.28:学長)
- 講演会(H23.4.28)
 - ・「放射線被ばくの健康・影響について」(福島県放射線リスク管理アドバイザー、国立大学法人 広島大学原爆放射線医学研究所長:神谷研二氏)
 - ・「大震災と大学、学生」(兵庫県震災復興研究センター代表理事、国立大学法人 神戸大学大学院工学研究科教授:塙崎賢明氏)

大学の対応状況

(学生・保護者等へHPによる情報発信)

- 平成23年度一般入試(後期日程)についてお知らせ(3.12:学長)
- 平成22年度学位授与:学長送別のことば(3.25:学長)
- 学長メッセージ(新入生・在学生への呼びかけ)(3.31:学長)
- 東北大太平洋地震により被災した学生の採用及び就職活動への配慮に関する要請について(3.24:学長)
- 福島大学キャンパス内及び附属学校園の放射線データの公開(4.5)
- 東日本大震災により被災した学生への就職支援について(依頼):(4.6:学長)
- 今後の福島大学の取り組み(4.13:第13回定例記者会見)
 - ・うつくしまふくしま未来研究センター構想
 - ・福島大学東日本大震災総合支援プロジェクト
- 放射線計測プロジェクトについて定例記者会見で発表、計測チームのHPを公表(4.13:第13回定例記者会見)

大学の対応状況

(学生・保護者等へHPによる情報発信)

- 福島大学プロジェクト研究所「災害復興研究所」設置について(4.13:第13回定例記者会見)
- 文部科学省原子力災害対策支援本部、(独)日本原子力研究機構による環境放射線モニタリングを実施
- ラジオゾンデによる大気の放射線観測を開始(4.15)
- 学長メッセージ(新入生・在学生・保護者の皆さまへ)(4.21:学長)
- 附属特別支援学校、附属幼稚園で保護者向け説明会を実施(4.26)
- 放射線対応マニュアル(学生版)、地震発生時の初動マニュアル(学生版)(4.28:危機対策本部)
- ラジオゾンデによる大気の放射線測定結果を定例記者会見で公表(5.11:第14回定例記者会見)
- 緊急企画 学習会:「福島における放射能除染のあり方について」(6.3:福島大学災害復興研究所・行政政策学類主催) 等

被災者支援活動

福島市の緊急避難所に指定

- 3月16日:避難所設営開始
- 3月18日:受入開始

受入施設	受入数	期間
大学(金谷川地区)	126名	4月30日まで
附属中学校(福島市内)	62名	3月25日まで
附属小学校(福島市内)	3名	3月25日まで

○業務内容

- ・受住民の窓口対応
 - ・県対策本部との連絡調整
 - ・支援物資の搬入作業
 - ・夜間(宿直)、土日(日直)
- ボランティア学生の支援が大きな推進力となる

被災者支援活動 (避難住民の受入)



被害状況

(附属図書館)

- 福島市で「震度5強」
- 館内整理で休館中のため人的被害はなし
- 施設の被害状況
 - ・天井・壁のひび、タイルの落下、点検口の落下、電動書庫の不具合等
 - 館内資料の落下(館内資料全体の約23%)
 - ・図書館所蔵:806,000冊の内約20万冊落下(研究室備え付けを除く)
 - (図書14万冊、その他雑誌、新聞等)
 - ・貴重資料:西洋社会科学古典資料500点1200冊の内62冊破損(修理経費:約320万円)

↓

図書館サービス停止 → HPからの情報発信

- 会員館による「被災大学の図書館利用サービス提供」による支援…(強み)
- 岩手大学、東京大学、信州大学、新潟大学、三重大学、山口大学で学生6名
- 教職員2名が利用(4月13日時点での東北大学附属図書館による調査結果)
- Twitterによる学生の(声)の把握

被害状況

(附属図書館)



被害状況

(図書館)



被害状況

(図書館)



被害状況 (図書館)



大塚久雄文庫

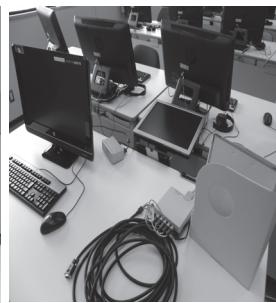


研究用雑誌室

被害状況 (図書館)

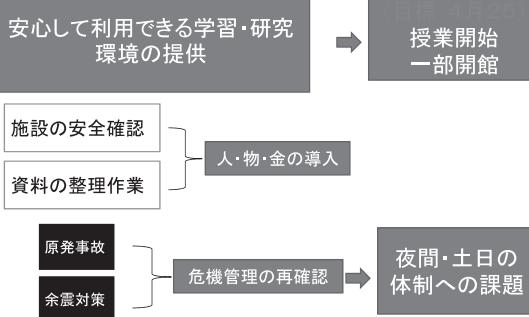


共同学習室



マルチメディア演習室

復旧活動



復旧活動

施設の安全確認

○施設課による安全確認を実施

資料の整理作業

○図書館復旧支援ボランティア

○3月25日～4月15日の間、延べ281人

(土曜・日曜を除く16日間)

教員・生協	避難住民	学生・院生	合計
231名	48名	2名	281名

復旧活動

(図書館復旧支援ボランティア)

受付場所
記入しておきたい方へ

復旧活動

(図書館復旧支援ボランティア)



運営体制の見直し

○夜間・土日・祝日の運営体制 (安全を第一に!)

区分	震災前	震災後
夜間	学生2名 17:15～ 21:45	学生2名 職員1名 17:15～ 20:00
土曜	学生2名 10:00～ 21:00	学生2名 職員1名 12:30～ 17:00
日曜・祝日	学生2名 10:00～ 17:00	学生2名 職員1名 閉館

○開館時間の短縮

○緊急時対応のため正規職員を配置

○災害発生時のマニュアルの確認と周知(既存のマニュアルの適正について検証することはできなかったが、マニュアルの再確認を行うことができた。)

○入庫の際の、緊急時対策グッズ(小型ライト・緊急時の連絡先等を記載したネームホルダー・笛・ヘルメット)を携帯

○書架の落下防止対策

運営体制の見直し

(緊急時対策グッズ)



運営体制の見直し (図書の落下防止対策)



自動図書落下防止装置

図書落下防止シート

紐による落下防止措置

今後の課題・教訓

原発立地の大学(教育・研究機関)としての使命が大学には存在し、それを果たすためには教員・職員の連携協力が不可欠であると感じます。お互いに信頼関係を構築し、原発関連のとりわけ放射能の人体影響の基礎知識や、有事の時の大学における対応を、また、小さな子供がいる場合は、家庭での対応も含めて必要な情報を共有する必要があるのではないかと感じます。

サービス再開 (段階的再開)

ステップ	状況	開館時間
4月25日～5月 6日	閲覧業務を開始	平日 13:00～16:00
5月 9日～5月11日	入学式	平日 9:00～17:00
5月12日～5月31日	授業開始 夜間、土曜開館を開始	平日 9:00～20:00 土曜 12:30～17:00
6月1日～	土曜開館時間を拡大	平日 9:00～20:00 土曜 10:00～17:00

終わりに

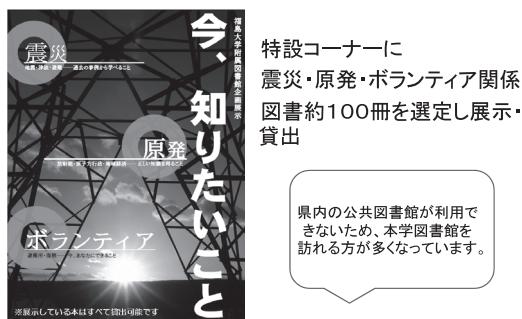
震災直後から、来館利用への便宜を図っていたり、ILLその他の業務を通して、たくさんの方々からいただいた激励の言葉が、職員一人一人の励みとなつたことをご報告させていただき、メンバーを代表し御礼申し上げます。

そして、一日も早い、震災復興と原発事故の収束を願い、報告を終わりにいたします。

ご清聴ありがとうございました。

サービス再開

企画展示（震災・原発・ボランティア関連図書コーナー）



当事者にしかわからない苦労（一つだけ）

○体調管理の重要性について

- ・ライフライン・物流が復旧しない状態での生活面 ストレス
- ・余震による地震酔いの症状や睡眠不足による ストレス
- ・原発事故への不安による ストレス

○不安の感じ・状況は人それぞれ違います。自分の考えを一方的に押し付けず、理解することが大切だと思います。
○職員の心身の健康維持が最も大切だと感じます。しかし、健康を維持するためには一時的に職場環境を変えることが必要なケースも出てくるのではと、懸念しています。
○個々の問題を解決することが、職場の組織力強化につながると思います。

3. 今後の活動

震災記録アーカイブの実現に向けた取り組み

東北大学附属図書館総務課長 米澤 誠

震災時および震災後の東北大学附属図書館の活動については、すでにいくつかの文献に発表している。また、震災後の図書館の復旧状況については、いまだ工事等が完了していないことから、後日取りまとめるとしてし、本稿では着手し始めた震災記録アーカイブに関する取り組みについて報告する。

1. 図書館単独での資料収集

(1) 出版物の収集開始

東北大学附属図書館が東日本大震災関連の出版物の収集を開始したのは、平成 23 年 5 月中旬であった。震災に関する、さまざまな記録を集めることの必要性を知りつつ、関係資料の収集になかなか着手できない状況の中で、まず出版物の購入に取りかかったのである。

この時決定したのは、①刊行された震災・原発事故関連の図書・雑誌を購入すること、②将来的に専用コーナーを設置すること、③選書は情報管理課専門員が行うことなどで、具体的な整理方法や提供方法については未決定であった。

この出版物の収集は、震災からの復旧作業や通常の資料整理業務が始まる中、選書担当と受入担当によって着々と進められた。当初の見込みでは 100 冊程度かと想定していたが、平成 23 年度末には約 1,200 点もの資料を購入することとなった。

(2) 各種記録の収集の困難さ

一方、市販された出版物以外の各種記録について、図書館としての収集方針や整理方法がなかなか決まらず、そのために震災関連資料全体として整理作業が進められないという事態に陥った。今回の東日本大震災では、収集すべき資料の地理的範囲が広大で、とても東北大学附属図書館単独では収集計画を立てられなかったのである。通常業務に加えて、図書館復旧に関する業務をこなさなければならない状況で、東北各地に出向いての資料収集など考えられなかつたのが現実であった。

ようやく、東北大学附属図書館としてのアーカイブ方針が決まったのは、平成 23 年 12 月であった。これは、後に述べるように、東北大学の他部署や他の図書館との連携・共同の方向性が見えてきたことで決定することができたのである。

さらに、出版物とその他の記録資料の整理は切り分けて考え、出版物の整理業務は通常の資料と同様、NII の目録システム (NACSIS-CAT) を使用することとした。分類についても、神戸大学の震災資料のような独自分類は使用せず、通常の資料と同様に NDLC (国立国会図書館) 分類を使用している。こうして目録を作成し始めたのは、ようやく平成 24 年 2 月中旬のことであった。

(3) 震災ライブラリーの設置

東日本大震災発生の 1 年後、平成 24 年の 3 月 12 日に、附属図書館本館 1 階メインホールに「震災ライブラリー」を開設した。極めて短期間ながら約 600 冊の目録データを作成し、装備を施して配架することができた。これらの作業に携わった職員の方々には、感謝申し上げたい。

現在のところ震災ライブラリーに配架しているのは出版物だけであるが、今後は各種記録の整理・提供方法、そして電子化について検討して、順次利用に供したいと考えている。



(図1：東北大学附属図書館の震災ライブラリー)

2. 東北大学の他部署と連携した資料収集

(1) 防災科学研究拠点との接触

東北大学の防災科学研究拠点は、学内の複数部局のメンバーで構成された文理融合のプロジェクト型組織である。この拠点では、平成23年4月に「東北大学による東日本大震災アーカイブプロジェクト」を発足させ、日本IBMや科学技術振興機構（JST）との連携を進めていた。

附属図書館は平成23年8月に、この拠点のメンバーとはじめて打合せを行い、図書館は紙媒体の資料の収集（アーカイブ）、防災科学研究拠点はデジタル中心のアーカイブを行うことを確認し、今後連携して活動することとした。

(2) 「みちのく震録伝」の発足と連携

防災科学研究拠点のアーカイブプロジェクトには、「みちのく震録伝」という正式名称が与えられ、平成23年9月12日にプレスリリースが行われた。附属図書館もこのプロジェクトに正式参画しており、現在プロジェクトメンバーとして活動している。

ちなみに、「みちのく」とは岩手県・宮城県・福島県を中心とした東北地方全域を意味している。そして、「震」とは東日本大震災を、「録」とは災害の記憶・記録・事例・知見を記録するという意味を、「伝」は災害の伝承、国内外へ伝達するという意味を持っている。

平成23年10月には、同じく東日本大震災のアーカイブ活動を行っていたハーバード大学ライシャワー日本研究所のゴードン所長が来学し、防災科学研究拠点メンバーと附属図書館メンバーとでミーティングを行った。

この時は、互いのアーカイブ活動に関して意見交換を行うとともに、今後連携して活動することについて同意した。また、国際シンポジウムを開催することについても合意している。

(3) 国際合同シンポジウムの開催

平成24年1月11日、仙台国際センターにて東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウムを開催した。主催したのは、ハーバード大学、東北大学防災科学研究拠点、東北大学附属図書館、そして総務省であった。このシンポジウムは、被災地内外・国内外・官学民で行っている震災を記録するアーカイブの中から、主要なアーカイブプロジェクトの取り組みを紹介するとともに、今後の方向性について議論する内容であった。

特別講演では、神戸大学附属図書館の震災文庫の取り組み状況が発表された。また、国立国会図書館やsaveMLAK、東北大学、ハーバード大学などの取り組みとともに、被災地からはせんせいメディアテーク、宮城県図書館、岩手県立図書館、東北大学附属図書館の取り組みの発表があった。この時、東北大学附属図書館としては、岩手・宮城・福島3県合同によるキャンペーンを提案している。

なおこの国際合同シンポジウムは、継続して開催する予定となっている。また、防災科学研究拠点は、平成24年4月に設置された災害科学国際研究所に発展的解消をしている。



(図2：国際合同シンポジウムのパネルディスカッション)

3. 他の図書館と共同した資料収集

(1) 他の図書館の動向

最も早く震災関係資料の提供を始めたのは仙台市民図書館で、平成23年5月からとなっている。次いで、岩手大学情報メディアセンター図書館、福島大学附属図書館、岩手県立図書館、福島県立図書館、宮城県図書館がそれぞれ震災関係のコレクションを公開している。

各図書館とも、市販出版物の収集と公開については問題なく進捗していたが、自治体やボランティアの活動

記録や避難所だよりなどの、市販出版物以外の震災記録の収集には苦慮していた。仙台市民図書館の場合は、比較的収集範囲を限定できたために、収集はし易かったとの印象であった。一方、県規模での震災記録の収集に関しては、どの県立図書館でも実施がなかなか困難であったようである。

(2) 他の図書館との連携

各図書館のアーカイブ活動の状況報告と意見交換を行うため、国際合同シンポジウム翌日の1月12日に、国際ワークショップ（図書館連携）を開催した。東北大学附属図書館が呼びかけ、岩手大学・福島大学の図書館のほか、岩手・宮城・福島の各県立図書館、仙台市民図書館、国立国会図書館など、15機関・団体から約30名が参加した。各機関のアーカイブ活動については、事前に同一フォーマットでの報告を提出してもらい、全体を取りまとめた活動報告書で情報を共有することができた。

また、各図書館で記録の収集に苦慮している状況に対して、東北大学附属図書館から3県合同のキャンペーン「震災記録を図書館に」の実施を提案した。具体的には、「震災記録を図書館に集める」趣旨のポスターを作成し、関係各機関・団体に配布するというものである。各図書館が震災記録の収集活動を実施していることを、キャンペーンによるPR活動で各自治体や地域住民に周知徹底しようと考えたのである。

この企画を提案したところ、ワークショップ出席者の中から「被害は3県以外にもあり、震災に関する記録は全国的に収集する必要がある」、「これを機会に、記録保存機関としての図書館の重要性をアピールしよう」という意見があった。そこで、このキャンペーンは全国規模で展開することとし、ポスターの配布先も全国を対象とするよう軌道修正を行った。

(3) 図書館共同キャンペーン「震災記録を図書館に」

平成24年3月11日より前の配布を目指して、急遽ポスターの作成に取りかかった。デザインに関しては大ざっぱなコンセプトだけ伝えて、saveMLAKの活動に関わっていた横浜の会社に制作を依頼した。そのデザイン経費はsaveMLAKに拠出していただいた。また、ポスターの印刷経費は、日本古書籍商協会から東北大学にお送りいただいた寄付金による。そしてポスター中央の写真は、岩手県立図書館からの提供によるものである。

こうして関係各位の尽力により、平成24年2月下旬にポスターが完成した。送付先は、東北地区大学図書館協議会の加盟館、全国の公共図書館、全国の自治体とし、約6千枚配布した。そして、日本図書館協会のご厚意により、『図書館雑誌』の3月号にポスターを掲載していただいた。また、情報科学技術協会(INFOSTA)の『情報の科学と技術』4月号にも掲載していただいている。

以上、震災後から図書館共同キャンペーンに至るまでの経緯を簡潔に取りまとめた。今後、各図書館で収集した資料全体を一覧するポータル機能をどう実現するか、それぞれの資料の電子化をどう行うか、そしてこれらの資料を活用するためにどのような仕掛けを作るかなど、まだまだ数多くの課題が残っている。

しかし、この時代に図書館員として生きている私たちには、何ができるべきなのか考え続け、そしてそれを実現していく責任があると思っている。できるだけ多くの図書館員が、この震災記録アーカイブの実現に向けて、何がしか役割を果たせる環境を作るのが、私たちのこれからのかただと考えている。

震災記録を 図書館に

図書館は震災記録を収集しています。

図書館は震災記録を永久に保存します。

図書館は震災記録を公開し後世に伝えます。

皆さまがお持ちの震災記録を、
ぜひ図書館にお届けください。



岩手県立図書館、宮城県図書館、福島県立図書館、
仙台市民図書館、岩手大学情報メディアセンター図書館、
東北大学附属図書館、福島大学附属図書館、神戸大学附属図書館
みちのく震録伝、saveMLAK、国立国会図書館、図書館振興財團、
日本図書館協会、日本古書籍商議会、図書館総合展運営委員会



震災記録とは
次のような
ものです。

- ・調査報告書、復旧・復興計画書など
- ・フリーペーパー、ミニコミ誌、チラシなど
- ・イベント・セミナー・相談会等のチラシや資料など
- ・本場活動記録(ボランティア記録、避難所だよりなど)
- ・学校だより、会報、広報誌など
- ・個人・団体が作成した文集・体験記・手記など

デザイン制作：フルファーデザイン（分野担当者・佐藤聰） TEL:03-6211-0012 営業部中田担当 3-541 営業ビル2階 さくらWORLD内 電話番号：E-mail：info@fullface.jp 実施機関：岩手県立図書館

詳しくは「震災記録を図書館に」ウェブサイト <http://www.library.tohoku.ac.jp/shinsaiinkou/> [問合せ先] 東北大学附属図書館 TEL:022-795-5925 E-mail:kikaku@library.tohoku.ac.jp

4. 寄稿

(1) 3.11 大震災から図書館の復旧と被災地図書館の使命

石巻専修大学図書館館長 羽田紘一

1. 被災地大学の使命

3.11 大震災で市街地中心部が津波で流入した海水で埋まった石巻市、その北部郊外に位置する石巻専修大学キャンパスでは幸いなことに人的被害・建造物被害共に難を免れ、近隣に位置する石巻日赤病院とともに、震災からの地域の復旧の中核拠点として9月末までの約6か月間あまりその役割を果たしてきた。

避難場所として最大時には1200名を受入れ、災害ボランティアセンターとして物資の保管や宿营地・駐車場の提供、救援自衛隊への宿营地提供、ヘリポートや救護所また通信施設所や臨時開設の移動郵便局提供、赤十字看護専門学校への教室提供、市の中心部にあった諸官公庁機関への事務室提供等で、大学の広いキャンパスは十二分に活用され、震災からの復旧には大学人一同少なからぬ寄与ができたとの思いでいる。本学図書館としては、大学キャンパスに出入りする斯様な方々にも、図書館を開放し利用いただくことで、一般市民の文教面的要請にこたえることを図った。

2. 被災時の本学図書館の状況

大学本館の一角を占める本学図書館は、3階建ての構造、約16万冊の蔵書数、床面積約3500m²、入館者数一日平均300名余の規模の大学図書館である。

今回の被災の中でも幸いしたことは、地震発生時の2日前(3/9)から震災当日(3/11)までを全館休館として、春期休暇を利用しての年度末の蔵書点検作業中であったため、館内には学生や一般利用者が居なく人的被害が生じなかったことである。

3日間の蔵書点検作業は、1階書架から2階書架へと順調に進み、最終日の3月11日は図書館員6名が朝から3階の洋書の点検作業の実施中であり、あと100冊ほどを残し完了という最終の段階に入ろうとしていた。14:46の地震発生にともない、図書館員は3階から1階・屋外へと無事避難した。

震災翌日(3/12)の状況検分で判明した図書館の被害状況は以下の通りであることが確認された。書架から書籍の落下は1階(辞典、百科事典、年鑑等の参考図書および大型の地図、美術全集等の大型図書)が約3割、2階(和図書、文庫・新書)が9割、3階(洋図書、学術雑誌)が8割さらに3階の書庫1(製本和洋学術雑誌)が9割、書庫2、3(保管図書類)が2割の落下の状況を確認。書架の倒壊では3階で1台、1階の図書館事務室作業場で3台あることが確認された。図書館の建物の被害はほぼ皆無であった。その後の書籍の整理の過程で修復を要する破損図書56冊あることも確認された。

3. 復旧から図書館の再開に至るまでの経緯

震災後の約10日間は主に職員各自の身辺の状況確認及び関係者の安否確認、自宅の復旧作業、物資の調達や生活の確保に向けられ、可能な者から大学業務に復帰の体制をとり、本格的な図書館の復帰作業に取りかかったのは3月22日からであった。

まずは落下図書を書架に戻す作業からスタートした。ひざの高さまで本が積み重なり、本を踏みつけ踏み越えての作業であった。単に戻すという作業ではなく、各書籍に貼付されているラベル順に配架するという作業で、学生アルバイトの補助を得て人海戦術で、2階(和書)の整理に2週間(4/4まで)、ついで3階(洋書)の整理に2週間(4/22まで)、また製本和洋学術雑誌が配架されている中二階構造の書庫1の復旧には、さらに2週間(5/11)を要して図書整理がほぼ完了した。作業が軌道に乗った矢先の4月7日深夜には震度6弱の大きな余震が起き、整理し終えた2階和書の3割が、再び落下するということも起こり、早急の落下防止の対

策の必要性を痛感した。破損図書56冊は修理依頼を行い、6/17に修復が完了した。

作業のめどがついた5月16日、開館時間を短縮（当初は10:00～15:00、5/20以降は9:00～17:30）しながら図書館の再開にこぎつけた。6月1日からは震災前と同じ19:30まで開館の態勢に復帰した。

一方、図書・学術雑誌の受け入れ業務は、震災直後から交通アクセスが寸断されたため（震災から1年を経過した現在も、仙台一石巻を結ぶJR仙石線の全通はおろか、三陸自動車道の慢性的な交通渋滞は続く）中断を余儀なくされ、震災から約1か月後の4月中旬からそれまでの学術雑誌の滞り分の納入が一括してスタートした。図書の受け入れが再開したのは6月1日であった。

また大学図書館相互利用(ILL)による文献複写及び貸借関連業務は、本学からの他大学への依頼再開が4月7日、他大学から本学への受付の再開は5月13日であった。

4. 図書館職員の想いと今後の課題

今回の大きな震災で、失ったものは計り知れないものがあるのは紛れもない事実である。物質的なもの、精神的なもの、そしてもっと核心的な人の命、生かされたもの、召されたものへの意味論、皆しづかに語りかけてくる自然との対話・天からの啓示で学び悟っていく事が求められている。

こころの痛手を負い打ちひしがれる人々、復興に向けた手がかりを得たいと焦る人々、明日への希望をつかもうとする人々、癒し・安らぎの時間と場を求めようとしている人々、そのような人々のために、被災地の大学図書館がその一翼を担えないかとの思いで様々な模索を続けている。その一環として、本学図書館は市街地域で大きな痛手を受けた文教関連施設を補完しかつ地域図書館の拠点的な役割を担うとの認識に立って、当初は年度初めより予定していた学外利用者の受け入れ枠（高校生以上）を6/1からは中学生以上に拡大、さらに大学近郊の仮設住宅地域市民にも配慮して9/1からは小学生まで拡大（保護者同伴）して、一般市民への利用の機会の提供を図ることとした。合わせて所蔵書籍のジャンルの拡張を図ることとした。また年数回のオープンキャンパス時や中秋の名月日（9/12 お月見Café）、大学祭（石鳳祭）、企画展には努めて参画することとし、学生や市民に癒しと安らぎの時間と場の提供を図ってきた。震災から1年を経た4月には、世界で活躍するアーティスト32人（11カ国）から東日本大震災に寄せられた「復興への願いと支援の気持ちを世に訴えるメッセージ」ポスター作品約50点を一挙展示する「大震災から未来へ」世界のメッセージポスター展を1か月間の予定で企画している。

合わせて図書館内においては、被災時の反省に立って落下書籍の防止を図るべく、背丈以上の2階及び3階の各書架の上段部には落下防止のためのブックキーパーの設置を行った。また、利用者の安全を図るべくフロア毎の在館者数の常時把握、夜間時における3階の利用制限・夜間職員の増員、最短非常口への避難誘導の態勢の構築・館内放送の確保を図ることで当面の対応を行っている。

前述したように、石巻市の社会福祉協議会・災害ボランティアセンターの本部やボランティア宿营地として大学キャンパス内を提供したこともあり、ボランティアの方々の図書館利用者が急増したことも事実である。利用者の拡大に伴い、利用心得の周知を図ることも今後の課題の一つと思われる。

4. 寄稿

(2) 未来(あす)へのそなえのために～書架再考～

東北大学附属図書館工学分館専門員 日出 弘

1. はじめに

東北大学附属図書館工学分館（以下「工分」と略す。）は、建物の応急危険度判定等が遅れたことにより、東北大学の本・分館の中では最後に書架の復旧作業に着手した。床に落下した学生用図書を書架に戻す際に、落下防止対策として棚の前面にビニール紐（1本）を取り付けるようお願いした。手間のかかる面倒な作業なので、現場では当初半信半疑で作業をしていたようだが、4月7日の最大余震で一定の効果を実感したこともあって、その後は工分職員の共通理解となった。

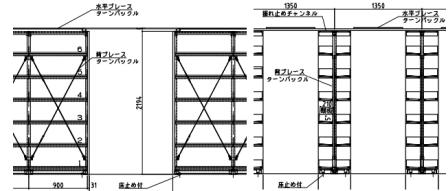
工分では職員の手ですべての復旧作業（再配架等）を行った。余震が続き、書架の破損状態もはっきりしない状況では、ボランティアの受け入れは憚られた。今後の図書館をになう若手の職員には、書架への戻入作業を通して、製本雑誌の重さ、書架や書架内通路に潜む危険性を再認識していただけたことと思う。書架は図書館の中ではあまりにも身近すぎて、日頃注意を払うことの少ない什器である。宮城県沖地震は約30年周期で発生する確率が高いといわれており、この機会に書架についてあらためて考えてみたい。

2. 被災書架入替

工分旧館2階の製本洋雑誌用書架（約4,900棚（6段複式換算約410連））は一部が大破、ほとんどの書架の柱・梁、転倒防止頭つなぎ（以下「頭つなぎ」と略す。）・プレース等が変形し、天板・側板が外れたものもある。試験的に大きく変形した書架に雑誌を入れて原状に戻してみたが、最大余震で菱形に変形し、通路側にせり出してきた。いったん雑誌を全部取り出し、飛び出した菱形の頂点を男子職員2名の力を借りて反対側に押し戻したうえで、最上段の棚組に針金（#14[ビニール被覆線／線径2mm]）で変形防止用プレースを張って整形、書架ユニット（6段複式5連）ごとそばの円柱に太めの針金（#12[ビニール被覆線／線径2.6mm]）で緊縛した。書架ユニットの変形により側板が飛んだ書架は、その側板を突っ張り棒（板）として取り付け、書架ユニットの支えにした。捻るような力で棚板側に大きく飛び出し、棚の雑誌を弾き出した板プレースは、変形した支柱接続金具（上下）を天地逆に取り付けて引っ張り直すことで整形した。頭つなぎが途中で無くなったり、書架から離れていたりするものは針金（#12）で現状のまま強く連結・固定し、中置書架グループ全体で地震の揺れに耐えるよう応急修理を行って、利用者・職員の安全を確保した。書架に雑誌を戻す際には、上から3段にはビニール紐をまわして落下防止対策とした。当初は震度4～5弱クラスの余震の中で補強が機能しているか、各書架がどのように揺れるかまじかで観察しながら、主に針金とペンチ・ハンマーの力技で修理を行った。その後、日常業務が忙しくなってきたので、全体としては変形しているが、構造部材や頭つなぎがほぼ原形をとどめている中置書架グループについては、ボルト・ナットの締め直し、交換、頭つなぎの増設（廃棄部材転用）、変形が激しい書架組への変形防止用針金プレース取り付け等、業務のあいまを縫って、約半年間にわたって応急修理を続けた。書架の支柱と頭つなぎを連結するボルトがないもの、仮止めにでも使うような小径のドリリング・タッピンビスで誤魔化しているもの、連結用金具自体がないところも多数あった。中途半端な頭つなぎのために、書架に回転する力がかった痕跡もいくつもみられた。必要に迫られて、廃棄した書架から補強部材を取り出し、ジグソーやドリルで連結用金具を手作りした箇所も多い。結局このフロアに設置されている全書架について、足元から側板・天板・頭つなぎにいたるまで、すべての部材と主要な接合部を点検・補修したことになる。

現在、2月末の完成を目指して、被災したすべての書架を入れ替える工事を行っている。震災発生時に1階に通じる主要な避難路が落下した雑誌で埋め尽くされたことを教訓に、階段を取り巻く壁に設置していた単式

書架は全廃、北側閲覧席横に増設した複式書架 1 連も 1 列全部撤去して、約 300 棚（6 段複式換算約 25 連）を減築し、主要避難路を約 2 倍に拡幅した。震災復旧という制約があるので、免震書架・免振棚・落下防止装置等は導入していないが、棚板に傾斜角約 4 度（実測値）の勾配をつけて落下軽減対策とし、北側・南側の各 2 ブロックにまとめていた中置書架グループをそれぞれ各 4 ブロックに細分するとともに、脚部は床への打込アンカー止めとし、背面プレースは板プレースからターンバックル仕様に改良、頭つなぎは隣り合う書架をつなぐ長さのショートタイプを、単柱と束・梁で構成する中心フレームの真上に専用つなぎ受金具を介して止めつける方式に変更、さらに頭つなぎ同士を適宜ターンバックル仕様の水平プレースでつなぎ、各部材間の取り合い部で書架本体への負荷を軽減させつつ、書架組全体の強度を上げて転倒防止対策としている。



工分の床は厚い絨毯敷きのうえ、下のコンクリート床面は河川敷グラウンドのごとき水平レベル、側板・袖板・頭つなぎ・プレース等特別仕様の部材も多く、組立には細心の注意が必要で、設置作業にあたった作業員の皆様には大変なご苦労をおかけしたことと思われる。

3. 既存書架改良

残された他の書架の地震対策をどうするのか。現在は上から 3 段までビニール紐でまいている。既存の学生用書架、積層書架は図書が大量に落下したことで、全体としては深刻な被害を受けていない。一方で、試験期等閲覧室が学生で溢れている状況を想定すると、書架の保全よりなにより利用者の安全を第一に既存書架の耐震対策も早急に実施しなければならないと考えた。工学部・工学研究科安全衛生委員会では、特に頭部を守ることを目途に館内に設置する書架の高い位置に所蔵されている資料について、利用者の利便性を考慮しながら、落下防止対策を実施することを決定していただき、平成 22、23 年度と工学部・工学研究科に予算要求を行っていたが、要求額が千数百万円（約 3,500 棚分）となることもあって、大学の図書館全体で検討すべき案件との結論であった。

大破した書架の更新仕様の検討と並行して既存書架への落下軽減対策を調査したが、避難路の書架上部など部分的に対策を施すにしてもかなりの額となり、工分の通常予算で捻出するには数年を要することになる。また、工分の既存書架のほとんどは、袖板の 2 ケ所の「コ型」の切り込みに棚板の折り込み部分を落し込む方式で、上下には比較的動き（外れ）やすい構造であることもわかった。上下の揺れで棚板がずれることを防ぎ、入替書架と同様の傾斜をつけて落下軽減対策とするため、後付「棚板傾斜付加金具」（以下「アタッチメント」と略す。）を考案、試作した。既存の単柱式書架の棚板にアタッチメントを装着して棚板に約 3 度の傾斜をつけるとともに、袖板からの浮上りを押さえるもので、棚板を外せて両面テープが貼れる職員なら誰にでも簡単に取り付けができるよう、金具の形状にガイド部を加える工夫も施してある。傾斜角を入替書架より約 1 度小さくしたのは、棚板の折り込み部分が袖板の切り込み部に収まる深さを通常の 3 ~ 4 割程度は確保したかったことと、背プレースや水平プレースのない書架本体への負担を考慮したためである。棚から資料が一気に落ちないように落下軽減対策をとる一方で、書架本体へのダメージをできるだけ少なくして書架も守るという、相反する要求にこたえられる仕様とした。鉄板（SPCC [JISG3141/ 板厚 0.8mm]）で試作したアタッチメント 1 個は約 12g 程度、1 棚に 2 個使用するので約 24g、6 段全部に取り付けても 144g + 両面テープの重さである。スーパー等で売っている豆腐三丁詰パックの一丁の重さが 150g ぐらいなので、単式 1 連にお豆腐が一丁、複式 1 連では二丁載っているのをイメージしていただければよいと思うが、書架本体への影響はほとんどないといってよい重量である。単柱式書架はキャンティレバー（片持構造）で、棚板にかかった重量を袖板で受けて

単柱と脚部で支えている。棚板の重心をアタッチメントで内側に少し移動しても構造上の問題は少ないとと思われる。書架入替工事で使用していたデジタル勾配計をお借りして、既存書架の棚板の勾配を無作為に選んで実測してみたが、概ね -0.1 度、棚によっては -0.5 度程度と、袖板の形状の関係もあってか手前が若干下がっていることが確認できた。地震動特性（振幅・経時・周期）や揺れの方向、棚上の資料配置にも影響を受けるので一概にはいえないが、今回と同じぐらいの地震の場合でも、資料が一度に薙ぎ払われるよう落下するのは防いでくれると思っている。また、一部に極端な力が加わった場合は、アタッチメント自身が変形することで棚板・袖板への影響を最小限に抑えて書架を守る構造とした。



工分では、大小大きさの違う資料の背をあわせて棚の縁側に配架していたが、震災後は棚奥（背板）に押し付けて配架し、棚に隙間がある場合はブックエンドで押さえるようにした。書架の整備ができたとしても、資料が適正に配架され維持されていなければ、落下軽減対策の効果も半減してしまう。例えば、製本用雑誌架では、電子ジャーナルへのシフトが進み製本雑誌数も激減しているので、雑誌タイトルごとに広くスペースを空けて配架する必要は薄れ、書架（各連）ごとに下段から棚が埋まるように配架したりすることも可能なはずである。棚に隙間がある場合はブックエンドで必ず押さえること、さらに上から 3 段目の棚ぐらいまではブックエンド自体を仮止めテープで棚板や袖板に軽く止めるることも落下軽減対策として有効である。そして何よりも大切なことは、アルバイト任せにせず、現場責任者等図書館員自らが図書館の専門職として週に一度は館内のすべての書架の配架状況をプロの目で点検することである。合理化とか省力化を大義名分として、図書館員が汗をかくような仕事を避け、論文や報告書等をかく（書けるような）事業にのみ関心を示すようになっているとしたら、イエローカードを高く掲げざるをえない。どんなに書架に工夫を凝らしたとしても、安全は日々の地道な作業の積重ねでしか維持できないということを今一度肝に銘じておきたい。

4. おわりに

現在は、アタッチメントを工分の単柱式、複柱式、電動集密書架等各種書架の数ヶ所に試験的に取り付けて検証している段階で、効果を確認できるまでにはいたっていない。新年度に予算が確保でき次第発注（製作）し、工分内書架に取り付けて一定期間検証し、期待した落下軽減対策効果を実感できるほどの大きな地震が発生しなくとも、書架本体に特段悪影響を与えないことが確認されれば、スポンサーを募集して、本格的な復興期にはいる地震や津波被害を受けた学校や公共図書館等にアタッチメントを寄付し、取り付けるボランティア活動を将来的にできないか検討している。そのためにも、すでに市場に出ている落下防止装置・用具に比べて安価で、地域で図書館を利用する個人からの少額のご寄附でもかなりの棚数分を購入できる価格にしていきたい。棚下（裏）の目立たない場所にはなるが、寄付者のお名前を記したタック・シール等をアタッチメントと棚板にかかるように貼って紹介を深める「知を支える貴方のシール」プロジェクト（略称「ささエール・プロジェクト」）などと勝手に名付けてみたりして、少々先走り気味ではあるが、同じ被災図書館として、建築等に詳しい職員のいる工学系大規模図書館として、比較的小規模な組織や予算で運営されておられる図書館のお役に少しでもたてればと考えている。

最後になったが、書架入替にあたってお世話になった日本ファイリング株式会社仙台営業所、日本通運株式会社仙台支店御町物流センター事業所重機・移転施行センター、工学部・工学研究科事務部、本部事務機構財務部、ならびに応急修理や学外保管等で資料を利用できなくなつてご迷惑をおかけしたにもかかわらずご支援・ご協力いただいた学内外の皆様に心から御礼申し上げる。震災後すぐに復旧計画をたて、図書館サービスの早期再開にむけ努力された管理、整理・運用の両係長及び係員の皆様にあらためて感謝し、本稿を終えることとする。

参考：

柳瀬寛夫. "4. 家具類－本の落下対策を中心に". 東日本大震災に学ぶ 第33回図書館建築研修会. 日本国書館協会編集・発行. 2012, p.75-82. (ISBN978-4-8204-1113-0)

第 66 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成 23 年 9 月 15 日（木）
会場 山形大学工学部 4 号館講義室
米沢市城南 4 丁目 3-16
TEL : 0236-26-3019 (工学部図書館)

日 程

1. 受付 12:30 ~ 13:00

2. 開会式 13:00 ~ 13:15

(1) 開会の挨拶

当番館 山形大学図書館

担当副学長 安田 弘法

(2) 歓迎のことば

当番大学 山形大学

学長 結城 章夫

(3) 挨拶

常任幹事館 東北大学附属図書

館長 野家 啓一

3. 議長団選出

4. 総会

(1) 報告事項 13:15 ~ 13:30

- ① 平成 22 年度会務報告について
- ② 平成 22 年度一般報告及び各部会報告について
- ③ 研修部会からの報告について
- ④ ウェブサイト運用部会からの報告について
- ⑤ その他

(2) 協議事項 13:30 ~ 14:00

- ① 新規加盟館について
- ② 平成 22 年度決算報告（案）について
- ③ 平成 22 年度記念事業基金決算報告（案）について
- ④ 平成 22 年度会計監査報告について
- ⑤ 平成 23 年度事業計画（案）について
- ⑥ 平成 23 年度予算（案）について
- ⑦ 平成 23 年度記念事業基金予算（案）について
- ⑧ 常任幹事館の選任について
- ⑨ 第 67 回総会の当番地区（館）について
- ⑩ 平成 23 年度合同研修会について
- ⑪ フレッシュ・パーソンセミナーの開催について
- ⑫ その他

1) 総会の協議事項

全国公立大学協会図書館協議会総会において決議された『本協議会として岩手、宮城、福島の被災地の子供達に希望を与える目的で予備費か

ら震災支援活動費を支出する』について（宮城大学提案）

2) 総会の承合事項

図書館における飲食物規制について（弘前大学提案）

(3) 部会

1) 各部会の協議事項

i) 国立大学部会

i) 幹事館の選任について（事務局提案）

ii) 公立大学部会

i) 幹事館の選任について（事務局提案）

ii) 監査館の選任について（事務局提案）

iii) 平成 23 年度以降の役員館の選出について（青森県立保健大学提案）

iii) 私立大学部会

i) 幹事館の選任について（事務局提案）

ii) 監査館の選任について（事務局提案）

(4) その他

5. 講演会 14:00 ~ 15:20

講演タイトル：「大学図書館の未来を設計する：アイデアの勝負」

演者：名古屋大学附属図書館長 松浦 好治先生

6. 部会 15:30 ~ 16:40

国立大学部会 セミナー室 1

公立大学部会 セミナー室 2

私立大学部会 セミナー室 3

7. 全体会議 16:40 ~ 17:30

① 各部会からの報告

② 質疑応答

8. 閉会式 17:30 ~ 17:40

(1) 次期当番館あいさつ

東北大学附属図書館長 野家 啓一

(2) 閉会のあいさつ

山形大学図書館担当副学長 安田 弘法

第66回総会資料

平成22年度 会務報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

昨年9月国際教養大学を当番館として開催された第65回総会以降の会務については、次のとおりである。

1 平成22年度末加盟館数

本協議会の加盟館数は、平成23年8月31日現在で国立大学15館、公立大学12館、私立大学37館 計64館となっている。

2 平成22年度東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

日 時 平成23年7月29日（金）12時40分～16時30分

会 場 秋田大学附属図書館

参加者 国・公・私立各加盟 22館から31名

[基調講演]

「図書館を災害から守る～東日本大震災にあたって」

講 師 国文学研究資料館准教授 青木 瞳 氏
[テーマ別情報交換会]

第1グループ：図書館資料の保存・管理

今回の地震では、資料の損壊も多く発生しました。

大切な資料を将来に残していくためにどのような対策が考えられるのか、どう実践していくのかについて情報交換を行った。

- ・資料の保存対策
- ・資料修理の実態 等

第2グループ：安全な図書館の作り方

安全な図書館を作るにはどうすればよいか、各々の図書館で実践していることなどの情報交換を行った。

- ・図書館の安全管理
- ・不審者対策
- ・避難誘導（避難訓練の実施等）
- ・書架転倒
- ・資料落下の防止 等

3 フレッシュ・パーソンセミナーの開催

隔年で開催することから、平成22年度は実施しなかった。

4 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌第62号は、平成23年6月に450部発行し、加盟64館及び国立国会図書館等関係機関等へ発送した。

5 幹事会について

① 平成23年8月2日（火）（於：東北大学附属図書館）

- （1）第66回総会及び部会の議題等について
- （2）その他

② 平成23年9月15日（木）開催予定（於：山形大学工学部）

（1）第66回総会及び部会の運営について

（2）その他

6 記念事業基金の造成について

平成22年度通常会計から記念事業基金として、96,000円を繰り入れた。

7 平成22年度会計監査について

平成23年9月6日（火）、東北大学附属図書館において、会計監査館の福島県立医科大学及び石巻専修大学による会計監査を受けた。

平成22年度 一般報告

— 国・公・私立大学図書館の動き —

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

○ 会議等関係

1. 外国雑誌センター館会議について
2. 日本医学図書館協会総会について
3. その他

○ 研修・講習会等関係

1. 目録システム講習会

[図書コース]

期 間：第1回 平成23年 5月18日（水）

～ 5月20日（金）

第2回 平成23年 6月 8日（水）

～ 6月10日（金）

第3回 平成23年 6月29日（水）

～ 7月 1日（金）

第4回 平成23年 7月13日（水）

～ 7月15日（金）

第5回 平成23年10月12日（水）

～10月14日（金）

第6回 平成23年12月 7日（水）

～12月 9日（金）

[雑誌コース]

期 間：第1回 平成23年 5月25日（水）

～ 5月27日（金）

第2回 平成23年 6月15日（水）

～ 6月17日（金）

第3回 平成23年10月26日（水）

～10月28日（金）

場 所：国立情報学研究所

2. 目録システム地域講習会

[図書コース]

平成23年6月1日（水）～6月3日（金）、東北大学附属図書館で開催予定としていたが、東日本大震災の影響により開催を中止した。

[雑誌コース]

平成23年6月8日（水）～6月10日（金）、東北大学附属図書館で開催予定としていたが、東日本大震災の影響により開催を中止した。

3. I L L システム講習会

平成23年6月28日（火）、東北大学附属図書館で開催予定としていたが、東日本大震災の影響により開催を中止した。

4. 学術ポータル担当者研修

期 間：平成23年8月3日（水）～8月5日（金）

場 所：名古屋大学附属図書館

期 間：平成23年8月24日（水）～8月26日（金）

場 所：国立情報学研究所

5. 情報処理技術セミナー

期 間：第1回 平成23年 6月20日（月）～6月21日（火）

第2回 平成23年 8月 4日（木）～8月 5日（金）

第3回 平成23年11月1日（火）～11月2日（水）

場 所：国立情報学研究所

6. 大学図書館職員短期研修

期 間：平成23年10月 4日（火）～10月 7日（金）

場 所：京都大学附属図書館

期 間：平成23年11月15日（水）～11月18日（金）

場 所：東京大学附属図書館

7. 学術情報リテラシー教育担当者研修

期 間：平成23年10月19日（水）～10月21日（金）

場 所：大阪大学附属図書館

期 間：平成23年11月30日（水）～12月 2日（金）

場 所：国立情報学研究所

8. N A C S I S - C A T / I L L ワークショップ

期 間：平成23年7月20日（水）～7月22日（金）

場 所：国立情報学研究所

9. 平成23年度大学図書館職員長期研修

期 間：平成23年7月 4日（月）～7月15日（金）

場 所：筑波大学

10. 平成23年度漢籍整理長期研修

期 間：平成23年6月13日（月）～6月17日（金）

平成23年6月20日（月）～9月 2日（金）

平成23年9月 5日（月）～9月 9日（金）

場 所：東京大学東洋文化研究所

11. 平成23年度漢籍担当職員講習会（初級・中級）

期 間：初級 平成23年10月 3日（月）～10月 7日（金）

中級 平成23年11月 7日（月）～11月11日（金）

場 所：京都大学人文科学研究所

12. 第31回西洋社会科学古典資料講習会

期 間：平成23年11月 9日（水）～11月11日（金）

場 所：一橋大学佐野書院

13. 第12回西洋古典資料保存講習会

期 間：平成23年7月 4日（月）～7月 6日（水）

場 所：一橋大学附属図書館

14. 平成23年度図書館等職員著作権実務講習会

期 間：平成23年8月31日（水）～9月 2日（金）

場 所：京都大学（京都会場）

期 間：平成23年9月 7日（水）～9月 9日（金）

場 所：名古屋大学（名古屋会場）

15. 平成23年度N A I S T電子図書館学講座

期 間：平成23年10月20日（木）・10月21日（金）

会 場：奈良先端科学技術大学院大学附属図書館

16. 平成23年度日本古典籍講習会

期 間：未定

会 場：人間文化研究機構国文学研究資料館

国 立 大 学 部 会 関 係

（幹事館：東北大学・福島大学）

○第9回国立七大学附属図書館長会議

（平成22年10月27日 東京大学）

協議事項

(1) 大学図書館の経営について

- ・公共サービス改革基本方針への対応について
- ・次世代の大学図書館の在り方及びこれに向けた七大学の共同した取り組みについて
- ・国立大学図書館をめぐるさまざまな課題について
- ・大学をとりまく状況の変化に対応した図書館経営全般について
- ・図書館施設の改修及び図書館組織の運営について

(2) 電子ジャーナル等の整備について

- ・電子ジャーナル等の整備について
- ・電子ジャーナル・コンソーシアムの強化について

○第43回国立七大学附属図書館事務部課長会議

（平成22年10月27日 東京大学）

協議事項

(1) 大学図書館の経営について

- ・公共サービス改革基本方針への対応について
- ・国立大学図書館の財政及び業務運営に関する諸

- 課題について**
- ・今日の厳しい財政状況下における図書館運営の改善について
 - ・図書館施設の改修及び図書館組織の運営について
- (2) 図書系職員の確保・育成について
- ・図書館職員の育成と評価について
 - ・人事交流について
 - ・図書系職員確保の方策について
- (3) 電子ジャーナル等の整備及び図書館システム等の在り方について
- ・電子ジャーナル等の整備について
 - ・これから図書館システムと共同分担目録のあり方について
 - ・電子ジャーナル・コンソーシアムの強化について
(東京大学)
- (5) その他
- 協議事項**
- (1) 東北地区における図書系職員の育成・確保について
 - (2) 平成23年度目録システム地域講習会について
 - (3) 学習教育・支援の新たな展開について
 - (4) 電子ジャーナル契約実績の共有化について
 - (5) その他
- 承合事項**
- (1) ラーニング・コモンズの整備状況について
 - (2) 学位論文の収集・電子化（機関リポジトリ搭載）にかかる許諾方法（図書館が機関リポジトリへの搭載を担当している場合）について
- 第42回国立大学図書館協会東北地区協会総会について
(文書会議 平成23年4月14日 宮城教育大学)
- 報告事項**
- (1) 国立大学図書館協会理事会について
 - (2) 東北地方太平洋沖地震に伴う被害と復旧状況について
 - (3) 目録システム地域講習会等について
- 協議事項**
- (1) 国立大学図書館協会東北地区協会理事・幹事・当番館について
 - (2) 平成23年度及び平成24年度の東北地区協会の事業について
 - (3) 図書館職員の人事政策課題について
 - (4) 第58回国立大学図書館協会総会にむけての準備事項等について
- 承合事項**
- (1) 単位の実質化に伴い授業時間が16週となったことについての図書館の対応
- 国立大学図書館協会新理事会
(平成23年5月13日 東京大学附属図書館)
- 報告事項**
- (1) 各委員会報告
 - 1) 総務委員会
 - 2) 国立大学図書館協会賞受賞者選考結果報告
 - 3) 人材委員会
 - 4) 学術情報委員会
 - 5) 学術情報流通改革検討特別委員会
 - (2) 各地区協会報告
 - (3) 地区協会助成事業報告
 - (4) 国公私立大学図書館協力委員会報告
 - (5) 日本図書館協会関連報告

- (6) 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 報告
 - (7) その他
- 協議事項
- (1) 会長及び副会長選出
 - (2) 理事館の担当について
 - (3) 委員会等について
 - 1) 「委員会の設置について（申し合わせ）」改正について
 - 2) 学術情報流通改革検討特別委員会について（設置要項改正）
 - 3) 大学図書館コンソーシアム連合運営委員会委員の派遣について
 - 4) 国立大学図書館協会シンポジウムについて
 - 5) 平成22年度決算（案）について
 - 6) 平成23年度事業計画（案）について
 - 7) 平成23年度予算（案）について
 - 8) 関係団体への派遣役員について
 - 9) 第58回総会について
 - 1) 日程について
 - 2) 総会の議長団について
 - 3) ワークショップのテーマ・企画担当について
 - ①電子ジャーナル・電子ブック等の整備の在り方と大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 関東甲信越地区、東京地区
 - ②災害時における図書館における危機管理 東海北陸地区、近畿地区
 - 4) オブザーバについて
 - (10) 第59回総会の当番館・日程等について
 - (11) その他

○第58回国立大学図書館協会総会

(平成23年6月16日 グランドプリンスホテル広島)

報告事項

- (1) 一般経過報告
- (2) 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 報告

協議事項

- (1) 平成22年度決算報告・同監査報告について
- (2) 平成22年度記念基金決算報告・同監査報告について
- (3) 平成23年度事業計画（案）について
- (4) 平成23年度予算（案）について
- (5) その他

文部科学省所管事項説明

国立情報学研究所事業説明

ワークショップ

- 1. 電子ジャーナル・電子ブック等の整備の在り方と大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) （企画地区：関東甲信越、東京、近畿）
- 2. 災害時における図書館における危機管理（企画担当：東海北陸、近畿）

○第7回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー

(平成23年6月17日 グランドプリンスホテル広島)

講演 倉田 敬子 氏（慶應義塾大学文学部教授、

科学技術・学術審議会学術
分科会研究環境基盤部会学術
情報基盤作業部会専門委員）

演題「変革の中で大学図書館の戦略的方向性を探る」
人材委員会報告「図書館職員の人事政策課題について」

石井 道悦（大阪大学附属図書館事務部長）

オープン・ディスカッション

「変革の中で大学図書館の戦略的方向を探るために」
コーディネータ：竹内 比呂也

（千葉大学附属図書館長）

コメンテータ：倉田 敬子
(慶應義塾大学文学部教授)

石井 道悦
(大阪大学附属図書館事務部長)

○平成23年度外国雑誌センター館会議

(平成23年5月12日 一橋大学佐野書院)

報告事項

- (1) 平成22年度外国雑誌センター館活動について
 - ・平成22年度外国雑誌センター館活動日誌
 - ・平成22年度外国雑誌センター館重複等調整結果
 - ・外国雑誌センター館実務WG活動記録
- (2) 附属図書館移転のスケジュールについて
(東京工業大学)
- (3) その他

協議事項

- (1) 外国雑誌センター館の今後の運営について
- (2) 外国雑誌センター館活動評価（2010年度版）
(案)について
- (3) その他

○特定非営利活動法人日本医学図書館協会第82回通常総会

(平成23年5月20日 愛知学院大学)

特別講演 ラクオリア創薬 社長 長久 厚 氏

演題「企業におけるライブラリー・ファン
クションの現状」

協議事項

- (1) 平成22年度事業報告
- (2) 平成22年度決算報告・監査報告
- (3) 平成23年度事業計画案
- (4) 平成23年度予算案
- (5) その他

(6) 平成23年度予算（案）について

- (7) 東日本大震災による被災地への支援について
- (8) 「決算報告及び監査報告」の取り扱いについて
- (9) 平成23年度公私立大学図書館コンソーシアム（PULC）の活動について
- (10) 平成23年度公立大学協会図書館協議会研修会について
- (11) 平成23年度大学図書館職員長期研修（筑波大学主催）参加者の推薦について
- (12) 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
- (13) 「内規申合せ事項」の改正について
- (14) 「公立大学協会図書館協議会」の英語表記について

公立大学部会関係

（幹事館 青森県立保健大学）

○第21回（平成23年度）公立大学協会図書館協議会事務長会

期 日：平成23年6月2日（木）

会 場：ホテル北野プラザ六甲荘

開催館：兵庫県立大学学術総合情報センター

承合事項

- (1) 藏書スペースについて
- (2) ラーニング・コモンズの設置状況について
- 講演「公立大学を取り巻く環境変化と課題」

公立大学協会事務局長 中田 晃氏

○第43回（平成23年度）公立大学協会図書館協議会総会

期 日：平成23年6月3日（金）

会 場：ホテル北野プラザ六甲荘

開催館：兵庫県立大学学術総合情報センター

文部科学省行政説明

文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室室長補佐
丸山 修一氏

基調講演

「地域歴史文化と図書館

—阪神・淡路大震災後、16年間の歴史資料保存活動
から考える—」

神戸大学大学院人文学研究科教授

（歴史資料ネットワーク代表）奥村 弘氏

議事

報告事項

- (1) 平成22年度事業報告
- (2) 平成22年度決算報告及び監査報告
- (3) 相互協力委員会報告
- (4) HP委員会報告
- (5) 事務長会報告

協議事項

- (1) 役員の選出について
- (2) 関係委員会委員等の推薦について
- (3) 平成23年度HP委員会について
- (4) 「予算編成の考え方」の見直しについて
- (5) 平成23年度事業計画（案）について

○平成23年度公立短期大学図書館協議会総会

期 日：平成23年8月25日（木）

会 場：鹿児島県立短期大学

開催館：鹿児島県立短期大学

議題

- (1) 報告事項
 - ① 役員紹介
 - ② 平成22年度事業報告及び決算報告
 - ③ 平成23年度地区協議会活動報告
- (2) 審議事項
 - ① 平成23年度事業計画及び予算（案）
 - ② 提案議題
- (3) その他
 - ①当番館等の輪番について
 - ②承合事項他

○平成23年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期 日：平成23年8月26日（金）

会 場：鹿児島県立短期大学

開催館：鹿児島県立短期大学

内 容：情報交換会

- ①図書館活性化に関する最近の取り組み
- ②その他

○平成23年度公立大学協会図書館協議会東部地区館会議

期 日：平成23年8月26日（金）

会 場：前橋工科大学

開催館：前橋工科大学附属図書館

協議事項

- (1) 東部地区における役員ローテーションについて

- (2) 全国研修会当番館ローテーションの変更について
承合事項
- (1) 図書館に配属されている人員及びその形態について
 - (2) 図書館内の節電対策について
 - (3) マイクロフィルムの使用状況等について

○平成23年度公立大学協会図書館協議会研修会

期 日：平成23年9月9日（金）
 会 場：ホテルメトロポリタン秋田
 担当館：秋田県立大学図書・情報センター
 テーマ「電子書籍と図書館」
 基調講演：「デジタル時代の大学出版」
 東京大学出版会販売部長 橋元 博樹氏
 事例報告：「東北大学の電子書籍サービス」
 東北大学附属図書館総務課情報企画係長
 永井 伸氏
 事例報告：「米国と日本の図書館電子化事情の比較」
 株式会社紀伊國屋書店eコマース事業本部
 電子書籍事業部部長 新田 英直氏

私立大学部会関係

（幹事館：盛岡大学・仙台大学）

- 私立大学図書館協会・東地区部会を中心とした活動（平成22年9月1日～平成23年8月31日）
- 加盟校 520校（2011年4月1日現在） 東地区部会260校
 ※ 東北地区加盟校（50音順） 25校
 秋田看護福祉大学、石巻専修大学、いわき明星大学、
 奥羽大学、郡山女子大学、尚絅学院大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北女子大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、東北薬科大学、日本大学工学部、日本赤十字秋田看護大学、ノースアジア大学、八戸工業大学、八戸大学・八戸短期大学、東日本国際大学、富士大学、宮城学院女子大学、盛岡大学

○第71回（2010年度）総会・研究大会

日 時：2010年9月9日（木）～10日（金）
 会 場：西南学院大学
 メインテーマ：『『場』としての大学図書館－図書館とラーニング・コモンズ－』
 総 会

- I 協会賞（2009年度審査決定・2010年度表彰）1件
- II 研究助成（2010年度助成対象） 3件
- III 会務報告（2009年度）

- IV 委員会報告
- V 協会関連事項報告
- VI 図書館におけるRFID導入のためのガイドラインについて
- VII 2010年度私立大学図書館協会役員校、委員会および協会関連団体委員
- VIII 総会議案
 - 第1号議案 2009年度一般会計・特別会計決算報告（案）について
 - 第2号議案 2010年度事業計画（案）について
 - 第3号議案 2010年度一般会計・特別会計予算（案）について
 - 第4号議案 研究助成規程の一部改正について
 - 第5号議案 2011年度～2012年度役員校について
 - 第6号議案 新規加盟校および脱退校について
- 講 演
 - 「知の仕掛け、ラーニング・コモンズをどう捉えるか」
 - 第1部 なぜ、ラーニング・コモンズが注目されるのか
 - 講師 同志社大学 企画課長 井上 真琴 氏
 - 第2部 ラーニング・コモンズの理論的枠組み
 - 講師 国立情報学研究所学術基盤推進部 学術コンテンツ課長 米澤 誠 氏
 - 研究大会
 - 1 2009年度海外集合研修報告
 - 2 研究助成発表
 - 「学生の図書に対する感想をOPACで共有することによる図書の効果的な活用に関する研究」
 尚絅大学・尚絅学園図書館
 鍾田由佳里 北口己津子 氏
 - 3 記念講演
 - 「菅原道真公と太宰府天満宮－ 我国の図書館学の草分けとして－」
 太宰府天満宮文化研究所
 学芸員・櫛宜 味酒 安則 氏

○2010年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会

テーマ：「本の歴史、本の未来 一電子書籍時代を迎えてー」
 日 時：2010年11月4日（木）～11月5日（金）
 会 場：慶應義塾大学
 参加者：74大学 76名
 第1日
 基調講演：「科学史と書物」
 講師 慶應義塾大学文学部
 教授 西脇 写作 氏

講演：「江戸時代の読本について」

講師 国文学研究資料館研究部

教授 大高 洋司 氏

講演：「漢籍－目録と版本－」

講師 二松学舎大学文学部

教授 高山 節也 氏

第2日

講演：「大学図書館とインキュナブラ」

講師 早稲田大学教育・総合科学学術院

准教授 雪嶋 宏一 氏

講演：「『紙の本』の未来をめぐって」

講師 文芸批評家 前田 墨 氏

講演：「電子書籍と学術出版」

講師 東京電機大学出版局・局長

植村 八潮 氏

○私立大学図書館協会2011年度東地区部会総会・館長会・

研究講演会

日 時：2011年6月10日（金）

会 場：亜細亜大学

1 部会総会 議事

(1) 報告事項

ア 2010年度 東地区部会会務報告及び研究部活動報告

イ 2010年度 協会関係会務報告

ウ 2011年度 協会委員会及び協会関連団体等委員

(2) 協議事項

ア 2010年度 東地区部会決算報告及び監査結果

イ 2010年度 東地区部会研究部決算報告及び監査結果

ウ 2011年度 東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

エ 2011年度 東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

2 館長会

懇談テーマ：「情報リテラシーとユーザー環境の整備」

3 研究講演会

テーマ：「大学図書館とGoogle Books」

講演：「Google, Googleブックスと大学図書館」

講師 グーグル株式会社戦略事業開発本部

マネージャー 佐藤 陽一 氏

講演：「慶應義塾図書館のグーグル図書館

プロジェクト」

講師 慶應義塾大学三田メディアセンター

課長 松本 和子 氏

講師 慶應義塾大学メディアセンター本部

課長 入江 伸 氏

以 上

平成22年度東北地区大学図書館協議会表彰審査結果報告

1. 応募区分：協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（東北地区大学図書館協議会表彰規程
第2条第2号）

2. 対象者：秋田大学附属図書館主査 飯沼 邦恵

3. 件名：大学図書館職員初任者マニュアルの作成

4. 結果：不採択

5. 理由： 本件は、平成23年3月に本協議会研修部会が発行した「大学図書館職員初任者マニュアル」の編集にあたり発足当初から部会の中心となり活動を行った同人の功績を認め推薦があったものである。

本マニュアルは、大学図書館に初めて配置された職員向けに作成されたものであるが、新人のみならずベテラン職員にとっても昨今の図書館業務の変容に対応するにあたって大変有意義な内容となっている。

審査委員会では、同人の活動内容及び関わり度合い、さらに協議会の一組織の事業であること等について慎重に審議した。マニュアルの原案文を執筆し、また、校正、編集等大部分の業務を中心となって行ったことは十分に評価できるものであるが、本協議会における研修部会の事業としての成果物との受け止め方が一般的である。

また、マニュアルの内容は実践的で有用であるが、今後の使われ方、浸透度を見極めたうえで表彰することとしてはいかがかとの意見が出された。

審議の結果、マニュアルを活用した啓蒙等、同人の今後における活動状況等を含めて表彰することとしたとの結論に至り、今年度の表彰は見送ることとしたものである。

東北地区大学図書館協議会研修部会報告

1. 委員名簿

任期 平成22年9月1日～平成24年8月31日

※印は、主査

檜 原 啓 一（東北大大学）

（任期：平成22年9月1日～平成23年3月31日）

小清水 裕 子（東北大大学）

（任期：平成23年4月1日～平成24年8月31日）

飯 沼 邦 恵（秋田大学）

小 野 由 美（青森県立保健大学）

※ 小 松 良 重（八戸大学・八戸短期大学）

本 間 雅 人（東北福祉大学）

2. 平成22年度の主な活動内容

①「本協議会における研修会に関する調査 2010」集計
結果報告

平成22年9月16日 第65回総会にて報告

② 部会開催 平成22年12月7日(火)13:30～15:40
議 題 1. 主査選出

2. 合同研修会について
3. フレッシュパーソンセミナーについて
4. 初任者向けマニュアルについて

③「大学図書館職員初任者マニュアル」の作成

平成23年3月 8日 原稿完成

平成23年3月30日 ウェブサイト運用部会にHP公開を依頼

平成23年4月 7日 本協議会HPに公開

平成23年5月13日 加盟館各位へ通知

④「本協議会における研修会に関する調査 2011」の実施

平成23年8月 4日 加盟館各位へ依頼

平成23年8月22日 回答提出期限

平成23年8月31日 集計結果を本協議会事務局へ提出

平成22年度 第1回 東北地区大学図書館協議会研修部会議事録

日 時：平成22年12月7日（火）13:30～15:40

場 所：東北大大学附属図書館 1号館2階会議室

出席者：飯沼（秋田大学）、小野（青森県立保健大学）、
小松（八戸大学）、本間（東北福祉大学）、檜原
(東北大大学)

陪席者：高橋（東北大大学）

配布資料：

1. 初任者向けマニュアル作成スケジュールについて
2. 大学図書館職員初任者向けマニュアル（案）

議事に先立ち、東北大大学附属図書館の片山部長から挨拶があった。

また、初会合のため、自己紹介を行った。

議 事：

1. 主査選出

小松委員への推薦があり、小松委員に決定した。

2. 今後の活動について

小松主査より、研修部会の設立の経緯とこれまでの活動についての説明の後、合同研修会とフレッシュパーソンセミナー、初任者向けマニュアルについて検討した。

【研修部会の設立の経緯とこれまでの活動】

- ・職員向けの研修をよりよくしようということで、WGから研修部会の設立（2008年）に至った。
- ・これまでの主な活動は、合同研修会（年1回）、フレッシュパーソンセミナー（隔年）、初任者向けマニュアルの整備である。
- ・初任者向けマニュアルは、新採用者だけでなく、頻繁な人事異動にも対応するよう預定している。

【合同研修会】

下記の質疑応答および意見があった。

- ・研修部会と開催館との関係はどうなっているのか？
→研修部会では研修の大枠を決めて、詳細は開催館で決めてもらう。たまたま最近2年間は、委員のいる大学で開催している。講師の選定や謝金の支払いなどの経費も、開催館が執り行っている。また東北地区大学図書館協議会からの支出は、開催館にまとめて支払うという流れである。
- ・開催地区的順序はどうなっているのか？
→事務局で5年先くらいまで決定している。研修は6県持ち回りで、次回は秋田、次々回は山形となっている。
- ・最近の研修ではグループ討議がはやっており、他大学の事例が聞けたり交流が広がったりと、職員にとってよい点が多い。
- ・役職別やキャリア別の研修があつてもよい。ただし、役職別やキャリア別とすると、参加者が集まらない可能性がある。
- ・国公私別の研修という案もあるが、"合同研修会"の趣旨からは国公私別でない方がよい。
- ・協議会に参加していない大学の職員も、参加してよい。
- ・これまで午後から半日で行ってきたが、今年もそのような方向でよいか？
→参加しやすい体制なので、これまで通りでよい。
- ・参加者には、参加する意義を自覚して、能動的に参加してもらいたい。そのためには、参加者全員に発表してもらう研修もよいかもしれない。
- ・基調講演は、ダイジェストでもよいのでウェブ公開を検討したい。そのためにはサーバ等の問題があるので、ウェブサイト運用部会との連携が必要である。

これらを踏まえ、次回開催館が決まってから、必要事項を詰めることとした。

また、次回開催館の情報が分かり次第、飯沼委員から事務局および小松主査へ連絡することとした。

【フレッシュパーソンセミナー】

これまで通り、隔年で開催する。

【初任者向けマニュアル】

飯沼委員より、配付資料に基づき、進捗状況と今後のスケジュールの説明があり、意見交換を行った。

- ・今回配布した資料は、前任の委員各位にも見てもらいたい、アドバイスをいただいた点について反映させたものである。
- ・未経験の業務や国立大学にしか該当しない項目などがあれば、指摘してもらえば反映したい。
- ・完成したら、ウェブサイトで公開（冊子は製作しない）して、情報共有につなげる。
- ・フレッシュパーソンセミナーが2年に1回なので、受講するまでの繋ぎや、一人職場の方への参考資料として使ってほしい。また大きな図書館では、隣の係が何をしているのか分からぬ場合に、業務を把握するのに使っていただければよい。
- ・5章は最初がいいのではないか？
→5-2は付加的に追加したので最後にしたが、どちらがよいのかは迷っている。
- ・「はじめに（作成の経緯、きっかけなど）」「最後に」「表紙」はあったほうがよい。
- ・「初任者向けマニュアル」の"向け"はなくてもよいのではないか？
- ・「より詳しく知るために」「ワンポイントアドバイス」はもう少し増やしたい。
- ・体裁は、もう少し整える。
- ・図書館システムについては、特定のメーカーの画面例を表示するより、表などを使用してメーカーにこだわらない表現が望ましい。
- ・ラーニング・コモンズについて、もう少し詳しく触れてほしい。
- ・目次には、ページ番号を付ける予定である。
- ・電子ジャーナル・コンソーシアムについての記述はあるか？
→入れる方向で検討する。
- ・用語集を付けるか検討中だが、専門用語と通用語の区別が難しい。これについても意見を求める。
- ・完成までのスケジュールはこれでよいか？
→3月までに完成すれば、4月の異動者・採用者に使ってもらえるので、よい。

これらを踏まえ、飯沼委員より委員各位にメールで原稿を送付することとし、各委員は1月17日（月）までに修正・追加等についての意見を飯沼委員に回答することとした。

以上

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会報告

1. 委員名簿

任期 平成22年9月1日～平成24年8月31日

※印は、ウェブ管理者

※ 堀野 正太（東北大）

（任期：平成22年9月1日～平成23年3月31日）

※ 菊地 良直（東北大）

（任期：平成23年4月1日～平成24年8月31日）

芦原 ひろみ（福島大）

西戸 雅博（福島県立医科大学）

須田 充彦（東北学院大）

和知 剛（郡山女子大）

2. 平成22年度の主な活動内容

月 日	摘要
部会開催 平成23年 3月7日(月)	議題 1、運用部会の進め方について 2、これまでの活動の確認および今後の活動について 3、その他 平成23年7月25日追記 1、決定した活動は震災の影響で遅れているが、順に進めていく予定である。 2、平成23年4月1日付けで東北大委員堀野から菊地良直へ交代。主査は暫定的に菊地が担当し、後日メール審議等で後任を決定する。

第3回東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会打ち合わせ議事要旨

日 時：平成23年3月7日（月）13:30～16:00

場 所：東北大附属図書館2階会議室

参 加：芦原（福島大）、須田（東北学院大）、西戸（福島医大）、和知（郡山女子大）、堀野（東北大）

冒頭陪席：片山事務部長（東北大）、高橋医学分館事務長（東北大）

資料1：第1回東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会打ち合わせ議事要旨

資料2：第2回東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会打ち合わせ議事要旨

資料3：第2回打合せ後の活動について

議題

1. 運用部会の進め方について

（1）主査を堀野が担当する。

（2）今後のサイト管理・ファイル更新は、サーバ設置館である東北大の堀野が担当する。

- (3)部会員同士の意見交換は主にメールで行い、必要に応じて集まることとする。
※Google提供のグーグルグループ機能を使用する。
- 2.これまでの活動の確認および今後の活動について
- (1)資料3に基づき過去の活動および今後の活動の確認を行った。
 - (2)図書館界ニュースについて、RSS取得先を整理し、拡大していく。情報の収集を部会員で行う。
 - (3)加盟館HP更新情報は広告が入るので試行としているが、現在広く利用されているウェブサービスには広告がつきものであるので、現状のまま試行表示を外してもよいか、総会にはかる。
 - (4)素材集(掲示、講習会資料等)の共有について。継続して検討をする。掲示ファイルの共有の他、利用者向けの英文案の共有などの可能性も考えられる。
 - (5)各館紹介ブログについて。4月から毎月部会員が順番に記事を書く。(4月：和知、5月：芦原、6月：堀野、7月：須田、8月：西戸)。今後、所属館全体に執筆者を広げていく。その方法は、既執筆者が次の執筆者へ直接依頼する方法。より具体的な方法を検討し総会にはかる。
 - (6)「図書館のすすめ」各館版情報の掲載について。案を作成し掲載を検討する。
 - (7)サイトへのアクセス調査について。既設置のアクセスカウンターが動作していないので確認をする。
 - (8)研修会ページの改善について。研修会場の写真、研修後のアンケート集計、研修資料のファイル提供を研修部会に打診する。
 - (9)トップページデザインについて。更新を検討する。
 - (10)研修部会との連携。上の(8)と同時に進める。
 - (11)国立大学図書館協会東北地区協会が開催した研修会の資料アーカイブについて。具体的な方法について検討する。
 - (12)加盟館ホームページとのリンクについて。本部会より各館に依頼をする。
 - (13)協議会誌ファイルの掲載方法について。分割して記事へのリンクを作成する。
- 3.その他
- (1)MULU(みちのく大学図書館員連合)との連携を検討する。方法について検討する。

平成23年7月25日追記

- 1.決定した活動は震災の影響で遅れているが、順に進めていく予定である。
- 2.4月1日付けで東北大の委員の異動があった。堀野から菊地良直へ交代。主査は暫定的に菊地が担当し、後日メール審議等で後任を決定する。

東北地区大学図書館協議会入会申込書

平成23年6月1日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館 殿

大学名 東北公益文科大学

図書館名 東北公益文科大学メディアセンター

図書館長名 三原容子

貴協議会の趣旨に賛同し、平成23年度からの入会を申し込みます。

1.学校(法人)名	学校法人東北公益文科大学
2.大学名	東北公益文科大学
3.大学設置年	2001年(平成13年)
4.学生数	713名
5.所在地	山形県酒田市飯森山3丁目5番地の1
6.紹介館名	山形大学

新規加盟館紹介

東北公益文科大学メディアセンター

1.大学紹介

所在地 〒998-8580 山形県酒田市飯森山3丁目5番地の1
東北公益文科大学

電話: 0234-41-1111(代表) 0234-41-1113(代表)

学校法人東北公益文科大学は、平成13年「この地域に四年制大学を」という地域住民の熱い思いを受け、山形県と当時の庄内地域14市町村の出資により、公設民営の大学として開学。昨年、創立10周年を迎えました。公益学部公益学科の下に4つのコースを配置。2年次から専門コースに分かれ、自分の考え方の基本となる学問の軸を徹底的に学んでいます。

一昨年に、学内の公募により、「今を変える力を育む」というイメージフレーズを採用。「構造疲労を起こしている社会システムを分析し、より時代に合った公益実現の社会システムを創(つく)り出すこと、自らが率先してそれに取り組む気概を持った人材を育てたい」。そんな思いをイメージフレーズに込めて、社会の変革のために、グローバルな社会において、何をすべきか、何が必要かを見抜く力を身に付けさせること、そして、世界で競争できるような若者を育成することを教育の大きな目標に掲げています。

2.図書館概要

- ・図書館名 東北公益文科大学メディアセンター
- ・図書館長 三原 容子

本学メディアセンターは、従来の図書館と視聴覚センターの機能を兼ね備えた施設です。図書・雑誌のほか、電子媒体の視聴、インターネットによる情報検索などに

も対応しています。山形県関係の資料を集めた「山形文庫」、ニュージーランド関係の資料を集めた「ニュージーランド文庫」など、特色ある収集を行っています。また、メディアセンターは、学外の方にも開放しています。

大学院がある鶴岡キャンパスには付設図書館として「致道ライブラリー」を設置しています。致道ライブラリーはメディアセンターの姉妹館にあたり、慶應義塾大学、山形県鶴岡市、本学の3者が共同運営する図書館です。

(1) 延べ面積 1,517m²

図書収容能力 14万冊

閲覧席 162席

蔵書検索端末 4台

インターネット専用端末 12台

(うち2台はCD-ROM閲覧専用)

グループ学習室-5室

(内訳：2階3部屋、3階2部屋)

(2) 蔵書数 約10万冊 (2011年3月末現在)

(3) 職員数 6名 (兼任職員を除く)

[平成22年度決算書(案)]

自 平成22年9月1日
至 平成23年8月31日

項目	22年度予算額	22年度決算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	288,161	288,161	0	
会費	975,000	975,000	0	平成22年度会費64館分及び平成21年度会費1館分
雑収入	160,239	160,405	166	協賛広告協議会誌第62号(8社)郵貯利子(139円)銀行利息(56円)その他の収入(210円)
計	1,423,400	1,423,566	166	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	401,625	△ 48,375	会誌第62号
総会補助費	200,000	200,000	0	第65回(国際教養大学)100,000円 第66回(山形大学、前渡し金)100,000円
事業費	285,000	140,000	△ 145,000	合同研修会(秋田大学)
部会活動費	150,000	95,660	△ 54,340	研修部会会議旅費(63,920円)及びウェブサイト運用部会会議旅費(31,740円)
事務費	60,000	30,000	△ 30,000	国際教養大学(第65回当番館)
通信運搬費	20,000	14,280	△ 5,720	会誌送付(11,600円)及び郵便料(960円、960円、760円)
積立繰入金	97,500	97,500	0	記念事業基金に繰入
会議費	30,000	20,000	△ 10,000	第2回幹事会(国際教養大学)
消耗品費	10,000	0	△ 10,000	
雑費	30,000	13,200	△ 16,800	会計監査交通費補助
予備費	90,900	0	△ 90,900	
次年度繰越	0	411,301	411,301	
計	1,423,400	1,423,566	166	

[平成22年度記念事業基金決算書(案)]

自 平成22年9月1日
至 平成23年8月31日

項目	22年度予算額	22年度決算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	626,034	626,034	0	
積立金	97,500	97,500	0	通常会計より繰入(平成22年度会費64館分及び平成21年度会費1館分)
利息	199	182	△ 17	普通預金利子(182円)
計	723,733	723,716	△ 17	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	723,733	723,716	△ 17	
計	723,733	723,716	△ 17	

平成22年度監査報告

平成22年度東北地区大学図書館協議会監査報告

1. 日 時：平成23年9月6日（火）13：30～15：30
2. 場 所：東北大学附属図書館
3. 監査対象：平成22年9月1日～平成23年8月31日
4. 監査結果：

東北地区大学図書館協議会会則第7条に基づき、東北地区大学図書館協議会の平成22年9月1日から平成23年8月31日までの収支計算書等について監査を行いました。監査に当っては会計帳簿の調査及び計算書類の検討等通常必要と認められる手続きで実施しました。

監査の結果、上記計算書類は、前事業年度と同一の基準及び手続きに基づき、当該事業年度の収支の状況及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。

平成22年 9月 6日

監査館

福島県立医科大学附属学術情報センター

専門司書

関 本 由美子



石巻専修大学図書館

課長（学生支援担当） 佐藤 彰桂



平成23年度事業計画（案）

- 1 第66回総会の開催
平成23年9月15日(木) 山形大学を当番館に実施
- 2 会誌の刊行
第63号 平成24年5月の予定
- 3 職員の表彰
 - ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
 - ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者
- 4 研修会の開催（国・公・私立大学合同）
開催当番 山形地区の予定
- 5 東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソン・セミナーの開催
- 6 記念事業基金の造成
平成23年度通常会計から記念事業基金(97,500円)を繰り入れ予定

[平成23年度予算書(案)]

自 平成23年9月1日
至 平成24年8月31日

項目	22年度予算額	23年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	288,161	411,301	123,140	
会 費	975,000	975,000	0	平成23年度会費64館分、平成23年度新規加入館1館分
雑 収 入	160,239	160,166	△ 73	
計	1,423,400	1,546,467	123,067	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	450,000	0	会誌第63号
総会補助費	200,000	200,000	0	第66回(山形大学)100,000円 第67回(東北大学、前渡し金)100,000円
事業費	285,000	285,000	0	合同研修会、表彰関係、地域講習会補助(図書コース等)
部会活動費	150,000	150,000	0	研修部会及びウェブサイト運用部会旅費等
事務費	60,000	60,000	0	山形大学(当番館)東北大学
通信運搬費	20,000	20,000	0	郵送料等
積立繰入金	97,500	97,500	0	記念事業基金に繰入
会議費	30,000	30,000	0	幹事会(2回)
消耗品費	10,000	10,000	0	会誌送付用封筒等
雑費	30,000	30,000	0	会計監査交通費
予備費	90,900	213,967	123,067	
計	1,423,400	1,546,467	123,067	

[平成23年度記念事業基金予算書(案)]

自 平成23年9月1日
至 平成24年8月31日

項目	22年度予算額	23年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	626,034	723,716	97,682	
積立金	97,500	97,500	0	通常会計から繰入
利息	199	199	0	普通預金利子(199円)
計	723,733	821,415	97,682	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	723,733	821,415	97,682	
計	723,733	821,415	97,682	

協議題（国立・公立・私立大学部会）

1. 常任幹事館の選任について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

【提案理由】

常任幹事館の任期満了に伴うものである。

協議題（総会）

第67回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

（提案理由）

(1) 宮城地区が当番となっているので、確認願いたい。
東北地区大学図書館協議会総会当番地区(館)予定

(平成21年9月17日承認)

回	年度	当番地区	会場大学	備考
64	21	宮城	仙台百合女子大学	
65	22	秋田	国際教養大学	
66	23	山形	山形大学	
67	24	宮城		
68	25	青森		
69	26	岩手		
70	27	宮城		
71	28	福島		
72	29	秋田		
73	30	宮城		
74	31	山形		

注：会場大学については、当該地区において協議のうえ、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

(2) 開催地区のローテーションの確認について

① 宮城地区は、他地区より大学の数が多いので
3年に1回割り振る。
② その他の地区は、次のローテーションによる。
青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

協議題（総会）

平成23年度合同研修会について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

（提案理由）

山形地区が予定になっているので、確認願いたい。
東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

(平成12年9月20日承認)

年度	当番地区	会場大学	備考
21	岩手	岩手県立大学	
22	秋田	秋田大学	
23	山形		
24	福島		
25	宮城		
26	青森		
27	岩手		
28	秋田		
29	山形		
30	福島		

注：会場大学の決定については、当該開催地区において協議するものとする。

平成23年度東北地区大学図書館協議会

フレッシュ・パーソン・セミナー開催要項(案)

1. 趣旨

東北地区の大学等の図書館職員として採用された職員が、最初に受ける地区全体の研修として位置づける。所属機関を問わず必要とされる図書館職員としての基本的な知識を身につけると同時に、地区内の職員との交流の機会を設け、人的ネットワークの形成を促すことを目的とする。平成17年度に1回目、平成19年度に2回目、平成21年度に3回目のセミナーを開催しており、今回が第4回目の開催となる。

2. 対象者

東北地区大学図書館協議会に加盟している大学等の図書館に採用及び配属等されて概ね2年未満の職員(非常勤職員を含む。)とする。

3. 開催時期

○○月○○日(○)

4. 主催

東北地区大学図書館協議会

5. 事務局

東北大学附属図書館

6. 実施経費

開催経費は東北地区大学図書館協議会が負担する。
参加者の旅費等は、各大学法人等の負担とする。

7. セミナー内容

図書館職員としての基礎知識及びカレントトピックス

8. その他

「国立大学図書館協会フレッシュ・パーソン・セミナー開催計画(企画案)」に基づき、東北地区に限定して実施するものである。

第66回 東北地区大学図書館協議会総会提出議題
提案図書館名 宮城大学総合情報センター

協議事項(総会)

案 件	<p>① 公立大学協会図書館協議会総会において「岩手、宮城、福島の被災地の子供達に希望を与える目的で予備費から震災支援活動費を支出する」ことが決定され、決定の経緯と活動予定の内容について報告させて頂く。</p> <p>② 国立大学法人、私立大学において本学で検討しているのと同様の被災地支援活動を既に行っている、あるいは行う予定があれば今後の活動の参考にいたたく、各大学からご教示頂きたい。</p> <p>③ 公立大学協会のみならず国立・私立大学も含めて本学の活動の支援等(支援の内容は費用のみならず、人的・施設的な部分も含めて広くとらえて頂きたい)をいただけないか。</p>
	<p>本年度に兵庫で開催された公立大学協会図書館協議会総会で『本協議会として岩手、宮城、福島の被災地の子供達に希望を与える目的で予備費から震災支援活動費を支出する』ことが決議され、宮城大学として以下の意見を述べさせて頂きました。今回の東北地区大学図書館協議会ではこの点に関してもご議論頂きたく存じます。宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p>1) 支援額 100 万円では僅かな書籍しか購入できず、500 km に及ぶ被災地への支援としては効果も少ないと思われる。本資金を基に被災三県に『震災復興図書館』を設立し、子供用の書籍や震災関連資料(重複本など)は全国の図書館等から集めて被災地へ届けるシステムを構築する方が遥かに有効と思われる。</p> <p>2) 当初議論された支援額は 100 万円でしたが、『今回は可能な限りの額を支出すべきであり、繰越金を次年度に残す必要はない事』を提案し、多くの方々から賛同頂きました。</p> <p>3) 『具体的な運営方法に関しては三県の担当者に一任する』との合意を頂きましたので、三県の担当者と相談して具体的な作業を始めたい。</p> <p>4) 宮城大学では『震災復興図書館』の設立を希望しており、本協議会からの支援をこの活動と併せて有効な支援活動につなげたい。尚、宮城大学では被災地へ支援物資を届ける為の運搬車両を確保しており、これを書籍運搬車として利用することが可能である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第66回 東北地区大学図書館協議会総会提出議題
提案図書館名 弘前大学附属図書館

承認事項(総会)

案 件	図書館における飲食物規制について
提 案 理 由	本学では、図書館内での飲食は禁じているが、利用者からの要望もあり、蓋付きの容器に入った飲み物等について規制緩和の検討を始めて行きたいと考えている。各図書館の取り組みや工夫についてお聞きし、参考としたい。

協 議 題 (国立・公立・私立大学部会)

1. 幹事館の選任について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

【提案理由】

幹事館の任期満了に伴うものである。

協 議 題 (公立・私立大学部会)

2. 監事館の選任について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

【提案理由】

幹事館の任期満了に伴うものである。

第66回東北地区大学図書館協議会総会議事要録

開会の挨拶

山形大学図書館担当副学長 安田弘法

皆さん、こんにちは。山形大学で図書館担当副学長をやらせてもらっております安田弘法でございます。よろしくお願ひいたします。私ごとで恐縮ではございますが、半月前の9月1日より、山形大学理事を兼任しております。前図書館担当副学長の小山先生の業務を引き継いでおります。どうぞよろしくお願ひいたします。

皆さんご存知のように、この度の東日本大震災は、東北地方に甚大なる被害を及ぼしました。被災されました数多くの方々に、心からお悔やみ申しあげます。

本日は、東北各地から、ここ米沢にお越しいただき、誠にありがとうございました。ご存知の方も多いかと思いますけれども、山形大学は四つのキャンパスがございます。そして、各々のキャンパスに図書館がございます。ここ米沢は工学部のキャンパスで、一昨年のNHK大河ドラマ「天地人」で一躍有名になった土地でもございます。結城学長のご挨拶もあるかと思いますが、山形大学の研究の売りのひとつでもございます有機ELのメッカでもあり、世界的な研究拠点が立ち上がっているところでございます。是非見学していただければありがたいと思っております。

第66回の図書館協議会での話題を簡単にご紹介して、ご挨拶に代えさせていただきます。昨年9月に国際教養大学で開催されました会議の次期当番校挨拶で、山形大学の小山先生が「死にかけている大学図書館を、10年後、20年後に存続意義がある図書館にもっていきたい。次回の総会では、そのきっかけを作りたい。」との思いを語っておられます。この発言を受けまして、今回の講演会は名古屋大学附属図書館の松浦先生から「大学図書館の未来を設計する：アイデアの勝負」と題しましたご講演がございます。そして、その後の三つの部会で今後の附属図書館のあり方について意見交換をしていただければありがたいと考えております。この部会報告を受けまして、全体会議でも、更に意見交換していただければ嬉しく考えております。

今後の大学附属図書館のあり方につきましては、昨年のこの会議での国際教養大学の勝又館長の閉会のご挨拶にもございますけれども、また多くの図書館会議でも取り上げている話題でもございます、世の中の変化がとても早い昨今、時代に対応しつつ変えるべき部分と変えない部分をしっかりと見極めて対応をとることが大切と思っております。せん越ですが、私は生態学を専門にして

おります。現在、生き残っている生物は、環境に適応した生物のみです。大きくて一世代を風靡しました恐竜も絶滅しました。環境、即ち時代が必要としていることも十分把握しながら、長期展望のもとに図書館の未来設計ができましたら嬉しい限りです。

最後になりますが、お忙しいところ貴重なご講演をしていただきます松浦先生に、心から御礼申し上げます。更に、本日の会議を開催するにあたりまして、常任幹事館の東北大学の職員の皆様はじめ、幹事館及び山形県の大学附属図書館の職員の皆様に多大なるご尽力をいただきました。心から御礼申し上げます。半日の会議ではございますが、実り多い会議になりますことを祈念しまして、簡単でございますが、ご挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

歓迎のことば

山形大学 学長 結城章夫

山形大学長の結城でございます。私からも、この度の大震災で被災されました数多くの皆様方に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。

山形県内の被害は比較的小さかったのですけれども、大変残念なことに、本学でも宮城県出身の2人の学生が亡くなっています。また、ご家族やご実家が被災したり、原発事故によって避難している学生も、全部合わせると300名程になっておりまして、これら被災学生への物心両面での支援には、大学として全力をあげているところであります。

また、工学部のありますこの米沢キャンパスを中心に、校舎や研究設備にも被害がありました。ここ工学部図書館では、図書類の落下のほか、電動書架が動作不能になるなどの被害がありましたが、関係者の努力によりまして、4月中旬に一部が復旧し、6月中旬には全館で開館しております。各大学図書館の皆様におかれましても、大学自体に、あるいは、学生、教職員、そしてご家族に大きな被害を受けられた状況の中で、早期の図書館開館に向けて、大変なご努力をなされたことと拝察をいたしております。

本日の第66回東北地区大学図書館協議会総会も、関係の皆様の大変なご努力により、開催することができるようになりました。皆様のご尽力に対して、深く敬意を表したいと存じます。また、ホスト校の山形大学を代表して、皆様を心から歓迎申し上げたいと思います。

言うまでもありませんが、図書館は、大学の教育研究

の要として、大変重要な機能を果たしております。しかし、その図書館は、現在震災復興の他にも、様々な課題を抱えております。運営の効率化、電子化への対応、電子ジャーナルの契約の問題、新たな学習環境の整備、そして専門職員の育成のこと等であります。山形大学でも様々な改革を進めてまいりました。一例を申し上げますと、先程、安田先生からもお話がありましたように、本学は四つのキャンパスに分かれた分散キャンパスであります、各キャンパスにある図書館が、学生にとってより身近な存在になり、また、各キャンパスの教育・研究の特色にそった柔軟な運営が可能となるように、メインキャンパスにある中央図書館と他のキャンパスの三つの分館という従来の姿から、これを各々キャンパスごとに独立した四つの図書館という形に改組いたしました。現在は、更に、先程あげました諸課題を解決するために、図書館機能のハード面、ソフト面の向上を目指した取り組みを続けているところであります。

山形は、今、芋煮会のシーズンであります。この総会後の懇親会では、ここでしか食べられない、米沢牛の芋煮が準備されていると聞いております。皆様におかれましては、この後、活発な議論を交わしていただきますことと、また、和やかにご懇談、懇親を深めていただきまことをお願い申し上げまして、私からの歓迎の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

常任幹事館挨拶

東北大附属図書館 館長 野家 啓一

ただ今、ご紹介いただきました、常任幹事館東北大附属図書館長の野家でございます。

本日は、第66回東北地区大学図書館協議会総会に、遠方から、また、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございました。また、このような素晴らしい会場を提供いただきました山形大学の結城学長、並びに図書館担当副学長の安田先生に厚く感謝を申し上げます。先程ご紹介がありましたが、この米沢の地は大変歴史と伝統のある町でありますし、山形大学工学部も由緒ある建物を持った素晴らしいキャンパスを擁しております。この様な場所で、今日は少し暑いようですが、秋のよき日に総会を開けること、大変嬉しく存じております。

結城先生、安田先生から言及がありましたが、今年の3月11日の東日本大震災に際しましては、特に岩手、宮城、福島の三県を中心にして様々な被害がございました。心よりお見舞いを申し上げますとともに、各々の図書館でも復旧作業に大変なご努力をなされたことと思います。

私のいる東北大学でも、大学全体で約100万冊近くの本が落ちいたしまして、その復旧作業にだいぶ時間をとられましたが、幸い学生ボランティアが大きく活躍していただきまして、連休明け、大学の授業が一ヶ月遅れで始まりましたが、その時までには通常通りとはいきませんでしたが、開館できる体制を整えました。

ただ、落ちた本が破損しまして、修復作業がまだこれからなのですが、実は昨日、アメリカ議会図書館Library of Congressで修復部門の責任者をしておられるアンドリュー・ローズ先生をお招きしまして講演会を開きました。建物や閲覧室はだいたい修復が終わっているのですが、落下して破損した本や、その他、漏水によって水浸しになった本がありまして、修復について様々な最新の技術を紹介していただきました。アメリカでは、洪水、特にハワイの洪水のことを紹介していただきました。この前のハリケーン「カテリーナ」で水浸しになった本を、このローズさんのグループではフリーズドライにして乾かすという最新の技法で修復なさったそうで、私はフリーズドライといえば、スープとか味噌汁しか知らないのですが、本を乾かすと普通ゆがんでしまうのですが、フリーズドライにすると、きちんとゆがまないで修復ができるというお話を聞いて、我々もこれからいろんな機器を備えなければならないなどと考えておるところでございます。

そうした最新の技術に限らず、先ほど安田先生からお話をありましたように、図書館を取り巻く環境は非常に厳しくなっておりましますし、また、環境に適応しないと絶滅危惧種になってしまいます。大学図書館の基本というのは、研究支援、学習支援、それから社会貢献、この三つの柱があると思われますが、研究支援の方は、最近は電子ジャーナルや電子ブックが大幅に普及いたしまして、ただ電子ジャーナルに関しては価格の高騰化というのが非常に大きな問題でございます。ただ、それを除けば、ほとんどの研究者や先生方は研究室において、図書館の様々な情報にアクセスできる環境が整えられています。それゆえに、特に理系の研究者の中には、もう電子ジャーナルさえあれば図書館の建物はいらないという極端なことを言う先生もおられますけれども、研究環境はそれでいいとして、学習環境の方はますます図書館を必要としているというのが現実だろうと思います。東日本大震災に際しても、直後から学生が図書館に訪ねて来てくれまして、何か手伝うことがないかとか、いろいろと助力を申し出でていただいて、我々も感激をした次第です。それから、実は6月14日に私ども東北大附属図書館が、お陰様で100周年を迎えました。ただ、その当時は、まだ修復が完全ではありませんでしたので、来月記念式典を行うこ

とになっております。6月14日に利用者の方々にメッセージを書いていただき、記念グッズを差し上げるイベントをしたんですが、その中には、学生さんですが「毎日図書館を利用しています。図書館に出来れば住みたい」などというメッセージがあつて、我々は感激した次第です。学生の居場所、アメニティースペース、快適空間、そういう場所に次第に図書館が変わりつつある。我々の学生時代の図書館というのは、「静謐」という張り紙があつて、静かに本を読む場所で飲食なんかはもつてのほかという時代でした。最近は、どこの大学でも飲食ができるようなスペースを設けているし、カフェやレストランを併設しているという図書館も増えてきております。また、様々な学習機能、静謐に本を読むだけではなく、学生がグループでディスカッションをしたり、資料を探したりしながら共同学習やグループ学習ができるようなスペース、これはラーニング・コモンズと言いますけれども、日本でも松浦先生がおられる名古屋大学が日本のさきがけですが、ラーニング・コモンズを設置する大学も増えてきておりまし、私ども東北大学も今準備中でございます。

また、もう一つは、ラーニング・コモンズに対して、アメリカの大学ではティーチング・コモンズという、つまりラーニング=学生の学習スペース。ティーチング・コモンズは教員が教材開発や資料作りができるようなスペースを図書館の中に設けるという試みで、最近ですが、九州大学で図書館の中に教材開発センターを設置して動き始めたという最新の情報がございました。教材開発、あるいは先生方の授業資料の作成と、図書館がこれから大きく関わっていくことになるだろうと思いますし、東北大学でも、これまで学生が情報検索の手引きになるような『東北大学生のための情報検索のすすめ』という小冊子を発行してまいりましたが、それに加えて、今の学生は情報検索だけして、あとはレポートの書き方も知らないということが多くなって、図書館職員のご努力でレポートの書き方の指導、集めた情報を、どのように整理して一つのアイデアを展開することができるのか、レポート作成のお手伝いも図書館でやれるような形で講習会を開いておりまして、大変好評でございます。

これから、図書館が研究支援、学習支援、社会貢献、様々な面で良い方向に変貌しながら、環境に適応してサバイバルをはからなければならない時代に入っていると思います。そういう事柄を、この協議会は国・公・私立、普通は各々に分かれて協議会を持っている訳ですが、この東北地区の大学図書館協議会は国・公・私立が一堂に会して議論を戦わせ、今後の図書館のあり方について情

報交換したり、あるいは、新たな方向をディスカッションする大変貴重な機会でございます。全国的にも、この4月から、主に電子ジャーナル問題を契機として「ジャスティス（JUSTICE）」国・公・私立をまとめたコンソーシアムが発足いたしました。それを契機に、これまでの障壁、国・公・私立の間にあった障壁、各々抱えている問題や事情は異なりますけれども、協力し合えることは協力し合って、これから大学図書館の未来像を作つていければと考えておりますので、からの総会、部会で大いに議論を戦わせていただければと思います。

簡単にとはいきましたが、これで私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

議長団選出

議長団選出は、慣例により総会当番地区である山形地区から選出することとなっているため、国立大学では山形大学安田副学長、公立大学では山形県立保健医療大学伊橋図書館長、私立大学では東北文教大学伊藤図書館長の3名が選出された。

総 会

司会者（山形大学矢口涉外部社会連携・図書・情報課長）から、各議長の紹介及び総会の議事進行に関する説明があった。

2 協議事項

① 新規加盟館について

新規加盟申請があつたため、報告事項に先立ち、東北公益文科大学メディアセンターの加盟について協議を行い、承認された。

1 報告事項

① 平成22年度会務報告について

（東北大学 米澤総務課長）

総会資料（以下「資料」という。）の5頁から6頁に基づき、次のとおり報告があった。

1) 平成22年度末加盟館数

国立15館、公立大学12館、私立大学37館 計64館となっている。（平成23年8月31日現在）

2) 平成22年度東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

平成23年7月29日（金）に、秋田大学附属図書館を会場として開催された。参加者数は、国・公・私立加盟22館31名であった。

【基調講演】

「図書館を災害から守る～東日本大震災にあたって」

講師 青木 瞳 氏

（国文学研究資料館准教授）

【テーマ別情報交換会】

- ① 図書館資料の保存・管理
 - ② 安全な図書館の作り方
 - 3) フレッシュ・パーソンセミナーの開催について
隔年で開催することから、平成22年度は実施しなかった。
 - 4) 会誌の発行
東北地区大学図書館協議会誌第62号は、平成23年6月に450部発行し、加盟64館及び国立国会図書館等関係機関等へ発送した。
 - 5) 幹事会について
幹事会は2回開催された。
 - 第1回：平成23年8月2日（火）
第66回総会及び部会の運営について
(会場：東北大学附属図書館)
 - 第2回：平成23年9月15日（木）
第66回総会及び部会の運営について
(会場：山形大学工学部)
 - 6) 記念事業基金の造成について
平成22年度の通常会計から、記念事業基金として、会費の10%の97,500円を繰り入れた。
 - 7) 平成22年度会計監査について
平成23年9月6日（火）に、東北大学附属図書館において、会計監査館の福島県立医科大学及び石巻専修大学による会計監査を受けた。
- ② 平成22年度一般報告及び各部会報告について
議長から、平成22年度一般報告は、国・公・私立大学共通事項である。各加盟館には、事前にメール等で送付しており、資料の7頁から9頁を参照することで、報告は省略することとした旨説明があった。
また、今年度本協議会職員表彰の推薦があり、不採択とした審査内容について、常任幹事館から、資料21頁に基づき報告があった。
- 【部会報告】
- 国立部会報告
国立部会報告は、資料10頁から14頁を参照することで報告は省略された。
 - 公立部会報告
公立部会報告は、資料15頁から17頁を参照することで報告は省略された。
 - 私立部会報告
私立部会報告は、資料18頁から20頁を参照することで報告は省略された。
- ③ 研修部会からの報告について
研修部会主査(八戸大学・八戸短期大学)から、資料22頁から25頁に基づき報告があった。

④ ウェブサイト運用部会からの報告について

常任幹事館から、資料26頁から28頁に基づき報告があった。

2 協議事項

② 平成22年度決算報告（案）について

常任幹事館から、資料31頁に基づき報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

③ 平成22年度記念事業基金決算報告（案）について

常任幹事館から、資料32頁に基づき報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

④ 平成22年度会計監査報告について

平成23年9月6日（火）に、東北大学附属図書館において、会計監査館の福島県立医科大学及び石巻専修大学による監査が実施され、その結果について、石巻専修大学の佐藤監査員から、資料33頁に基づき報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

⑤ 平成23年度事業計画（案）について

常任幹事館から、資料34頁に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

⑥ 平成23年度予算（案）について

⑦ 平成23年度記念事業基金予算（案）について

常任幹事館から、資料35頁に基づき、「平成23年度予算（案）」及び「平成23年度記念事業基金予算（案）について」提案があり、一括審議の結果、原案どおり承認された。

⑧ 常任幹事館の選任について

常任幹事館から、資料36～38頁に基づき、提案理由について説明があり、東北大学を選任した。

また、幹事館及び会計監査館については、各部会での協議により選任のうえ、全体会議にて各部会から報告することとなった。

⑨ 第67回総会の当番地区（館）について

常任幹事館から、資料39頁に基づき、提案理由について説明があり、次回当番地区が宮城地区であること及び当番館が東北大学に決定していることについて確認された。

⑩ 平成23年度合同研修会について

常任幹事館から、資料40頁に基づき、提案理由について説明があり、当番地区が山形地区であることについて確認された。

なお、詳細については、研修部会と相談して決めることとした。

- ⑪ フレッシュ・パーソンセミナーの開催について
常任幹事館から、資料41頁に基づき、提案理由について説明があり、承認された。
なお、詳細については、研修部会と相談して決めることとした。
- ⑫ その他
- 1) 総会の協議事項
宮城大学から、資料42～43頁に基づき、「全国公立大学協会図書館協議会総会において決議された『本協議会として岩手、宮城、福島の被災地の子供達に希望を与える目的で予備費から震災支援活動費を支出する』について」の提案理由について説明があり、今後、同大学が行う活動への理解及び協力要請があった。
- 2) 総会の承合事項について
常任幹事館から、弘前大学から提案のあった「図書館における飲食物規制について」に係る加盟館における現状等について、別冊資料に取りまとめたものを配布しているので、ご覧いただきたい旨報告があった。

講 演 会

「大学図書館の未来を設計する：アイデアの勝負」

講師 松浦 好治 氏

(名古屋大学附属図書館長)

名古屋大学附属図書館長 松浦好治氏から、主に以下の内容により講演いただいた。

【概要】

- 現在、情報科学を駆使して法律面の仕組みを変える方法について研究している。
- 図書館業が転機を迎えており、変革の時代は、それにどの様に対応するか考えなければ生き残れないだろう。
- ウィキペディアをどうするか。ほとんど注が付いていない。オリジナルのプライマリーソースがない。ウィキペディアに負けない仕組みを作るためのアイデアを出す必要がある。また、アイデアを図書館職員から出してもらうためには、アイデアを出す環境を整える必要がある。
- 国内外の図書館でやっているものとの比較が重要。
- 教員や学生の行動パターンを仔細に記録し、より便利なものを図書館側が提供することが重要。
- レファレンス（調査能力）については、出来合いの検索エンジンのみの紹介だけでは不足。当該データベース等を使うことによって、研究者にどの様に有

益かといったことを知らせることが重要。また、全国の大学における共通の問題を解決するために、固定観念を打破して、外国語に堪能な人材を、携帯電話等を利用して活用することも有益。

- 藏書については、国会図書館には無い地域の歴史文書等、自館で持っている有益な情報を探し出すアイデアが必要。資料は保存するだけのものではなく、使うためのもの。
- 使われない倉庫をもつのは非効率であり、ラーニングコモンズに活用した方がよい。
- 日常業務の他に、アイデアを出すことが重要。「必要は発明の母」。

【質疑応答】

Q： 重複図書等々の蔵書整理を考えているが、特に文系の教員から廃棄に対して反対意見が多く苦慮している。説得するヒントがあれば、ご教示いただきたい。

A： バックアップの仕組みを構築することが必要。使っていない施設に入れる方法もある。いきなり廃棄するとなると、ショックが大きいため、例えば、20年保管し、その後に廃棄するといった手法も試みるべき。一つ一つ真面目に考え、正面から議論し、本音で取り組まないとだめ。今は高度経済成長期と違い、1人に拒否権は認められない時代。図書館内のスペースは、三分の二が死んでいる。

Q： 今までの図書館は、博物館的な図書館であった。図書館と博物館の機能を分けるべきか。

A： 本を廃棄して空いた箇所に、博物館的な資料を入れると良い。ノーベル賞受賞者の実験ノートや、実験器具、本が一緒にあった方がよい。図書館と博物館は分けずに、一緒の方が良いと考えるが、組織的には難しいと考えられる。図書館は紙だけを置くということに限定する必要はない。

Q： 知的好奇心について。

A： 先日、エルゼビアが主催する「電子ブックの使い方についての研修会」が、オーストラリアのシドニーで開催され、図書館職員に対して参加を勧めた。英語が出来なくても良いが、質問に対しては英語での対応が出来ないと困るので、大学の予算で通訳を用意した。図書館職員には旅行代理店を使わずに自力で現地へ行き、また、資料については、事前に主催者側へ送付を依頼し、取り寄せてから出発するよう指示した。一般人の図書館ツアーには参加せずに、どの様にカタログを取っているのか等の裏話を直接聞いて来るよう勧めた。帰

国後は報告会を開催した。「百聞は一見に如かず」の例えのごとく、見て比較することが大切。知的好奇心やアイデアを出させるために、更には海外に出させるためには、ある程度大学側で奨励する必要がある。

Q：電子ジャーナル高騰問題に対して、日本の図書館はどうのように対応したらよいか。

A：ジャスティスのコンソーシアムが発足した。パッケージ型のみでなく、少しやり方を変える。名古屋大学では、来年度電子ジャーナルが維持できない。2013年は持たないので、パッケージ型の購入を止める予定。全国共通の仕組みが必要だが、ILLは体力が弱っていて期待できない。どこまで強化できるか。十分な人脈を持っていない大学院の研究生や、若手の研究者は論文入手が困難であるうえ、1論文当たり3,000円強の高額な料金を支払うことは、研究者にとっては難しい。1論文当たり3,000ドルの投稿料を支払うことは、いつまでも継続出来るとは思えない。国際的な独占企業であるエルゼビアに係る問題については、きれいな解決方法は無いと考えている。

全体会議

1 各部会からの報告

■ 国立大学部会（福島大学 高橋学術情報課長）

① 幹事館の選任について

常任幹事館に東北大学、幹事館に山形大学を選任した。

② その他

図書館の権限、サービスの工夫、人材育成の方法等について意見交換を行った。

また、講演の感想として、図書館長のイニシアチブの重要性に対し、多くの意見が述べられた他、東北大学からはコミュニケーションの重要性についての意見が述べられた。

■ 公立大学部会（青森県立保健大学 小野主幹）

① 幹事館及び監査館の選任について

幹事館に福島県立医科大学、監査館に山形県立保健医療大学を選任した。

② その他

各大学の現状及び現在取り組んでいること(将来取り組みたいことを含む)について意見交換を行った。各大学の特色ある取組みが紹介されたが、小規模な大学においては、職員が短期間で配置換えとなるため、将来構想を立てることが困難であるとの意見もあった。

■ 私立大学部会（仙台大学 佐藤図書館長）

① 幹事館及び監査館の選任について

幹事館に東北文教大学及び東北薬科大学、監査館に岩手医科大学を選任した。

② その他

各大学の現状等について意見交換を行った。学習支援を中心とする大学が多く、1年生を対象にした初年次教育により効果を上げている事例等の紹介があり、職員と教員の相互協力の必要性について、種々意見交換が行われた。

2 質疑応答

質疑はなく、全体会議を終了した。

次期当番館挨拶

東北大学附属図書館 館長 野家 啓一

次期当番館を引き受けました、東北大学附属図書館長の野家でございます。来年、平成24年度、67回目になりますか、ちょうど宮城地区が当番地区に当たっておりまして、他の大学にも声をかけて、引き受けられるところがあればお願いしたいと思っていたのですが、最終的に東北大学がお引き受けすることになりました。

前回、東北大学がお引き受けしたのは昭和60年です。四半世紀振りにお引き受けすることになりましたので、我々としても前の時の知識は全くありませんが、なんとか頑張りたいと思っています。

実は、最初にも申し上げましたが、今年、東北大学100周年にあたっておりまして、来月記念の催しをするのですが、そういう意味では今年の方がよかったのかなとも思いましたが、まだやはり、図書館、川内キャンパスは震災の影響から立ち直ったとはいえ、未だ中に入れない建物等もあり、ピロティーの柱が修復中だったり、旧図書館である資料館は屋根に青いビニールシートが掛っていたりという状態ですので、一年後の来年ならば、なんとかキャンパスもきれいな姿をお見せできるのではないかと思いますので、101周年の年度になりますが、皆様をお迎えできることを楽しみにしております。

それから、同時に、今図書館を中心にして、東北大学では、先程震災復興というお話が出ましたが、大震災のアーカイブというものを作ろうということで、全学的に働きかけて様々な部局のご協力を得ながら、今、震災の記録を集積するという仕事。これには5年や10年はかかると思うのですが、来年、その一端でも、少しご紹介することができればと思います。

それから、図書館では、震災以降、毎月一回防災訓練

を実施しておりますので、来年皆様がいらっしゃっている時に地震が起こっても、安全については万全を期しますので、大丈夫でございます。ただ、米沢牛に対抗できる何かがあるか、先程考えておったところです。今は、ちょっと沿岸部、漁港が壊滅的な状態で、いつもは食べられる美味しい魚介類も、あまり手に入らない状態ですが、来年には多分漁港も正常に戻るんじゃないかと思いますし、仙台牛ではちょっと米沢牛に対抗できませんので、海産物で皆様をおもてなし出来ればと思っています。それから、東北大学農学部で酵母菌を培養してつくった「萩丸」というお酒と地ビールがありますので、総会のみならず、懇親会の方でも皆様に楽しんでいただけたと思っております。

一年後になりますが、皆様を仙台の地にお迎えできることを楽しみしておりますので、よろしくお願いします。

終了にあたって

議長を代表し、当番館である山形大学の安田副学長から、本総会を開催するにあたり、ご尽力いただいた常任幹事館及びご助力いただいた幹事館の福島大学、青森県立保健大学、盛岡大学、仙台大学に対し、謝辞が述べられた。

閉会のあいさつ

山形大学図書館担当副学長 安田 弘法

私、本来無口で口下手なんですけれども、こんなに人前に出て挨拶をさせていただくというのは、生まれてはじめてございます。

本日は、長時間にわたり、たいへん貴重な議論まことにありがとうございました。この様に本日の会が円滑に運営できて、実に実り多い会となりましたのは、常任幹事館の東北大学をはじめ、さらには山形県の大学附属図書館の職員のみなさんや関係各位のご尽力の賜物です。心から御礼申し上げます。

開会のご挨拶でも紹介させていただきましたが、今は図書館の運営に関して多面的な改革も必要な時期にきていると思っております。

本日は、松浦先生の貴重なご講演から、アイデア勝負の重要性を再認識させていただきました。国立の図書館の部会でも出たのですけれども、あんなに凄い館長がおられるとたまりません。私は、図書館担当副学長をやらせていただいて15日ですけれども、もう辞めたいなと思うぐらい凄いエネルギーな館長の松浦先生に、多面的に勉強させていただきました。

更に、部会や全体会議で先程ご紹介がございましたけ

れども、図書館の現状など、多面的な意見交換、情報交換をさせていただいたところでございます。今後は、いただきましたご意見、アイデアなども参考に、図書館の運営について、いろいろな改革に向けて一歩踏み出していただければありがたいと考えております。

また、次回以降、この会議で照合事項として各図書館いろいろな工夫をされている分野があるように思います。そういうことのご紹介もしていただければ、ありがたいと考えております。

大学附属図書館は、これまでも、今も、これからも、大学にとって、更には地域社会にとって必要不可欠な存在でございます。今後も皆さんからのお知恵をいただき、キラリと光る大学附属図書館に出来たらうれしく思います。

本日は、長時間にわたり、討論大変ありがとうございました。これで総会を終了したいと思います。

第66回東北地区大学図書館協議会総会出席者名簿

(国 立)

大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
弘 前 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 長	長 谷 川 成 一
	学 術 情 報 部 長	膝 館 俊 広
	学 術 情 報 課 長	工 藤 弘 文
岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	情 報 メ デ ィ ア セン ター 長 (兼図書館長)	西 崎 滋
	情 報 メ デ ィ ア 課 長	佐 藤 貢
東 北 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 長	野 家 啓 一
	事 務 部 長	片 山 俊 治
	総 務 課 長	米 澤 誠
東北大学附属図書館 医学部分館	事 務 長	長 井 孝 行
宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 長	渡 邊 徹
	学 術 情 報 課 長	佐 々 木 義 则
秋 田 大 学 附 属 図 書 館	附 属 図 書 館 長	立 花 希 一
	図 書 館 ・ 情 報 推 進 課 長	川 村 真
山 形 大 学	学 長	結 城 章 夫
	図 書 館 担 当 理 事	安 田 弘 法
	涉 外 部 長	佐 竹 正 行
	涉 外 部 社 会 連 携 ・ 図 書 ・ 情 報 課 長	矢 口 清
山 形 大 学 小 白 川 図 書 館	図 書 館 長	高 橋 和
	課 長	細 谷 美 千 枝
山 形 大 学 工 学 部 図 書 館	図 書 館 長	米 竹 孝 一 郎
山 形 大 学 農 学 部 図 書 館	図 書 館 長	高 橋 敏 能
福 島 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 長	高 橋 隆 行
	学 術 情 報 課 長	高 橋 喜 一
計		23

(公 立)

大学図書館名	職名	氏名
青森県立保健大学附属図書館	主幹	小野由美
岩手県立大学メディアセンター	教育研究支援課長	藤田芳男
宮城大学総合情報センター	総合情報センター長	井上正康
	総務課企画グループ 主任主査	佐藤尚志
	司書	石黒こずえ
秋田県立大学図書・情報センター	図書館長	鈴木司
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	ライブラリーチーム チームリーダー	勝浦栄子
国際教養大学図書館	図書館長	伊橋光二
山形県立保健医療大学附属図書館	図書館管理主査	須貝貴美子
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	事務長	金澤啓一
会津大学情報センター附属図書館	専門司書	関本由美子
福島県立医科大学附属学術情報センター		
計		11

(私 立)

大学図書館名	職 名	氏 名
八戸大学・八戸短期大学図書館	事務室長(司書)	小松良重
青森中央学院大学・同短期大学図書館情報センター	司 書	鳴海晴海
岩手医科大学附属図書館	分 館 長	松政正俊
	総務課図書係長	芳賀真理子
富士大学図書館	調査役	高橋直樹
盛岡大学図書館	図書館長	春日菜穂美
	事務室長	八木融子
岩手看護短期大学図書館	学長兼図書館長	小川英行
仙台大学附属図書館	図書館長	佐藤幹男
仙台白百合女子大学図書館	図書館長	太田將勝
	図書館事務長	生出登
石巻専修大学図書館	図書館長	羽田紘一
	事務課長	佐藤彰桂
東北学院大学中央図書館	図書館長	中川清和
	図書情報課長	早坂孝司
	図書情報課係長	須田充彦
東北工业大学附属図書館	図書館長	高橋恒夫
東北福祉大学図書館	図書館長	高橋美由紀
	図書館次長	石田信孝
	課長補佐	重松積男
東北薬科大学附属図書館	課 長	菅原健士
仙台青葉学院短期大学図書館	司 書	酒井麻紀
東北生活文化大学・同短期大学部図書館	司 書	村山智美
東北芸術工科大学図書館	事務長代理	佐藤涼子
羽陽学園短期大学附属図書館	図書館長	柏倉弘和
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	図書館長	伊藤弘昭
	司 書	小形真喜子
いわき明星大学図書館	学術情報支援室 室長補佐 グループ長	片見智子
奥羽大学図書館	事務職員	佐藤夏美
郡山女子大学図書館	司書係長	和知剛

(私 立)

大学図書館名	職 名	氏 名
日本大学工学部図書館	図書館長	野田吉弘
東北公益文科大学メディアセンター	メディアセンター長	三原容子
	メディアセンター 主 事	剣持真弓
計		33
合 計		67

図書館統計年報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数		蔵書冊数					平成 22 年度増加冊数			平成 22 年度 図書 購入費
		図書館職員	内臨時職員	和書	洋書	計	内開架図書	内指定図書	和書	洋書	計	
弘前大学	6,102	20	11	489,185	160,050	649,235	139,096	-	7,126	1,427	8,553	20,060
(〃医学部分館)	1,569	5	3	99,143	74,367	173,510	38,737	-	929	665	1,594	4,398
岩手大学	9,089	27	14	663,465	196,220	859,685	-	-	5,590	1,319	6,909	20,743
東北大学	18,215	56	28	1,479,813	1,132,335	2,612,148	168,622	-	28,180	10,331	38,511	146,930
〃 医学分館	4,476	19	12	173,358	258,357	431,715	431,715	-	4,252	2,009	6,261	18,878
〃 北清薬山分館	3,356	10	6	78,603	300,294	378,897	-	-	1,896	2,954	4,850	16,186
〃 工学分館	5,355	18	9	168,396	178,972	347,338	284,893	-	3,906	1,733	5,638	18,085
〃 農學分館	1,279	4	2	77,060	61,906	138,966	138,966	-	2,380	590	2,970	12,731
宮城教育大学	2,934	10	3	291,462	48,209	339,671	319,027	-	5,409	188	5,597	8,843
秋田大学	4,688	19	12	294,120	110,647	404,767	294,998	-	6,890	1,008	7,898	14,802
〃 医学部分館	1,648	7	5	48,091	56,292	104,383	-	-	1,484	528	2,012	6,012
山形大学小山川図書館	7,626	15	8	526,730	184,022	710,752	161,267	-	4,572	1,809	6,381	32,441
〃 医学部図書館	1,195	5	2	37,963	65,429	103,392	103,392	0	953	84	1,037	5,511
〃 工学部図書館	3,259	6	3	111,800	56,572	168,372	69,058	0	1,369	384	1,753	12,263
〃 農業学部図書館	969	3	1	78,143	17,545	95,688	13,966	0	1,295	107	1,402	4,221
福島大学	7,218	21	9	627,231	228,399	855,630	118,546	-	10,157	1,651	11,808	32,717
青森公立大学	3,337	4	2	118,237	43,786	162,023	162,023	1,449	1,209	32	1,241	12,143
青森県保健大	1,850	7	4	77,167	23,419	100,586	100,586	-	3,432	154	3,586	12,521
岩手県立大学	6,425	10	3	221,990	59,643	281,633	-	-	3,397	216	3,613	7,856
宮城大学和キャンパス	2,192	6	4	81,351	14,309	95,660	65,662	370	6,080	654	6,734	17,991
〃 太白キャンパス	943	5	4	51,392	5,867	57,259	45,092	531	3,261	96	3,357	6,628
秋田県立大学	4,879	9	7	174,361	40,042	214,403	159,785	1,936	8,096	1,439	9,535	19,492
秋田公美工短	1,194	1	1	33,147	7,504	40,651	-	-	1,564	110	1,674	4,000
国際教養大学	4,055	2	0	20,042	43,680	63,722	55,274	-	714	314	1,028	11,460
山形保健医大	890	6	5	52,814	6,540	59,354	-	-	2,110	44	2,154	4,211
米沢女子短大	1,144	3	2	97,402	7,495	104,897	99,129	-	806	8	814	2,367
会津大学短大	2,446	9	4	56,540	70,108	126,648	70,895	0	1,089	259	1,348	3,634
会津大学短大	443	2	1	66,470	7,241	73,711	-	-	1,029	0	1,029	2,493
福島県立医大	3,400	13	3	122,845	93,632	216,477	201,128	0	3,198	1,016	4,214	70,320
青森大学	2,729	4	1	135,947	22,205	158,152	0	0	1,084	37	1,121	1,780
東北女子大学	559	2	0	32,949	4,436	37,385	37,385	0	462	59	521	3,052
八戸大学	1,636	3	1	146,106	13,865	159,971	81,500	1,160	1,530	114	1,644	5,000
八戸工業大学	2,512	6	2	102,710	26,002	128,712	25,437	-	798	207	1,005	3,434
弘前学院大学	1,280	2	0	82,859	18,694	101,553	101,553	-	1,323	61	1,384	3,931
青森中央学院大学	1,585	9	5	71,078	4,551	75,629	58,620	-	1,563	1	1,564	3,846
岩手医科大学	4,966	16	7	139,800	134,766	274,566	245,306	1,044	2,566	-396	2,170	12,699
富士大学	1,225	5	1	154,233	30,223	184,456	48,399	229	3,553	459	4,012	6,627
盛岡大学	2,081	7	1	144,158	22,282	166,440	69,801	0	2,797	149	2,946	8,905
修紅短期大学	206	2	1	13,284	280	13,564	10,189	3,095	298	16	314	805
岩手看護短大	183	4	0	18,501	2,349	20,850	24,540	-	436	4	440	343
仙台大学	1,120	2	0	91,063	16,150	107,213	0	0	2,904	226	3,130	3,853
仙台白百合女子大	1,446	8	4	79,979	9,870	89,849	89,849	647	3,056	104	3,160	13,889
石巻専修大学	3,496	5	0	101,899	58,456	160,355	-	-	2,064	789	2,853	8,033
東北学院大学中央	7,602	31	23	449,761	298,036	747,797	34,438	-	10,685	3,947	14,632	78,810
東北学院大学多賀城	2,776	8	6	94,846	58,659	153,505	153,381	-	2,017	651	2,668	15,548
東北学院大学泉	6,100	15	12	210,689	98,726	309,415	148,791	-	7,641	2,230	9,871	51,740
東北工業大学	2,977	8	1	178,668	53,774	232,442	63,217	-	5,533	626	6,159	16,203
東北福祉大学	4,058	14	2	273,595	66,550	340,145	145,000	0	6,238	830	7,068	48,112
東北文化学園	1,982	2	2	98,389	17,147	115,536	84,435	0	4,721	144	4,865	8,690
東北薬科大学	2,036	6	3	59,556	41,603	101,159	101,159	-	1,450	439	1,889	6,421
宮城学院女大	3,215	5	5	289,199	103,076	392,275	48,440	709	7,571	802	8,373	27,073
尚絅学院大学	2,338	13	-	104,493	20,441	124,934	107,816	641	3,167	63	3,230	10,834
聖和学園短大	428	2	1	52,650	1,281	53,931	51,162	0	575	0	575	1,647
仙台青葉学院短大	214	1	1	8,237	168	8,405	8,405	0	1,745	10	1,755	-
東北生活文化大学	660	2	1	61,382	5,359	66,741	66,741	0	923	20	943	3,521
ノースアジア大学	1,689	4	1	146,843	28,384	175,227	90,602	-	1,027	59	1,086	3,108
東北芸工大学	2,155	2	0	127,674	15,324	142,998	142,998	0	4,925	609	5,534	11,118
羽陽学園短大	705	2	0	54,209	2,347	56,556	56,556	-	1,188	15	1,203	3,418
東北文教大学・同短大	1,533	5	2	107,243	8,380	115,623	67,922	479	2,120	5	2,125	5,494
東北公益文科大学	1,517	6	4	86,059	10,050	96,109	82,652	206	2,882	36	2,918	7,406
いわき明星大	4,943	2	0	186,043	54,372	240,415	66,902	-	7,286	334	7,620	30,862
奥羽大学	2,635	7	0	145,523	92,581	238,104	238,104	-	1,442	703	2,145	4,598
郡山女子大学	1,651	4	0	97,579	14,328	111,907	100,000	0	1,358	235	1,593	4,092
東日本国際大	1,221	3	0	68,377	10,137	78,514	78,514	-	1,523	3	1,526	3,744
日本大工学部	5,006	14	9	215,864	121,307	337,171	337,171	0	2,134	510	2,644	8,360
桜の聖母短大	642	2	1	46,770	9,190	55,960	55,960	0	1,164	206	1,370	2,933
福島学院大学	2,190	6	3	70,870	5,594	76,464	76,464	-	1,364	23	1,387	3,128

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成 22 年度分)

図書館名	図書館利用状況										文献複写						
	対象学生数	学生				対象職員数	教職員				学内分	学外分	計				
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出								
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数							
弘前大学	人 6,969	人 -	冊 -	人 17,616	冊 35,594	人 2,688	人 -	冊 -	人 1,119	冊 2,524	件 475	件 2,726	件 3,201				
(〃医学部分館)	-	-	-	8,343	14,268	-	-	-	901	1,809	233	3,273	3,506				
岩手大学	6,056	-	-	-	34,642	957	-	-	-	3,370	2,581	1,987	4,568				
東北大学	18,673	-	-	74,233	152,760	9,084	-	-	6,912	19,661	5,637	4,271	9,908				
〃医学分館	2,709	-	-	9,051	14,619	3,402	-	-	1,199	2,276	623	17,947	18,570				
〃北青葉山分館	2,970	-	-	8,689	14,721	662	-	-	804	1,376	2,316	2,352	4,668				
〃工学分館	6,901	-	-	21,697	43,030	1,435	-	-	1,494	2,947	150	2,513	2,663				
〃農学分館	1,028	-	-	-	6,836	181	-	-	-	799	1,057	1,423	2,480				
宮城教育大学	1,693	-	-	13,943	30,140	256	-	-	1,003	4,527	97	524	621				
秋田大学	5,241	-	-	9,973	23,276	2,601	-	-	607	2,003	1,615	560	2,175				
〃医学部分館	1,341	-	-	7,191	12,082	1,393	-	-	836	2,856	2,247	3,957	6,204				
山形大学小白川図書館	3,511	-	-	19,856	41,942	3,162	-	-	1,334	3,026	253	1,632	1,885				
〃医学部図書館	1,161	-	-	4,477	8,013	1,619	-	-	1,150	2,086	157	4,092	4,249				
〃工学部図書館	3,838	-	-	9,197	17,840	405	-	-	583	1,263	74	520	594				
〃農学部図書館	659	-	-	2,153	3,781	128	-	-	154	245	25	259	284				
福島大学	4,684	-	-	17,767	41,225	601	-	-	1,442	6,633	7,302	1,460	8,762				
青森公立大学	1,364	-	-	5,519	11,195	63	-	-	400	1,082	-	80	80				
青森県保健大	920	-	-	11,261	31,181	424	-	-	962	3,201	5,749	1,891	7,640				
岩手県立大学	2,580	-	-	8,746	17,865	543	-	-	1,629	4,435	2,346	1,074	3,420				
宮城大学大和キャンパス	1,348	-	-	1,116	20,442	240	-	-	101	3,556	5,028	1,767	6,795				
〃太白キャンパス	552	-	-	3,194	5,677	105	-	-	547	1,285	813	284	1,097				
秋田県立大学	1,869	-	-	-	28,187	479	-	-	-	7,286	1,248	763	2,011				
秋田公美工短	353	-	-	-	6,962	61	-	-	-	1,380	164	56	220				
国際教養大学	1,139	-	-	-	11,416	192	-	-	-	1,439	6	62	68				
山形保健医大	421	-	-	3,595	6,955	168	-	-	623	1,251	1,684	811	2,495				
米沢女子短大	673	31,066	-	5,011	9,659	109	1,177	-	356	783	562	92	654				
会津大学	1,318	-	-	2,407	4,311	164	-	-	387	776	111	694	805				
会津大学短大	330	-	-	2,007	4,729	162	-	-	502	2,735	61	2	63				
福島県立医大	1,094	-	-	8,734	16,277	2,377	-	-	1,628	3,745	-	3,768	-				
青森大学	1,367	-	-	-	1,098	143	-	-	-	303	289	191	480				
東北女子大学	396	8,301	-	-	592	96	1,542	-	-	809	1,964	0	1,964				
八戸大学	843	16,122	-	2,248	6,576	168	630	-	446	1,381	1,071	278	1,349				
八戸工業大学	1,437	-	-	420	848	237	-	-	77	160	-	257	257				
弘前学院大学	744	-	-	2,063	4,056	175	-	-	404	1,513	408	4	412				
青森中央学院大学	1,190	-	-	693	4,825	125	-	-	81	953	-	400	400				
岩手医科大学	2,065	-	-	3,619	6,578	3,055	-	-	2,437	5,844	-	-	-				
富士大学	981	8	13	1,068	2,151	141	12	31	295	641	-	358	-				
盛岡大学	2,085	44,127	-	6,144	14,039	297	1,079	-	531	1,425	1,436	191	1,627				
修紅短期大学	178	-	-	178	909	62	-	-	-	6	16	1	17				
岩手看護短大	247	41	56	709	1,121	102	32	74	51	94	55	0	55				
仙台大学	2,407	0	0	2,577	4,503	280	0	0	100	300	-	-	-				
仙台百合女子大	1,204	-	-	3,106	5,979	109	-	-	210	429	354	43	397				
石巻専修大学	2,021	-	-	2,759	4,648	142	-	-	403	1,299	-	535	535				
東北学院大学中央	12,635	-	-	9,868	19,091	1,089	-	-	1,529	3,722	5,770	669	6,439				
東北学院大学大多賀城	12,635	-	-	3,903	7,058	1,089	-	-	745	1,444	966	259	1,225				
東北学院大学大泉	12,635	-	-	13,481	22,502	1,089	-	-	1,394	2,795	4,054	276	4,330				
東北工業大学	3,184	-	-	4,762	8,863	259	-	-	736	1,571	139	2	141				
東北福祉大学	5,520	0	0	17,307	33,596	1,202	0	0	975	2,194	1,037	663	1,700				
東北文化学園	2,195	-	-	5,464	7,514	201	-	-	709	1,681	4,469	167	4,636				
東北薬科大学	2,095	-	-	1,879	3,380	197	-	-	409	1,100	2,155	107	2,262				
宮城学院女大	3,536	-	-	12,821	24,857	469	-	-	1,074	2,457	1,232	1,903	3,135				
尚絅学院大学	1,859	-	-	5,246	11,123	244	-	-	841	2,221	594	32	626				
聖和学園短大	573	9,415	-	1,152	1,818	142	1,176	-	176	433	1,744	5	1,749				
仙台青葉学院短大	340	-	-	640	1,075	51	-	-	192	482	71	166	237				
東北生活文化大学	575	-	-	1,740	3,816	124	-	-	440	796	335	0	335				
ノースアジア大学	968	-	-	956	1,771	125	-	-	313	807	125	51	176				
東北芸工大学	2,150	-	-	12,005	28,464	217	-	-	1,016	3,134	2,559	152	2,711				
羽陽学園短大	260	-	-	1,695	4,130	66	-	-	91	394	-	41	41				
東北文教大学・同短大	774	54,246	-	4,034	7,098	194	-	-	289	528	-	4	4				
東北公益文科大学	713	-	-	-	6,972	96	-	-	-	1,987	458	274	732				
いわき明星大	1,948	-	-	7,350	14,625	364	-	-	825	1,962	1,186	302	1,488				
奥羽大学	1,097	34,455	-	2,646	4,122	484	14,766	-	1,319	2,257	819	377	1,196				
郡山女子大学	1,054	-	-	-	2,366	156	-	-	-	1,167	430	132	562				
東日本国際大	971	8,900	-	987	1,638	179	1,260	-	318	826	36	236	272				
日本大工学部	5,012	95,467	-	5,941	12,753	431	2,664	-	704	2,450	375	901	1,276				
桜の聖母短大	401	24,300	-	2,500	5,369	52	1,696	-	459	1,005	-	13	13				
福島学院大学	1,207	-	-	2,055	3,654	131	-	-	257	423	105	5	110				

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成 22 年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費	
				受付数			内購入分					
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	冊数	金額	
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
(〃医学部分館)	14,469	3,908	18,377	2,403	284	2,687	518	243	761	25,987	249	424
岩手大学	4,089	2,505	6,594	807	314	1,121	106	214	320	33,473	850	1,502
東北大学	8,700	2,131	10,831	6,125	331	6,456	386	145	531	12,304	1,013	1,809
〃 医学分館	25,295	16,863	42,158	5,228	2,870	8,098	1,250	1,894	3,144	189,507	6,063	1,835
〃 北青葉山分館	4,763	9,003	13,766	1,236	1,444	2,680	386	1,246	1,632	12,512	2,993	4,975
〃 工学分館	2,216	7,105	9,321	800	1,335	2,135	95	416	511	2,547	1,964	3,993
〃 農学分館	3,474	4,438	7,912	926	737	1,663	216	481	697	4,980	1,527	2,615
宮城教育大学	3,847	1,893	5,740	1,126	347	1,473	144	240	384	1,760	929	1,541
秋田大学	3,066	724	3,790	761	91	852	440	91	531	8,579	229	491
〃 医学部分館	6,506	2,571	9,077	984	186	1,170	286	158	444	12,947	398	680
山形大学小白川図書館	1,599	1,660	3,259	614	146	760	146	116	262	11,574	770	1,355
山形大学小白川図書館	9,830	3,145	12,975	2,078	230	2,308	405	173	578	10,855	63	104
〃 医学部図書館	3,239	2,235	5,474	1,144	445	1,589	241	341	582	42,152	0	0
〃 工学部図書館	1,882	1,331	3,213	350	65	415	64	27	91	7,308	278	493
〃 農学部図書館	1,201	406	1,607	421	22	443	100	16	116	1,598	270	350
福島大学	10,361	3,074	13,435	2,978	322	3,300	669	210	879	22,135	1,640	2,979
青森公立大学	211	131	342	211	131	342	186	131	317	19,194	300	593
青森県保健大	926	263	1,189	554	134	688	246	127	373	18,064	100	200
岩手県立大学	523	659	1,182	484	659	1,143	467	659	1,126	23,225	1,000	1,953
宮城大学太白キャンパス	2,185	632	2,817	285	81	366	231	80	311	12,088	0	0
〃 太白キャンパス	1,797	259	2,056	583	83	652	142	60	202	7,469	50	100
秋田県立大学	2,975	1,112	4,087	1,065	259	1,324	417	221	637	27,728	1,201	2,338
秋田公美工短	96	66	162	68	32	100	66	32	98	1,678	0	0
国際教養大学	121	180	301	74	101	175	61	80	141	2,978	109	211
山形保健医大	999	210	1,209	735	159	894	97	83	180	6,839	0	0
米沢女子短大	333	61	394	118	19	137	87	19	106	2,367	41	88
会津大学	519	829	1,348	267	129	396	80	129	209	24,422	0	0
会津大学短大	94	89	183	90	20	110	90	20	110	2,128	0	0
福島県立医大	4,474	2,960	7,434	972	273	1,245	268	201	469	54,928	1,633	3,081
青森大学	215	201	416	169	10	179	140	8	148	5,122	0	0
東北女子大学	314	21	335	69	19	88	69	19	88	3,062	127	382
八戸大学	853	113	966	835	76	911	195	65	260	6,500	0	0
八戸工業大学	860	611	1,471	155	97	252	155	97	252	7,914	205	387
弘前学院大学	744	47	791	112	40	152	112	40	152	4,227	151	256
青森中央学院大学	178	53	231	169	51	220	166	51	217	6,647	0	0
岩手医科大学	5,237	2,759	7,996	1,630	295	1,925	379	175	554	16,049	1,323	3,555
富士大学	2,825	225	3,050	1,214	50	1,264	132	50	182	4,993	0	0
盛岡大学	2,830	243	3,073	911	56	967	164	56	220	5,885	12	24
修紅短期大学	52	1	53	52	1	53	38	0	38	409	47	99
岩手看護短大	190	52	242	57	6	63	54	6	60	1,197	83	183
仙台大学	1,295	160	1,455	128	59	187	128	59	187	6,843	366	732
仙台百合女子大	305	101	406	229	92	321	212	91	303	9,795	164	344
石巻専修大学	14	2	16	302	124	426	274	122	396	16,792	937	1,714
東北学院大学中央	7,489	2,049	9,538	1,739	383	2,122	362	335	697	26,382	567	1,100
東北学院大多賀城	1,750	1,326	3,076	757	208	965	266	178	444	32,069	343	699
東北学院大泉	2,772	934	3,706	7,668	2,232	9,900	6,160	1,956	8,116	40,749	516	1,000
東北工业大学	1,185	605	1,790	687	223	910	219	203	442	24,617	433	19,546
東北福祉大学	4,223	780	5,003	2,168	389	2,557	519	358	877	39,903	598	973
東北文化学園	1,827	198	2,025	271	40	311	134	29	163	4,385	294	500
東北薬科大学	526	452	978	207	96	303	49	82	131	13,895	377	792
宮城学院女大	7,447	856	8,303	1,143	233	1,376	372	197	569	18,472	-	315
尚絅学院大学	869	220	1,089	279	78	357	251	76	327	5,172	74	148
聖和学園短大	853	113	966	835	76	911	195	65	260	6,500	0	0
仙台青葉学院短大	81	15	96	75	9	84	55	9	64	2,038	236	495
東北生活文化大学	180	46	226	86	11	97	81	11	92	2,134	0	0
ノースアジア大学	2,039	288	2,327	985	67	1,052	122	65	187	6,132	150	300
東北芸工大学	299	129	428	152	55	207	142	55	197	3,693	0	0
羽陽学園短大	109	12	121	72	5	77	69	5	74	986	86	185
東北文教大学・同短大	134	35	169	92	10	102	92	10	102	2,958	0	0
東北公益文科大学	124	31	155	97	13	110	71	11	82	1,721	0	0
いわき明星大	802	488	1,290	294	144	438	291	144	435	9,882	393	685
奥羽大学	1,163	1,255	2,418	558	203	761	211	175	386	49,592	1,270	2,163
郡山女子大学	988	91	1,079	157	11	168	145	10	155	3,376	0	0
東日本国際大	230	92	322	645	8	653	111	25	136	2,512	248	499
日本大工学部	1,604	1,345	2,949	313	141	454	290	141	431	24,693	818	1,620
桜の聖母短大	124	34	158	75	14	89	71	13	84	1,481	62	118
福島学院大学	74	17	91	74	17	91	73	17	90	3,217	15	35

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当 番 大 学	回	年	当番地区	当 番 大 学
1	昭和 22	宮 城	東 北 大 学	41	61	島 島	福 島 県 立 医 科 大 学
2	23	"	東 台 工 業 専 門 学 校	42	62	秋 田	秋 田 大 学
3	24	"	東 北 学 院 大 学	43	63	東 北	東 北 学 院 大 学
4	24	"	東 北 大 学	平成			
5	25	岩 山	岩 手 大 学	44	元	山 形	大 学
6	26	山 青	山 青 大 学	45	2	青 岩	大 学
7	27	福 福	福 福 大 学	46	3	富 宮	大 学
8	28	秋 秋	秋 宮 大 学	47	4	山 石	修 大 学
9	29	宮 田	宮 田 大 学	48	5	郡 村	子 大 学
10	30	城 城	城 城 女 子 大 学	49	6	東 秋	藥 濟 法 大 学
11	31	手 手	手 手 医 科 大 学	50	7	秋 田	經 済 大 学
12	32	山 形	山 形 大 学	51	8	山 东	形 工 大 学
13	33	秋 田	秋 田 大 学	52	9	青 森	業 立 大 学
14	34	青 前	青 前 大 学	53	10	盛 岡	大 公 短 期 大 学
15	35	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学	54	11	岡 城	· 盛 岡 大 学
16	36	宮 北	宮 北 大 学	55	12	宮 奥	羽 県 大 学
17	37	岩 手	岩 手 大 学	56	13	秋 東	福 田 大 学
18	38	福 島	福 島 大 学	57	14	山 青	形 福 大 学
19	39	宮 北	宮 北 大 学	58	15	山 田	青 森 大 学
20	40	秋 田	秋 田 大 学	59	16	青 宮	城 明 大 学
21	41	山 形	山 形 大 学	60	17	宮 岩	立 星 大 学
22	42	東 北	東 北 大 学	61	18	岩 い	大 百 合 大 学
23	43	秋 前	秋 前 大 学	62	19	わ 台	仙 国 大 学
24	44	青 州	青 州 大 学	63	20	白 仙	明 妃 大 学
25	45	福 北	福 北 大 学	64	21	百 國	養 妃 大 学
26	46	宮 立	宮 立 大 学	65	22	際 北	大 学
27	47	秋 田	秋 田 大 学	66	23		
28	48	山 城	山 城 大 学	67	24		
29	49	弘 前	弘 前 大 学	68	25		
30	50	東 岩	東 岩 大 学	69	26		
31	51	福 福	福 福 大 学	70	27		
32	52	秋 田	秋 田 大 学	71	28		
33	53	山 城	山 城 大 学	72	29		
34	54	青 森	青 森 大 学	73	30		
35	55	宮 前	宮 前 大 学	74	31		
36	56	岩 手	岩 手 大 学				
37	57	福 城	福 城 大 学				
38	58	秋 城	秋 城 大 学				
39	59	山 城	山 城 大 学				
40	60	弘 手	弘 手 大 学				
		岩 手	岩 手 大 学				
		宮 城	宮 城 大 学				

※ 第 64 回総会において第 65 回から 74 回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧【第46回（平成3）～第66回（平成23）】

	常任幹事館	幹事館 (国立)	幹事館 (公立)	幹事館 (私立)	会計監査館 (公立)	会計監査館 (私立)	審査委員館 (国立)	審査委員館 (公立)	第62回総会から 論文審査館(平成19年8月まで)
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大学 東北大学 岩手大学	東北大学 福島県立社会津短期大学 宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城学院女子大学 宮城県農業短期大学	東北福祉大学 宮城県農業短期大学	東北大学 岩手大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学	日本大学工学部	東北工業大学 日本大学工学部
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学 東北大学 宮城教育大学	東北大学 会津大学短期大学部 会津大学	東北福祉大学 いわき明星大学	東北学院大学 宮城県農業短期大学	東北大学 秋田大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経営法科大学	八戸工業大学 秋田経営法科大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学 東北大学 秋田大学	東北大学 会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学 宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学	仙台大学 郡山女子大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学 東北大学 福島大学	東北大学 会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学 宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学	仙台大学 郡山女子大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学 東北大学 山形大学	東北大学 福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学 宮城学院女子大学	宮城学院女子大学 宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立美術工芸短期大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大学 盛岡大学	仙台大学 盛岡大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学 東北大学 弘前大学	東北大学 山形県立保健医療大学	仙台百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学 秋田県立大学	東北福祉大学 東北大学	東北大学 弘前大学	宮城県農業短期大学 宮城県農業短期大学	八戸大学 東北工業大学	八戸大学 東北工業大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学 東北大学 岩手大学	東北大学 秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城大学 仙台百合女子大学	仙台百合女子大学 東北大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学 東北大学 宮城教育大学	東北大学 官城大学	東北学院大学 岩手医科大学	岩手県立大学 東北福祉大学	東北大学 東北大学	東北大学 秋田大学	青森県立保健大学 青森公立大学	仙台大学 郡山女子大学	仙台大学 郡山女子大学
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学 東北大学 秋田大学	東北大学 岩手県立大学	青森県立保健大学 盛岡大学	青森県立保健大学 仙台大学	東北学院大学 東北大学	東北大学 秋田大学	青森県立保健大学 福島大学	東北福祉大学 郡山女子大学	東北福祉大学 郡山女子大学
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学 東北大学 山形大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学 仙台大学	福島県立医科大学 石巻専修大学	東北大学 秋田大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学 青森県立保健大学	仙台大学 盛岡大学	仙台大学 盛岡大学
第66回総会 (H23.9～H25.8)	東北大学 東北大学 山形大学	東北大学 福島県立医科大学・東北文教大学短期大学部	東北薬科大学 東北文教大学・東北文教大学短期大学部	山形県立保健医療大学 岩手医科大学	東北大学 山形大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学 福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北文教大学短期大学部	東北薬科大学 東北文教大学・東北文教大学短期大学部

東北地区大学図書館協議会研修部会委員名簿

(任期 22. 9. 1 ~ 24. 8. 31)

推薦母体	氏 名	所属大学・役職等	備 考
国立部会	檜原 啓一	東北大学附属図書館工学分館 整理係	22. 9. 1~ 23. 3. 31
	小清水 裕子	東北大学附属図書館医学分館整理・ 整理係	23. 4. 1~ 24. 8. 31
	飯沼 邦恵	秋田大学附属図書館図書情報担当 主査	
公立部会	小野 由美	青森県立保健大学附属図書館主幹	22. 9. 1~ 24. 3. 31
	山田 奈々	青森県立保健大学附属図書館主査	24. 4. 1~ 24. 8. 31
私立部会	小松 良重	八戸大学・八戸短期大学図書館 事務室長	22. 9. 1~ 24. 3. 31
	磯邊 寿子	八戸大学・八戸短期大学図書館 事務室長	24. 4. 1~ 24. 8. 31
	本間 雅人	東北福祉大学図書館図書課長	

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会委員

(任期 22. 9. 1 ~ 24. 8. 31)

推薦母体	氏 名	所属大学・役職等	備 考
国立部会	堀野 正太	東北大学附属図書館総務課学術 情報支援係	22. 9. 1~ 23. 3. 31
	菊地 良直	"	23. 4. 1~ 24. 3. 31
	柳原 幸子	"	24. 4. 1~ 24. 8. 31
	芦原 ひろみ	福島大学附属図書館学術情報課 主任	
公立部会	西戸 雅博	福島県立医科大学附属学術情報 センター 主任司書	
私立部会	須田 充彦	東北学院大学中央図書館係長	
	和知 剛	郡山女子大学図書館司書係長	

東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、隨時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また隨時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館を置く。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内に置く。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

（略）

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）
この会則は、平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

- 2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
- 3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
- 4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができます。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

- 2 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるものほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
- 3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。

第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。

- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
- (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
- (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。

第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。

第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。

2 推薦は、別紙文書により行う。

3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。

第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。

第6 審査は、会議又はその他の方法による。

第7 推荐調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。

第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。

第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。

第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。

第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。

第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

1 この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。

2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

○ ○ 大学附属図書館長 殿

○ ○ 大学(附属)図書館長

○ ○ ○ ○ 公印

表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

○ ○ ○ ○

別紙(第2条第1号該当者)

表彰者推薦調書

○ ○ 大学(附属)図書館

職名	氏名	生年月日	昭和 平成	年 月 日
推薦理由				
業績等	研究のテーマ 又は調査事項			
	発表集会等名			
	発表年月日			
	掲載誌名及び巻号			
	発行年月日			
	発行機関			
	発表者又は著者名			
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)				
図書館業務歴				

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

別紙（第2条第2号該当者）

表彰者推薦調書

○○大学（附属）図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年月日
推薦理由						
履歴事項						
年月日	勤務内容等（大学等名及び業務）					
～						
～						
～						
～						
～						
～						
～						
～						
加盟館勤務年数計○○年						

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間（業務上の傷病の期間は除く）及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会が実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修の実施
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 国立大学部会から推薦された者 | 2名 |
| (2) 公立大学部会から推薦された者 | 1名 |
| (3) 私立大学部会から推薦された者 | 2名 |

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会研修検討WGは、廃止する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成20年9月18日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 国立大学部会から推薦された者 | 2名 |
| (2) 公立大学部会から推薦された者 | 1名 |
| (3) 私立大学部会から推薦された者 | 2名 |

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成20年9月18日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

平成14年9月20日 第57回東北
地区大学図書館協議会総会決定

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公私立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上の利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回国立
大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回東北
地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 国立大学図書館協会東北地区協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成 12 年 9 月 20 日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成 12 年 9 月 20 日から施行する。

加盟館職員名簿

(平成24年4月1日現在)

【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) 39-3155

FAX番号 (0172) 39-3171

E-mail jm3155@cc.hirosaki-u.ac.jp

館長 (併)教授 長谷川 成一
事務責任者 学術情報部長 奈良岡 芳美
学術情報課長 工藤 弘文

【岩手大学情報メディアセンター図書館】

電話番号 (019) 621-6082

FAX番号 (019) 621-6088

E-mail lsomu@iwate-u.ac.jp

情報メディアセンター長 西崎 滋
(併)副学長 (評価・情報統括担当)
事務責任者 情報メディア課長 三浦 俊弘

【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) 795-5911

FAX番号 (022) 795-5909

E-mail lib-syom@bureau.tohoku.ac.jp

館長 理事 植木 俊哉
副館長 (併)教授 柳澤 輝行
事務責任者 事務部長 井上 修

【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) 717-7973

FAX番号 (022) 717-7982

E-mail lib-med@bureau.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 柴原 茂樹
事務責任者 事務長 長井 孝行

【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) 795-6368

FAX番号 (022) 795-3753

E-mail klib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 岩渕 好治
事務責任者 管理係長 小幡 明子

【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) 795-5892

FAX番号 (022) 795-7120

E-mail elib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 宮城 俊彦
事務責任者 図書館専門員 日出 弘

【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) 717-8882

FAX番号 (022) 274-2127

E-mail alib@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 加藤 和雄
事務責任者 図書係長 松元 義正

【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) 214-3348

FAX番号 (022) 214-3351

E-mail toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

館長 (併)教授 渡邊 徹
事務責任者 学術情報課長 佐々木 義則

【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) 889-2273

FAX番号 (018) 832-4917

E-mail soumu@lib.akita-u.ac.jp

館長 (併)教授 立花 希一
事務責任者 図書・情報推進課長 川村 真

【秋田大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (018) 884-6052

FAX番号 (018) 884-6252

E-mail ibun@lib.akita-u.ac.jp

分館長 (併)教授 阿部 寛
事務責任者 総括主査 加賀谷 龍悦

【山形大学附属図書館】

電話番号 (023) 628 - 4840

FAX番号 (023) 628 - 4849

E-mail k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

図書担当副学長 理事・副学長 安田 弘法

事務責任者 涉外部涉外課長 矢口 清

【山形大学小白川図書館】

電話番号 (023) 628 - 4904

FAX番号 (023) 628 - 4915

E-mail jkasomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 新宮 学

事務責任者 小白川キャンパス事務部

図書課長 細谷 美千枝

【山形大学医学部図書館】

電話番号 (023) 628 - 5054

FAX番号 (023) 628 - 5059

E-mail itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 早坂 清

事務責任者 係長 青野 康雄

【山形大学工学部図書館】

電話番号 (0238) 26 - 3019

FAX番号 (0238) 26 - 3408

E-mail koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 米竹 孝一郎

事務責任者 総務課長 奥山 利弘

【山形大学農学部図書館】

電話番号 (0235) 28 - 2810

FAX番号 (0235) 28 - 2815

E-mail notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 高橋 敏能

事務責任者 係長 土屋 直之

【福島大学附属図書館】

電話番号 (024) 548 - 8082

FAX番号 (024) 548 - 2377

E-mail k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp

館長(副学長) (併)教授 高橋 隆行

事務責任者 学術情報課長(参考) 武内 由美

【青森公立大学図書館】

電話番号 (017) 764 - 1551

FAX番号 (017) 764 - 1591

E-mail lib@bb.nebuta.ac.jp

館長 (併)教授 丁 圈 鎮

事務責任者 主査 戎 未来

〃 図書館専門員 小田 真邦子

【青森県立保健大学附属図書館】

電話番号 (017) 765 - 2011

FAX番号 (017) 765 - 2012

E-mail library@auhw.ac.jp

館長 (併)教授 入江 良平

事務責任者 図書課長 小野 肇

【岩手県立大学メディアセンター】

電話番号 (019) 694 - 2070

FAX番号 (019) 694 - 2071

E-mail ipu-library@ml.iwate-pu.ac.jp

メディアセンター長 (併)教授 斎藤 俊明

宮古短期大学部図書館長 (併)教授 菊池 幸吉

事務責任者 教育研究支援室長 鈴木 清也

【宮城大学総合情報センター】

電話番号 (022) 377 - 8313

FAX番号 (022) 377 - 8383

E-mail tosho@myu.ac.jp

(太白キャンパス図書館)

総合情報センター長 (併)教研究担当理事 井上 正康

事務責任者 事務部学務課教務第1グループリーダー 狩野 靖士

(太白キャンパス図書館)

電話番号 (022) 245 - 1046

FAX番号 (022) 245 - 2214

E-mail f-tosh@myu.ac.jp

総合情報センター長 (併)教研究担当理事 井上 正康

事務責任者 事務部学務課教務第2グループリーダー 首藤 良幸

【秋田県立大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 872-1561
FAX番号 (018) 872-1674
E-mail a_library@akita-pu.ac.jp

図書・情報センター長 理事 小林淳一
事務責任者 事務局次長 長谷部功

【秋田公立美術工芸短期大学附属図書館】

電話番号 (018) 888-8106
FAX番号 (018) 888-8107
E-mail counter@amcac.ac.jp
館長 (併)教授 鈴木司
事務責任者 管理課長(兼)附属図書館事務長
佐藤聰

【国際教養大学図書館】

電話番号 (018) 886-5907
FAX番号 (018) 886-5912
E-mail lib1@aiu.ac.jp
館長 (併)教授 勝又美智雄
事務責任者 教務課長 須田幸子

【山形県立保健医療大学附属図書館】

電話番号 (023) 686-6671
FAX番号 (023) 686-6679
E-mail mhori@yachts.ac.jp
館長 理事 伊橋光二
事務責任者 図書・調整主査 保利真澄

【山形県立米沢女子短期大学附属図書館】

電話番号 (0238) 22-7334
FAX番号 (0238) 24-7998
E-mail tosyo@yone.ac.jp
館長 教授 馬場重行
事務責任者 図書館管理専門員 須貝貴美子

【会津大学情報センター附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2544
FAX番号 (0242) 37-2554
E-mail library@u-aizu.ac.jp
情報センター長 教授 マイケル コーエン
事務責任者 主幹兼事務長 金澤啓一

【会津大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (0242) 37-2458
FAX番号 (0242) 37-2412
E-mail tosho@jc.u-aizu.ac.jp

館長 (併)教授 田中政巳
事務責任者

【福島県立医科大学附属学術情報センター】

電話番号 (024) 547-1687
FAX番号 (024) 547-1996
E-mail lib@fmu.ac.jp
センター長 (併)教授 大平弘正
事務責任者 学術情報室長(併)学生課長
高木正弘

【青森大学・青森短期大学附属図書館】

電話番号 (017) 738-2001 (内) 441
FAX番号 (017) 738-2034
E-mail lib@aomori-u.ac.jp
館長 (併)教授 堀端孝俊
事務責任者 図書館課長 竹内圭子

【東北女子大学附属図書館】

電話番号 (0172) 33-2289 (内) 117
FAX番号 (0172) 33-2486
E-mail tosyo@tojo.ac.jp
館長 (併)教授 佐々木隆
事務責任者

【八戸大学・八戸短期大学附属図書館】

電話番号 (0178) 30-1695
FAX番号 (0178) 30-1737
E-mail isobe@kg.hachinohe-u.ac.jp
館長 (併)教授 矢野峰生
事務責任者 事務室長 磯邊寿子

【八戸工業大学図書館・情報事務室】

電話番号 (0178) 25-8032
FAX番号 (0178) 25-8887
E-mail tosyo@hi-tech.ac.jp
館長 教授 熊谷浩二
次長 教授 鈴木寛
事務責任者 事務長代行・主事 得丸雅夫

【弘前学院大学附属図書館】

電話番号 (0172) 34-5211 (内 153)

FAX 番号 (0172) 38-4071

E-mail sisyo2@hirogaku-u.ac.jp

館長 (併)教授 大野拓哉
事務責任者**【青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター】**

電話番号 (017) 728-0131

FAX 番号 (017) 738-8333

E-mail lib@aomoricgu.ac.jp

図書館情報センター長 (併)教授 加藤澄肇
事務責任者 (併)教育開発推進課長 櫻庭肇**【岩手医科大学附属図書館】**

電話番号 (019) 651-5111

FAX 番号 (019) 625-8030

E-mail tosho@j.iwate-med.ac.jp

館長 (併)教授 武田泰典
分館長 (併)教授 松政正俊
事務責任者 事務室長 菅原良子**【富士大学図書館】**

電話番号 (0198) 22-4986

FAX 番号 (0198) 23-6381

E-mail tosyokan@fuji-u.ac.jp

館長 (併)教授 牧野博
事務責任者 調査役 高橋直樹**【盛岡大学図書館】**

電話番号 (019) 688-5561

FAX 番号 (019) 694-1048

E-mail yagi@morioka-u.ac.jp

館長 (併)教授 春日菜穂美
事務責任者 事務室長 司書 八木融子**【修紅短期大学図書館】**

電話番号 (0191) 24-2211

FAX 番号 (0191) 24-2213

E-mail library@shuko.ac.jp

館長 (併)教授 小室彰
事務責任者**【岩手看護短期大学図書館】**

電話番号 (019) 687-3864

FAX 番号 (019) 687-3894

E-mail library@iwate-nurse.ac.jp

館長 (併)学長 小川英行
事務責任者 (併)講師 三田弥生**【仙台大学附属図書館】**

電話番号 (0224) 55-1399

FAX 番号 (0224) 57-2062

E-mail library@sendai-u.ac.jp

館長 (併)教授 鈴木省三
事務責任者 課長 川村隆**【仙台白百合女子大学図書館】**

電話番号 (022) 374-5090

FAX 番号 (022) 374-4577

E-mail library@sendai-shirayuri.ac.jp

館長 (併)教授 芳野総子
事務責任者 図書館事務長 生出登**【石巻専修大学図書館】**

電話番号 (0225) 22-7718

FAX 番号 (0225) 22-7875

E-mail hiro@isenshu-u.ac.jp

館長 (併)教授 羽田紘一
事務責任者 事務課長 石川栄一**【東北学院大学中央図書館】**

電話番号 (022) 264-6491

FAX 番号 (022) 264-6490

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

館長 (併)教授 中川清和
事務責任者 図書情報課長 早坂孝司**【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】**

電話番号 (022) 368-1206

FAX 番号 (022) 368-0777

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 遠藤孝夫
事務責任者 課長補佐 高橋富士男

【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) 375 - 1174

FAX番号 (022) 375 - 2121

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分 館 長 (併)教 授 森 美智子
事 務 責 任 者 課長補佐 畠 山 和 人

【東北工業大学附属図書館】

電話番号 (022) 305 - 3178

FAX番号 (022) 305 - 3180

E-mail nhayasak@tohtech.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 恒 夫
事 務 責 任 者 事 務 長 早 坂 のり子

【東北福祉大学図書館】

電話番号 (022) 717 - 3319

FAX番号 (022) 717 - 3339

E-mail ishida@tfu-mail.tfu.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 美由紀
事 務 責 任 者 次 長 石 田 信 孝
課 長 本 間 雅 人

【東北文化学園大学総合情報センター図書館】

電話番号 (022) 233 - 3878

FAX番号 (022) 233 - 9453

E-mail lib@office.tbgu.ac.jp

セ ン タ ー 長 (併)教 授 須 藤 论
事 務 責 任 者 副 部 長 長 澤 良 信

【東北薬科大学附属図書館】

電話番号 (022) 727 - 0061

FAX番号 (022) 273 - 5255

E-mail library@tohoku-pharm.ac.jp

館 長 (併)教 授 松 山 雄 三
事 務 責 任 者 事 務 課 長 菅 原 健 士

【宮城学院女子大学図書館】

電話番号 (022) 279 - 5658

FAX番号 (022) 279 - 6077

E-mail library@mgu.ac.jp

館 長 (併)教 授 深 澤 昌 夫
事 務 責 任 者 大学事務部長 井 上 富美子

【尚絅学院大学図書館】

電話番号 (022) 381 - 3440

FAX番号 (022) 381 - 3441

E-mail library@shokei.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 真
事 務 責 任 者

【聖和学園短期大学図書館】

電話番号 (022) 376 - 8257

FAX番号 (022) 376 - 3155

E-mail seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp

館 長 (併)教 授 荒 井 美智子
事 務 責 任 者 司 書 安 田 明 華

【仙台青葉学院短期大学図書館】

電話番号 (022) 369 - 8003

FAX番号 (022) 215 - 0950

E-mail lib@seiyogakuin.ac.jp

館 長 (併)教 授 工 藤 三四郎
事 務 責 任 者

【東北生活文化大学附属図書館】

電話番号 (022) 272 - 7518

FAX番号 (022) 301 - 5601

E-mail library@mishima.ac.jp

館 長 (併)教 授 近 江 惠美子
事 務 責 任 者

【ノースアジア大学附属図書館】

電話番号 (018) 836 - 2406

FAX番号 (018) 836 - 4402

E-mail naulib@nau.ac.jp

館 長 (併)理事長総室長 佐々木 香
事 務 責 任 者 教務学生課マネージャー
進 藤 真紀子

【東北芸術工科大学図書館】

電話番号 (023) 627 - 2044

FAX番号 (023) 627 - 2085

E-mail library@aga.tuad.ac.jp

館 長
事 務 責 任 者 図書館事務長 芳 賀 幹 代

【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 655 - 2385
FAX番号 (023) 655 - 2844
E-mail tosho@uyo.ac.jp
館長 (併)准教授 柏倉 弘和
事務責任者 図書係長 高橋 明子

【東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (023) 688 - 7544
FAX番号 (023) 688 - 6438
E-mail library@t-bunkyo.ac.jp
館長 教授 畠山 孝男
副館長 教授 松田 浩平
事務責任者 課長補佐 半澤 幸子

【東北公益文科大学メディアセンター】

(平成24年4月11日現在)
電話番号 (0234) 41 - 1177
FAX番号 (0234) 41 - 1173
E-mail media@koeki-u.ac.jp
メディアセンター長 (併)教授 三原 容子
事務責任者 事務室長 上田 豊明

【いわき明星大学図書館】

電話番号 (0246) 29 - 7121
FAX番号 (0246) 29 - 5001
E-mail library@iwakimu.ac.jp
館長 (併)教授 井上 知泰
事務責任者 室長補佐・グループ長 片見 智子

【奥羽大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 9061
FAX番号 (024) 932 - 8944
E-mail ohu-lib@jim.ohu-u.ac.jp
館長 安藤 勝
事務責任者 図書部長 伊藤 喜章

【郡山女子大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 4848
FAX番号 (024) 924 - 1394
E-mail wachi@koriyama-kgc.ac.jp
館長 (併)教授 影山 彌彌
副館長 (併)教授 二宮 和比古
事務責任者 司書係長(併)非常勤講師
和知 剛

【東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館】

電話番号 (0246) 35 - 0416
FAX番号 (0246) 25 - 9188
E-mail lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp
館長 (併)教授 北見 正伸
事務責任者

【日本大学工学部図書館】

電話番号 (024) 956 - 8639
FAX番号 (024) 956 - 8869
E-mail osamu@ao.ce.nihon-u.ac.jp
館長 教授 野田 吉弘
事務責任者 図書館事務課長 吉田 正裕

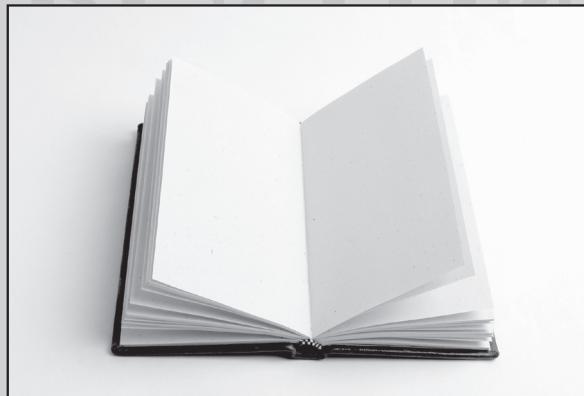
【桜の聖母短期大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 534 - 7137
FAX番号 (024) 531 - 2320
E-mail lib-c@ssjc.ac.jp
館長(センター長) (併)教授 小泉 泰宏
事務責任者 司書 津田 文子

【福島学院大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 553 - 2087
FAX番号 (024) 553 - 8253
E-mail tosho@fukushima-college.ac.jp
館長 (併)准教授 呂 学如
事務責任者 業務課長 佐藤 幸

Smart PLATON



弊社の法人向けインターネット書店である BookWeb Pro/BookWeb Pro SuperVisor の上位版として、*Smart PLATON* が誕生いたしました。

従来の BWP/BWP-SV の制限を解消し、お客様による予算コードの登録 / 更新や発注の集中管理など、お客様の業務フローに寄り添った運用が可能となります。

弊社への注文分のみを管理される場合は、無料でご提供致します。

弊社以外への注文管理を含めたオプション機能の詳細については、営業所までお問い合わせ下さい。

図書館の収書業務の集中化・迅速化に *Smart PLATON* を！

【購入依頼のオンライン化と発注の集中管理】

- ・教官や学生からの購入依頼を、オンラインで受け付けます。

【多彩な選書機能】

- ・紀伊國屋書店提供の出版流通情報データベースから選書が可能です。
- ・コンテンツサーバとリンクし、画像付きの詳細な書誌情報をご確認頂けます。

【あいまい検索を活用した便利な重複調査】

- ・あいまい検索を活用した Smart PLATON の発注履歴との重複調査と、OPAC 公開データとの一括重複調査※ が可能です。

【高度な継続管理機能】

- ・目録装備を踏まえた高度な継続図書管理機能をご提供致します※。

(※印は、追加オプションになります)



ライブラリーサービス営業本部 PLATONセンター
〒153-8504 東京都目黒区下目黒3丁目7番10号
☎ (03) 6910-0535 Fax (03) 6420-1356
E-mail:platon@kinokuniya.co.jp

お問い合わせ先:

東北営業部 仙台営業所

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-6-10仙台北辰ビル

☎ (022) 227-0301 Fax (022) 266-5312

東北営業部 弘前営業所

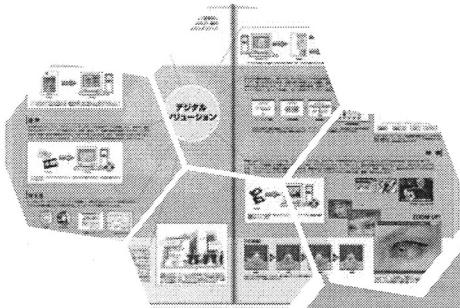
〒036-8001 青森県弘前市大字代官町15第1オフィスビル

☎ (0172) 36-3755 Fax (0172) 36-5649

For the wisdom into the Next.

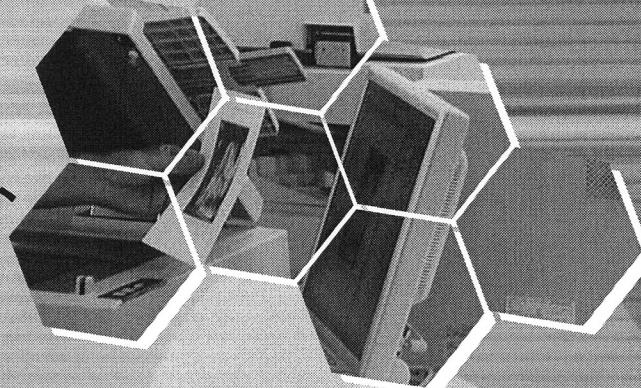
コレクション
ドキュメント
の活用のための

DIGITAL SOLUTIONS



画 像データ作成

機 関リポジトリサポート



長 期保存対策

検 索用メタデータの作成

研究・公開・利用のための、貴重資料や研究成果物などの電子化。

再利用・バックアップ・保管コスト削減のための、書類・図面などのデータ化。

共有・活用、長期保存など、大切な情報資産の有効に欠かせないデジタル化に対し、効率のよいデータ化・コンテンツづくりから、システム構築・Web公開・運用、長期保存対策まで、ワンストップでサポートします。

ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目6-27 TEL:022-284-3045 FAX:022-239-7550

東京本社	〒174-8602	東京都板橋区東坂下2丁目5-1	TEL:03-3558-1251	FAX:03-3558-1260
大阪支社	〒536-0005	大阪市城東区中央2丁目1-23	TEL:06-6930-6668	FAX:06-6935-2667
名古屋支店	〒456-0053	名古屋市熱田区一番2丁目2-6	TEL:052-661-3771	FAX:052-661-3775
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11	TEL:092-641-3661	FAX:092-641-3699

PDFデータ入稿で、原稿を持ち込むことなく製本づくり。
FUERU FINEBOOK: <http://www.fueru.jp/finebook/>

E-mail: toshokan@nakabayashi.co.jp



全面リニューアル！

＜本のネット購入サービス＞

ナレッジワーカー

KNOWLEDGE WORKER

- ✓ 「新」検索エンジン搭載で快適検索！
- ✓ 見やすい、使いやすいインターフェース！



選書を支援する多彩なメニュー！

選書

丸善ならではの多彩な選書メニューをご用意。膨大な情報からお薦め書籍を紹介する「レ command」機能や、最新書籍をお知らせする「アラート」機能など、お客様の本選びをお手伝いします。

気になる入荷状況も一目瞭然！

照会

ご注文書籍の入荷状況が画面上から確認でき、履歴情報のデータ出力も可能です。絶版・品切れ等の状況や出荷情報もメールでご連絡します。

発注

カートへ投入するだけの簡単発注！

在庫・納期の情報や購入履歴との重複チェックを確認して、カートへ投入するだけの簡単発注。注文書作成の手間が無くなり、納期の短縮を実現します。

支払

決済方法を選択でき、お支払いが便利！

予算費目に応じた請求書の発行はもちろんのこと、カードでのお支払いも可能です。カード決済の場合は、画面上で領収書の発行が行え、会計上の手続きが便利です。



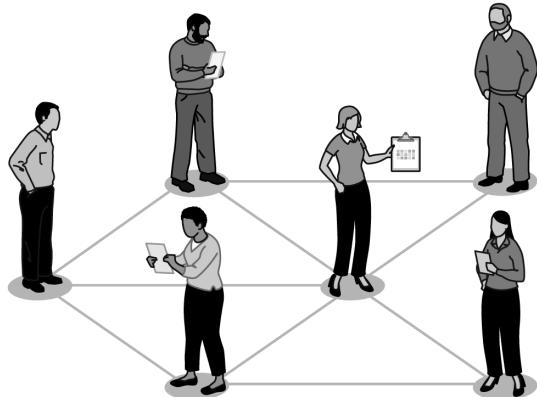
Knowledge Workerのご登録はこちから

<http://kw.maruzen.co.jp/>

 MARUZEN

丸善株式会社 学術情報ソリューション事業部 仙台営業部
〒980-8566 仙台市青葉区太町2-2-10 仙台青葉ウイングビルA棟5階
Tel : 022-222-1133 Fax : 022-265-7516 E-mail : kw-i@maruzen.co.jp

SciVal Expertsは、研究活動を内外に広く発信して グローバルな研究の連携を促進する 研究者のプロファイリングサービスです。



SciVal®

Unlock the promise of your research

機関から提出された研究者のリストを基に、
専用のウェブサイトから機関内の研究者情報を
発信できます

- 著者情報をアルゴリズムと人手により高精度に識別し、専門家を特定
- 学内外の研究ネットワークを把握
- 文献データも継続的に更新
- 元データはエルゼビアの世界最大規模の書誌・引用データベースSciVerse Scopus（サイバース・スコーパス）

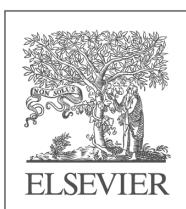
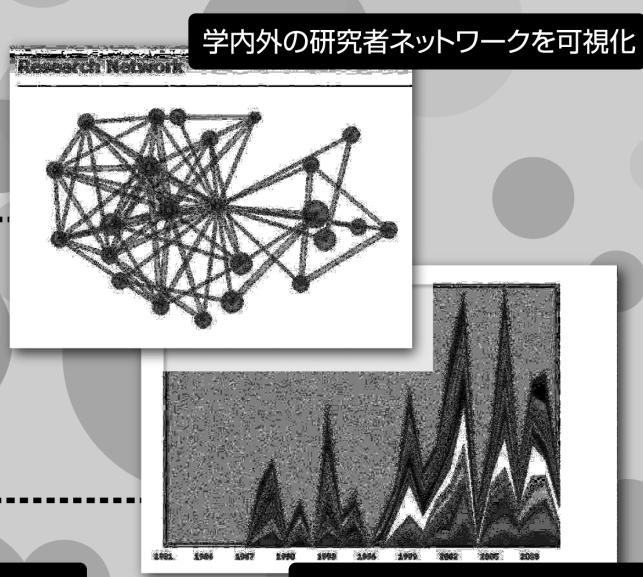
—研究者のプロファイリングサービス— SciVal Experts (サイバル・エキスパート)



ATHENA University

SciVal Experts

著者個人ページで研究概要を俯瞰



お問い合わせ先
エルゼビア・ジャパン株式会社
サイエンス&テクノロジー・ディビジョン

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4階
TEL: 03-5561-5034 FAX: 03-5561-5047
jpinfo@elsevier.com http://japan.elsevier.com/

SciVal

www.scival.com

SciVal Experts

>> home service**>> business**

**NECのモバイルクラウドで、
新しいビジネスやサービスが動き出す。**

>> education**>> life care**

ビジネスや暮らしを、もっと便利に、もっと快適に。NECはクラウドサービスとモバイル端末を組み合わせて、
新たなビジネスモデルや魅力的なサービスをご提供いたします。



Android搭載
クラウドコミュニケーション
LifeTouch B



Android搭載
クラウドコミュニケーション
LifeTouch W

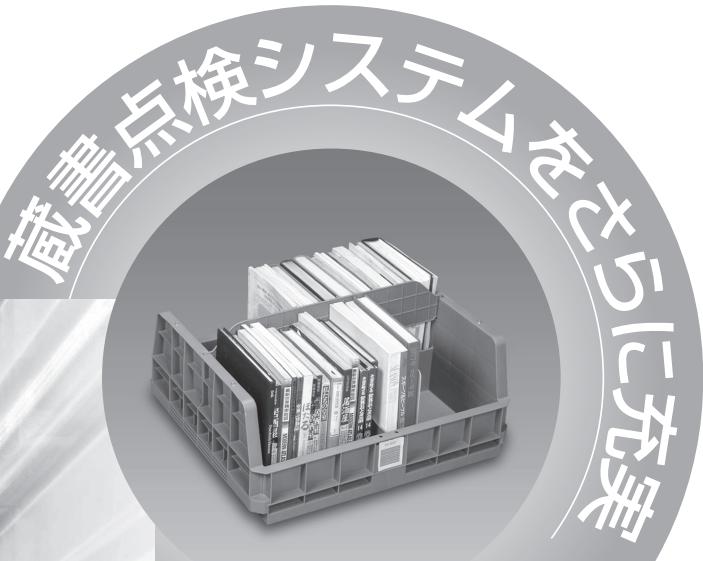


Android搭載
スマートブック
LifeTouch NOTE
ビジネス向けモデル



Auto Lib.

[自動化書庫]



書庫の中の「見える化」を実現。映像システムにより、図書返却直後のコンテナ内図書と書庫データとの照合で、確実な蔵書点検を可能にしました。更にICタグでは、コンテナ内の図書を一括読み取りして、自動確認を極めて高い精度で実現。オートライブならではの短時間で行える蔵書点検システムは、より確実な運用をサポートします。

自動化書庫オートライブの特徴

- 独自の運用システム・管理データにより、従来型書庫では出来なかった新しい利用者サービスの提供
- 出納作業及びカウンター業務の軽減による大幅な省力効果
- 利用者を待たせない高速出納
- 図書・資料の限られた空間への大量保管を実現

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2（新御茶ノ水アーバンビル）
支店／大阪・名古屋 営業所／札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎ 0120-808-977 電話受付／月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

社会科学系学術図書データベース

ゴールドスミス・クレス両文庫所蔵

The Making of the Modern World

The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature 1460-1850



◆ NII コンソーシアム採択データベース ◆

価格・詳細については小社営業部までお問い合わせください。

平成24年度末が申込み締切です。お早めのご検討をお願い申し上げます。

■ 「G-K」の社会科学系図書 61,000 点、定期刊行物 445 点をフルテキスト収録

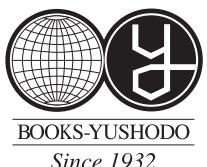
The Making of the Modern World (MoMW) は、1460 年代から 1850 年までの経済学史・経営史・社会思想史を中心とする社会科学関係の書籍 61,000 点、および同年代に創刊された定期刊行物 445 点を収録し、フルテキスト検索を可能にする一大データベースです。収録資料は社会科学系の歴史的コレクションとして最高のものと言われる、ロンドン大学ゴールドスミス文庫とハーバード大学クレス文庫の蔵書を原本としており、総ページ数は 1200 万ページにもおよびます。

■ 新たな研究の地平を切り開くフルテキスト検索

文中の一語一句まで探し当てるフルテキスト検索により、文献のタイトルだけからは推測できない意外なコンテンツの発見や、これまでの調査の網から漏れていた文献を拾い出すことが可能になります。**The Making of the Modern World** は関心のある主題やキーワードに沿ったピンポイントの探索が可能ですので、文学史、女性史、科学技術史など社会・人文科学の広い範囲に応用されることも期待できます。

無料トライアル随时受付中

小社HP www.yushodo.co.jp/y_mome にて詳細な情報を掲載しています



株式会社 雄松堂書店

本社：〒160-0002

東京都新宿区坂町27 Tel: 03-3357-1411 Fax: 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp

京都：〒604-8101

京都市中京区御池通柳馬場角 京都朝日ビルディング5F Tel: 075-222-0165 Fax: 075-256-2032

E-mail: kb@yushodo.co.jp

東北地区大学図書館協議会誌 第 63 号

平成 24 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内

東北地区大学図書館協議会

☎ (022) 795-5910

編 集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
